


(受学管7-12)

西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

建築		建築		電気		機械	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	A-31	技術教室棟 矩計図	E-01	電気設備工事 特記仕様書-1	M-01	機械設備工事 特記仕様書1
02	共通特記仕様書	32	技術教室棟 屋上防水詳細図(撤去)	02	電気設備工事 特記仕様書-2	02	機械設備工事 特記仕様書2
03	建築工事特記仕様書1	33	技術教室棟 屋上防水詳細図(改修)	03	電気設備工事 配置図	03	機械設備工事 特記仕様書3
04	建築工事特記仕様書2	34	配膳室棟 仕上表	04	電気設備工事 普通教室棟 既設分電盤結線図	04	配置図 建物断面図
05	建築工事特記仕様書3	35	配膳室棟 平面図・建具表	05	電気設備工事 普通教室棟 (凡例)	05	機器表 衛生器具表 会所樹表
06	建築工事特記仕様書4	36	配膳室棟 立・断面図	06	電気設備工事 普通教室棟(照明・コンセント設備改修前)1・2階平面図	06	普通教室棟 1階 平面図
07	建築工事特記仕様書5	37	配膳室棟 平面詳細図	07	電気設備工事 普通教室棟(弱電設備改修前)1・2階平面図	07	普通教室棟 2.3階平面図 手洗い場平面、断面詳細図 系統図
08	建築工事特記仕様書6	38	配膳室棟 矩計図1	08	電気設備工事 普通教室棟(緊急通報設備改修前)1・2階平面図	08	配膳室 平面図 消化配管系統図
09	建築工事特記仕様書7	39	配膳室棟 矩計図2	09	電気設備工事 普通教室棟(アースポイント改修前)1・2階平面図	09	既設給水、排水、消化管撤去図
10	建築工事特記仕様書8	40	配膳室棟 展開図・天井伏図	10	電気設備工事 普通教室棟(照明・コンセント設備改修後)1・2階平面図		
11	建築改修工事特記仕様書1	41	配膳室棟 棟間雨水詳細図	11	電気設備工事 普通教室棟(弱電設備改修後)1・2階平面図		
12	建築改修工事特記仕様書2	42	外壁・部分詳細図	12	電気設備工事 普通教室棟(緊急通報設備改修後)1・2階平面図		
13	建築改修工事特記仕様書3	43	外構工作物工事(撤去)	13	電気設備工事 普通教室棟(アースポイント改修後)1・2階平面図		
14	建築改修工事特記仕様書4	44	外構工作物工事(改修)	14	電気設備工事 普通教室棟 暁教室 展開図1(改修前)		
15	建築改修工事特記仕様書5	45	外構工作物 / 池撤去詳細図	15	電気設備工事 普通教室棟 2-4教室 展開図2(改修前)		
16	アスベスト対策工事特記仕様書	46	仮設計画図(参考図)	16	電気設備工事 普通教室棟 2-3教室 展開図3(改修前)		
17	付近見取図・配置図			17	電気設備工事 普通教室棟 暁教室 展開図1(改修後)		
18	普通教室棟 1・2階平面図			18	電気設備工事 普通教室棟 2-4教室 展開図2(改修後)		
19	普通教室棟 3・R階平面図、屋根伏図			19	電気設備工事 普通教室棟 2-3教室 展開図3(改修後)		
20	普通教室棟 立面図			20	電気設備工事 技術棟 新設分電盤 結線図		
21	普通教室棟 矩計図			21	電気設備工事 技術棟 平面図		
22	普通教室棟 普通教室 展開図(撤去)			22	電気設備工事 配膳室棟 分電盤結線図		
23	普通教室棟 普通教室 展開図(改修)			23	電気設備工事 配膳室棟 幹線・動力・コンセント設備 配膳室平面図		
24	普通教室棟 部分詳細図(1)			24	電気設備工事 配膳室棟 電灯設備 配膳室平面図		
25	普通教室棟 部分詳細図(2)			25	電気設備工事 配膳室棟 弱電設備 配膳室平面・断面図		
26	普通教室棟 廊下 平面詳細図・展開図			26	電気設備工事 配膳室棟 弱電設備 普通教室棟2,3階平面図		
27	普通教室棟 建具表(1)			27	電気設備工事 配膳室棟 自火報設備 普通教室棟1階平面図		
28	普通教室棟 建具表(2)			28	電気設備工事 配膳室棟 自火報設備 普通教室棟2,3階平面図		
29	技術教室棟 平面図			29	電気設備工事 配膳室棟 普通教室棟自火報詳細図		
30	技術教室棟 軒天井伏図、立面図、断面図			30	電気設備工事 配膳室棟 1階平面図(撤去)		

特記	設計		課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也					西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	表紙・図面リスト	A2 - A3 -	A-01
	設計番号	設計年度	令和	年	月				

<p>A 工事概要</p> <p>1 工事名称 (受学管7・12) 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)</p> <p>2 工事場所 宇治市伊勢田町南山21番地の1</p> <p>3 工事期間 入札通知書による。</p> <p>4 規模構造 [普通教室棟] RC造 3階建 [技術教室棟] RC造 平屋建[配膳室棟] S造 平屋建</p> <p>5 建築面積 [普通教室棟] 738.68㎡ [技術教室棟] 288.46㎡[配膳室棟] 81.60㎡</p> <p>6 延床面積 [普通教室棟] 2,166.78㎡ [技術教室棟] 250.00㎡[配膳室棟] 76.80㎡</p> <p>7 工事範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化改修工事 一式 外壁改修工事 防水改修工事 内装改修工事 建具改修工事 塗装改修工事 外構改修工事 ・配膳室棟増築工事 一式 ・上記に伴う電気・機械設備工事 一式 ・上記に伴う撤去・処分 一式 	<p>1 過積載防止</p> <p>m 官公庁その他への手続き</p> <p>n 技術者及び現場代理人</p> <p>o 工事完了時の整地</p> <p>p 建設発生土の処分</p> <p>q 解体等工事の事前調査</p> <p>2 発生材等処分 工事に伴う撤去材</p>	<p>受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。</p> <p>工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。</p> <p>なお、これに要する費用は受注者の負担とする。</p> <p>受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。</p> <p>受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書(報告書)」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料(受入証明書)及び写真等を添付する。 ・その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。 ・受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。 また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。 調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。 ・受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。 <p>撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書(報告書)」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証(搬出地と搬入地)の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。 ・その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。 ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。 ・工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認できる写真を提出する。 																				
<p>B 特記仕様書</p> <p>1 共通事項</p> <p>a 施工基準</p> <p>b 監理基準</p> <p>c 提出書類等</p> <p>d 建設業退職金共済制度</p> <p>e 工事実績情報</p> <p>f 建設工事保険等</p> <p>g 労災補償に必要な法定外の保険契約について</p> <p>h 工事写真・完成写真</p> <p>i 不正軽油使用防止の徹底</p> <p>j 一般事項</p> <p>k その他</p>	<p>本工事は契約書及び 質疑回答書 現場説明書 特記仕様書 設計図 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)及び公共建築工事標準仕様書(建築工事編 機械設備工事編・電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。</p> <p>本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修令和4年版)により監理する。</p> <p>契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においては、すべての下請負人及び警備業者を記載する。</p> <p>なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。</p> <p>受注者は建設業退職金共済制度(建退共)に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。</p> <p>受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に(一財)日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入力システム(CORINS)の登録申請を行う。</p> <p>また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する(作成、登録等に伴う費用は受注者の負担とする)。</p> <p>受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等(第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む)に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。</p> <p>受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(令和元年法律第35号)に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険(法定外の労災保険)に付する。</p> <p>工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工所用アルバムに整理の上1部提出する(データ共)。</p> <p>なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一对(左右または前後)として整理すること。</p> <p>受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。</p> <p>また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 ・工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。 ・騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。 ・既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が生じた場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 ・使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。 ・工事完成時には、社内検査を実施する。 ・本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。 ・使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器 低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し、安全性に責任を持ち管理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・交通誘導警備員は、現場説明書による。 ・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 ・受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。 	<p>産業廃棄物税</p> <p>「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてもリサイクル後の処理残滓(ザンサイ)等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。</p> <p>なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃税も本工事に含む)</p> <p>3 仮設工事</p> <p>工事電力・工用水</p> <p>工事用電力設備</p> <p>の保安責任者</p> <p>設置・維持管理</p> <p>仮囲い</p> <p>内外足場・養生等</p> <p>墜落制止用器具の使用</p> <p>について</p> <p>4 その他</p> <p>ホルムアルデヒド等の放散量測定について</p> <p>電気・機械設備工事</p> <p>現場説明書による。</p> <p>工事用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。</p> <p>現場説明書による。</p> <p>施工範囲・資材置場等に対するの侵入防止策を講じる。(フェンスバリケード(シート貼り共)等)</p> <p>詳細については仮設計画図による。</p> <p>足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシート又は工所用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型柱本足場(W=900以上)とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正)」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするが、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。</p> <p>受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。</p> <p>「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時において、当該居室における空間のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し分析結果を監督職員に提出する(検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日施行)による)</p> <p>分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレン用バツシブ採取機器(サンブラー)一覧表(学校用)」による。(平成21年4月1日改訂版)</p> <p>測定場所：[配膳室棟]2箇所 [普通教室棟]3箇所</p> <p>工事着工に際し、事前に必要な機器(照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等)器具の機能確認を行い、その結果を書面にて監督職員に報告する。</p> <p>5 完成図書</p> <p>完成に際しては以下の図書を提出する。</p> <table border="1" data-bbox="1581 1690 2686 1818"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>内容</th> <th>サイズ</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完成図(背張り製本)</td> <td>特記仕様書・完成図・施工図</td> <td>A3版</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>完成図書</td> <td>機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)</td> <td>A4版</td> <td>2部</td> </tr> <tr> <td>諸官庁提出書類</td> <td>副本</td> <td></td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>完成図データ</td> <td>CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF</td> <td>C D - R</td> <td>2部</td> </tr> </tbody> </table>	名称	内容	サイズ	部数	完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部	完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部	諸官庁提出書類	副本		一式	完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C D - R	2部
名称	内容	サイズ	部数																			
完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部																			
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部																			
諸官庁提出書類	副本		一式																			
完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C D - R	2部																			
<p>-----</p> <p>-----</p>	<p> 足立建築工房 一級建築士事務所</p> <p>京都府宇治市木幡平尾1-65</p> <p>TEL(0774)33-6022 FAX(0774)33-6040</p>	<p>所長</p> <p>主任</p> <p>担当</p>	<p>工 事 名</p> <p>西 宇 治 中 学 校 施 設 長 寿 命 化 改 修 工 事 (そ の 3)</p> <p>図 面 名</p> <p>共 通 特 記 仕 様 書</p>	<p>縮尺</p>	<p>図番</p> <p>A-02</p>																	

建築工事特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

標 名	構 造	階 数	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	備 考

4. その他 _____

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）をいう。（以下、これを「標仕」という。）本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目 特 記 事 項

1 一般共通事項

③ 特別な材料の工法 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

④ 風圧力及び積雪に対する性能 (8.4.3、8.5.3) (10.5.3) (13.2.3~13.4.3)

⑤ 現場代理人 本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。

⑥ 工事工程報告 月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。日報は監督職員の指示による。週報は毎週（ ）曜日に提出する。

⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4) 適用する（適用事項は、現場説明書による）

⑧ 設備工事との取合い 施工範囲
○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強
○ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ
○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強

施工図
設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

⑨ 施工図等の取扱い (1.2.3) 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲される。

⑩ 工事写真 (1.2.4) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。
下記のことを監督職員に提出する。

着 工 前	部 数(ナガ1棟につき)	分 類 ・ 規 格	原 版 の 大 き さ (mm)	
工 事 中	○ 1 ○	○ カラーサービス版	○ 24×36以上	
完 成 時	屋 内	○ 2 ○	○ カラーサービス版	○ 24×36以上
	() 箇所	○ カラーキャビネ版	○ 60×70以上	
外 観	○ 2 ○	○ カラーキャビネ版	○ 24×36以上	
() 箇所	○ カラーパネル半切	○ 60×70以上		

デジタル写真の撮影にあたり、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。
完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。
○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。

11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する

⑫ 施工条件 (1.3.5) 現場説明書による

⑬ 発生材の処理等 (1.3.11)

○ 引渡しを要するもの（ ）
○ 工事現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの（ ）
○ 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による）
○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材
○ 指定副産物の処分（詳細は現場説明書による）
○ 指定地処分（ ）
○ 自由処分（最寄りの再生資源化施設へ搬出すること）
○ 指定副産物以外の搬出 ※構外搬出適切処理
○ 特別管理産業廃棄物の処理（ ）
再生資源利用【促進】計画書、実施書の提出
詳細は現場説明書による。
○ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。
○ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、選搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。

章 項 目 特 記 事 項

1 一般共通事項

14 発生材の処理等 (7/8/16成形板)

処理を行う範囲 ○ 図示（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認）
○ 全ての室 ○ _____

施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。
(1) アスベスト成形板使用部位の確認
記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。
(2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認
(3) アスベスト成形板使用数量の確認
(4) 施工範囲等の確認

確認方法 ○ 成形板の製造年等の確認 ○ X線解析法
処理方法 「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分を行うこと。

⑮ 技能士 (1.5.2)

工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業
仮設工事	○ とび作業
鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業
ブロック及びALC [®] 補工事	○ コクリートブロック工事作業 ○ ALC [®] 補工事作業
カーポート工事	○ 金属製カーポート施工作業 ○ ビム用カー施工作業 ○ ガラ工事作業
防水工事	○ アスファルト防水工事作業 ○ シート防水工事作業 ○ アクリル系塗膜防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ アクリル系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴムシート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質アスファルトシート工法防水工事作業
石工事	○ 石張り作業
タイル工事	○ タイル張り作業
木工事	○ 大工工事作業 ○ 家具手加工作業
屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業
金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業
左官工事	○ 左官作業
塗装工事	○ 建築塗装作業
建具工事	○ ビム用カー施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業
内装工事	○ フラタック系床仕上げ工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ○ ウォール紙系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業
排水工事	○ 建築配管作業
舗装工事	○ 溶融アスファルトマーカ工事作業 ○ 加熱アスファルトマーカ工事作業
植栽工事	○ 造園工事作業

ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。

16 化学物質の濃度測定 (1.5.9) 適用する（適用事項は、現場説明書による）

⑯ 完成図 (1.7.2) 作成する（提出部数 ○ 2部 ○ 部） 詳細は監督職員の指示による。
完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。

18 保全に関する資料 (1.7.3) 作成する（提出部数 ○ 2部 ○ 部）
○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要
○ 建物の主要な構造部及び外構についての説明
○ 建物を使用する上での注意事項
○ 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明
○ 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点
○ 建物等の清掃の要点
○ 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表
建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。

2 仮設工事

1 足場等 (2.2.4) 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省 基発第0424001号）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中横及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。屋根工事及び小屋組の建方工事における壁落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び設備機材を設置すること。

章 項 目 特 記 事 項

2 監督職員事務所 (2.3.1)

2 仮設工事

2 仮設工事

3 工事用水 構内既存の施設 ○ 利用できない ○ 利用できる（○有償 ○無償）

4 工事用電力 構内既存の施設 ○ 利用できない ○ 利用できる（○有償 ○無償）

5 仮囲い等 ○ 図示による ○ _____

6 設計GL ○ 図示による ○ 設計GL=現状GL

3 土工事

①埋め戻し及び盛土 (3.2.3) ※ A種 砂質土（山砂の類）を水締め又は機器による締固め (表3.2.1)
● B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め
○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め
○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め
○ その他(材料 _____ 工法 _____)
○ 建設発生土（盛土材）の外部からの受入土量（ _____ m³）
発生場所（ _____ ）

②建設発生土の処理 (3.2.5) 下記に定めるほかは、現場説明書による
○ 構外指示の受入場所に処分
受入場所 ○（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ● 現場説明書による
土壌調査 ○ 行う（受入場所指定の検査） ○ _____
○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法
仮置場所 ○ _____
○ 構内指示の場所に敷き均し
○ 構内指示の場所にたい積

3 山留めの撤去 (3.3.3) 鋼矢板等の抜き跡の処理 ○ 図示による
○ 撤去する
○ 存置する

4 地業工事

①基礎種別 (4.2.2) ~ (4.5.8) ○ 杭基礎 杭の種類、本数等 構造図による
工法 構造図による
試験杭 ○ 行う（構造図による）
支持層の位置及び土質 構造図による
杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による
杭継手 ○ _____ ○ フラグ接合 ○ 無溶接継手(工法 _____)
杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による
杭の載荷試験 ○ 行う（構造図による）
継杭溶接部試験 ○ 行う（浸透探傷試験 _____ 本）
載荷試験 ● 行う（下記以外は構造図による）

②地盤の載荷試験 (4.2.4) 平板載荷試験 試験箇所数 $\frac{1}{50}$ 箇所（試験位置図示）
設計地耐力 $\frac{1}{50}$ KN/m²

3 既製コンクリート杭地業 (4.3.1) ~ (4.3.5) ○ セメントミルク工法 (4.3.1)
根固め液及び杭周固定液の管理試験 (4.3.4)
※標仕 4.3.4 (6) (コ) (a) から (g) による ○ _____
○ 特定埋込杭工法

4 鋼杭地業 (4.4.3) 鋼杭の材料 ○ 図示による ○ _____

5 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1) ~ (4.5.6) 工法
○ アースドリル工法 ○ リバース工法 ○ オールケーシング工法 (4.5.1)
(4.5.5)
超音波測定器による孔壁の確認 ○ 行う ○ 行わない (4.5.6)
○ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ○ 拡底杭

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	
4	地業工事	⑥	砂利及び砂地業	(4.6.2)	(4.6.3)	厚さ(mm) ○ 図示による ※ 60 材料 砂利 ● 再生クラッシュラン ○ 切込砂利 ○ 切込砕石 砂 ○ 山砂 ○ 川砂 ○ 砕砂	6 コンクリート工事	①	コンクリートの種類	(6.2.1)	種類 ※ 普通コンクリート ○ _____ 類別 ※ I類 ○ II類 (表6.2.1)	6 コンクリート工事	⑩	コンクリートの試験	(6.9.2) ~ (6.9.5)	※ フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する	7 鉄骨工事	10	工作図	(7.3.2)	高力材、普通材のゲージ、ピッチ、刈あき等 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)
		⑦	捨てコンクリート地業	(4.6.4)	厚さ(mm) ● 図示による ※ 50	②		コンクリートの強度	(6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F _c) 打設部位 F _c (N/mm ²) スランプ (cm) 備考 構造体 基礎 ○ 2.4 ● 2.1 ● 1.5 ○ 1.8 上部 ○ 2.4 ○ ○ ○ 1.5 ※ 1.8 土間コンクリート ● 1.8 ○ ○ ○ 1.5 ● 1.8 側溝・犬走り 捨コンクリート ● 1.8 ○ ○ ○ 1.5 ● 1.8 軽量コンクリート ○ 2.1 ○ ○ ※ 2.1 ○ 1.8 無筋コンクリート ※ 1.8 ○ ○ ○ 1.5 ○ 1.8 標仕6.14.1による	11		軽量コンクリート	(6.10.1) ~ (6.10.3)	常時又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可 種類 ○ 1種 ○ 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³	11		仮組	(7.3.10)	○ 実施する 部位 () ○ 実施しない	
		⑧	床下防湿層	(4.6.5)	ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 重ね幅縦及び基礎梁際のみ込み 250mm以上 施工範囲 ● 図示による ○ 建物内の土間スラブ(土間コンクリート含む)の直下 (ピット下を除く) ○ 捨コンクリートの直下	③		セメントの種類	(6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○ 高炉セメントのB種 (適用箇所 _____) ○ シリカセメント ○ フライアッシュセメントのB種 (適用箇所 _____)	12		寒中コンクリート	(6.11.1)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節(寒中コンクリート)による。	12		溶接作業者における技能資格者	(7.6.3)	溶接作業者の技量付加試験 ※ 行わない ○ 行う 試験の要領 ○ 図示による () ○ _____	
		⑨	土間断熱材	(4.6.5)	○ 押出法ポリスチレンフォーム3種bのスクリーン層付き 厚さ ● 2.5mm ○ _____mm	④		骨材	(6.3.1)	粗骨材 ※ 砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 再生骨材H 細骨材 ※ 砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 鋼スラグ ○ フロツクセラグ ○ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) ○ _____	13		暑中コンクリート	(6.12.2)	※ 暑中における構造体強度補正值 (S) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北部地域 7月11日~8月31日 ※ 6N/mm ² 中部地域 7月21日~8月31日 ○ 3N/mm ² 南部地域 7月1日~9月10日	13		溶接接合	(7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 ○ 図示による ○ _____ 鋼製エンドタブの切断 ○ 有 ○ 無 適用箇所 ※ 図示による ○ _____ 切断面の仕上げ ※ ゲラウゲにより、粗さ100μmR _a 程度以下及びノリ深さ1mm程度以下 ○ _____	
		⑩	地盤改良	(4.6.5)	○ 現場発生土を再利用する。 改良方法 表層改良 セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(一財)日本建築センターを参考とすること。	⑤		混和材料	(6.3.1)	○ 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種(JIS A 6204) 防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) ○ 混和材 ※ フライアッシュ(JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○ コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) ○ コンクリート用シリカフェューム(JIS A 6207) ○ コンクリート用膨張材(JIS A 6202)	14		マスコンクリート	(6.13.1) (6.13.2)	施工箇所 _____ セメントの種類 ○ 中熱ポルトランドセメント ○ シリカセメント ○ 低熱ポルトランドセメント ○ 高炉セメントB種 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 普通ポルトランドセメント 混和材料 ○ 混和剤 ※ AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A 6204) ○ _____ ○ 混和材 ○ フライアッシュのII種(JIS A 6201) ○ 高炉スラグ微粉末の3000若しくは4000(JIS A 6206) ○ _____	14		溶接部の試験	(7.6.12)	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ● 工場溶接 AQL ○ 4.0 ○ 2.5 検査水準 ○ 第6水準(節全て) ○ 工事現場溶接	
5	鉄筋工事	①	鉄筋の種類等	(5.2.1)	(表5.2.1) 異形鉄筋 種類 種類記号 径(mm) 備考 ※ SD295 D16以下 ○ 標仕表5.3.2 ※ SD345 D19以上 ○ 一般建築物の柱・梁の主筋に適用する ※ SD295はF _c ≥21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	7 鉄骨工事	⑤	コンクリート強度補正值	(6.3.2)	※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) 予想平均気温(℃) 補正值 (S) 期間(打設日) 普通 早強 8以上 5以上 3 3/6~6/30 3/11~7/20 3/11~7/10 N/mm ² 9/11~11/15 9/1~11/5 9/1~10/31 0以上 0以上 6 11/16~3/5 11/6~3/10 11/1~3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	15	無筋コンクリート	(6.14.1)	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ○ _____	15	耐火被覆	(7.9.2) ~ (7.9.7)	種類 種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ○ 耐火材吹付け ○ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 湿式ロックウール ○ ○ 耐火板張り ○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○ ○ 耐火材巻付け ○ 高断熱ロックウール ○ ○ 5mm張り鉄筋塗塗り - ○ 耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする			
		2	溶接金網	(5.2.2)	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm		⑥	型枠(せき板)	(6.2.5) (6.8.1) (6.8.2)	合板の規格 ※ 「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板 合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ(mm) ※ 1.2 ○ _____	16	アンカーボルト	(7.2.2) (7.3.2) (7.10.3)	適用 ● 構造用アンカーボルト 種類 ● SNR400B ○ _____ アンカーフレームの形状及び寸法 ○ 図示による ○ _____ ○ 建方用アンカーボルト 種類 ○ SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 ○ A種 ○ B種 柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm							
		③	鉄筋の継手及び定着	(5.3.4) (5.5.3) (5.6.3)	部 位 接 合 方 法 径(mm) 重ね継手の長さ ※ 柱・梁の主筋 ○ 重ね継手 ○ ガス圧接継手 D19以上 ○ 標仕表5.3.2による ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 D16以下 ※ 構造図による ※ その他 ● 重ね継手 ○ ガス圧接継手 D16以下 ※ 構造図による ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 ○ 機械式継手 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____ ○ 溶接継手 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____ ○ 鉄筋継手位置 ※ 構造図による ○ 表5.3.3による ○ 鉄筋の定着長さ ※ 構造図による ○ 表5.3.4による ○ 機械式定着工法 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____		7	打継ぎ	(6.6.4)	位置 ※ 構造図による ○ 標仕 6.6.4(1) による 目地の寸法 ※ 図示による ○ _____	5	溶接部	(7.2.2) (7.4.2) (7.12.5)	セットの種類 ○ 1種 (F8T)相当 摩擦面の処理 ○ プラスト処理(表面粗度50μmR _a 以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ○ _____							
		④	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	(5.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※ 構造図による ○ 表5.3.6による(次の2項目のかぶり厚さを除く) ○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 ○ 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm) 機械式継手及び溶接継手のあき ○ _____		⑦	スリーブ	(6.8.2)	スリーブの材種 (表6.8.1) 適用箇所 材種(規格その他) 水密を要する地中部分等 ※ つば付き鋼管 (JIS G3452の黒管に厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741のVU) 上記以外の円形スリーブ ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上) ○ _____	9	デッキプレート	(7.2.7) (7.7.8)	材質、形状及び寸法 ※ 図示による ○ _____ デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 図示による							
		5	ガス圧接継手	(5.4.10)	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験 試験方法等 ※ 標仕 5.4.10(イ)(b) ①~⑥による ○ _____		⑧	鋼材	(7.2.1)	位置 ※ 構造図による ○ 標仕 6.6.4(1) による 目地の寸法 ※ 図示による ○ _____	①	鉄骨の製作工場	(7.1.3)	※ 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ((O S O H O M ● R O J)) グレード以上) ○ 監督職員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)							

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
鉄骨工事	⑬ 錆止め塗料 (7.8.4) (18.3.2)	塗料の種類 ● 鉄鋼面の錆止め塗料 ○ 表18.3.1による ※ A種 ○ B種 ○ ○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 表18.3.2による ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る） ○ 表18.3.1による ※ A種 ○ B種 ○ 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ○ 行う（範囲 ○ 図示による ○ 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 ○ 行わない ○ 行う（範囲 ○ 図示による ○	9	1 アスファルト防水 (9.2.2) ~ (9.2.5)	(表9.2.3)~(表9.2.9) 種別 防水層 施工箇所 ○ A-1 ○ A-2 ○ A-3 表9.2.3 ○ B-1 ○ B-2 表9.2.5 ○ BI-1 ※ BI-2 表9.2.6 ○ D-1 ○ D-2 表9.2.7 ○ DI-1 ○ DI-2 表9.2.8 ○ E-1 ○ E-2 表9.2.9 ○ 断熱材（屋根保護防水断熱工法） 厚さ mm ○ 断熱材（屋根露出防水断熱工法） 厚さ mm 種類 ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材及び絶縁用シートの張りじまい位置 ※ 図示による ○ 絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15（保護防水工法） ※ フラットヤーノクロス（70g/m ² 程度）（保護防水断熱工法） ○ 押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 ○ 立上り部の保護 ○ 乾式保護材（ ○ 普通れんが ○ 化粧れんが ○ モルタル押え（屋内） ○ コンクリート（工法 ^{仕上} ） 保護層 平場のコンクリート厚さ ○ mm ○ こて仕上げ mm ○ 床タイル張り等仕上げ mm 屋上排水溝 ※ 図示による 脱気装置（露出防水絶縁断熱工法） ※ 設ける 材種（ 設置数量（1箇所/㎡） 種別 (表9.3.1)~(表9.3.3) 種別 防水層 施工箇所 種類 仕上材料 使用量 ○ S-F1 表9.4.1 ○ カラー ○ S-F2 ○ シルバー ○ S-M1 ○ S-M2 (露出の場合) ○ SI-F1 表9.4.2 ○ ○ SI-F2 ○ ○ SI-M1 ○ SI-M2 ○ S-C1 表9.4.3 S-F1,S-M1,S-F2,S-M2 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様 平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ○ mm ○ 断熱材（機械的固定工法） 厚さ mm 種類 ○ 断熱材（接着工法） 厚さ mm 種類 ○ 防湿用フィルムを設置する（断熱工法）	9	4 塗膜防水 (9.5.3)	種別 (表9.5.1) (表9.5.2) 種別 防水層 施工箇所 種類 仕上材料 使用量 ○ X-1 表9.5.1 ○ X-2 ○ Y-1 表9.5.2 地下外壁防水 ○ Y-2 屋内防水 脱気装置 (X-1) ○ 設ける 材種（ 設置数量（1箇所/㎡） 保護層 (Y-2) ○ 設ける 施工箇所 ○ 図示による ○ 標仕 6.4 (2) (イ), (ウ) 以外の下地処理 ○ 図示による ○ ※ 水張り試験を行う（○ 屋内 ○ 屋外） ※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 （保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。） 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ 設置数量 箇所 シーリング材の種類 ※ 表9.7.1による 施工箇所 ※ 図示による 仕上げを行わない施工箇所（○ 図示による ○ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ シーリングの試験 ※ 簡易接着性試験（部位 ○ ○ 引張接着性試験（部位 ○ 材質 ○ 形状 ○ 差込式 ○ 据置式 ○ 壁張り式 適用範囲 ○	10	10 石工	内壁石張り 工法 ○ 内壁空積工法（※ あと施工アンカー横筋流し工法 ○ あと施工アンカー工法） ○ 乾式工法（○ スライド方式 ○ ロッキング方式 ○ 石の厚さ mm 浸透性吸水防止剤 ※ 専門工事業者の指定 表面及び裏打ち処理 ※ 行わない ○ 行う 目地 ○ 一般目地幅 mm ○ 伸縮調整目地位置 ○ シーリング材の目地寸法 mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ○ 材質 ○ 寸法 ○ 石の厚さ mm 浸透性吸水防止剤（床石張り） ○ 適用する ○ 適用しない 石表面処理（床石張り） ○ 適用する ○ 適用しない （階段石張り） ○ 適用する ○ 適用しない 裏打ち処理（床石張り） ○ 適用する ○ 適用しない 目地 ○ 一般目地幅 mm ○ 伸縮調整目地位置 ○ シーリング材の目地寸法 mm 笠木、甲板等 取付工法 ○ 湿式工法 ○ 乾式工法 取付金物 ○ 石の厚さ mm 石表面処理 ※ 行わない ○ 行う 石材裏面の補強用モルタル（乾式工法） ※ 行わない ○ 行う 目地 ○ 一般目地幅 mm ○ 伸縮調整目地位置 ○ シーリング材の目地寸法 mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ○ 材質 ○ 寸法 ○ 隔て板 石の厚さ mm
	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) ~ (8.2.8) ブロックの種類 ○ 16 (C種) 普通ブロック ○ 16-W (C種) 防水ブロック モジュール呼び寸法及び正味厚さ ○ 図示による ○ コンクリートの設計基準強度 F _o (N/mm ²) 充填用及びまぐさ ※ 21 以上 ○ 上記以外 ※ 21 以上 ○ 各部の配筋 ※ 図示による 目地仕上げ ○ 押し目地仕上げ ○ 化粧目地仕上げ モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ○ 図示による ○ 2 コンクリートブロック横壁及び芯 (8.3.2) ~ (8.3.4) ブロックの種類 (表8.3.1) 適用箇所 種類の記号 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀 ※ 空洞ブロック 16 ○ 外壁の化粧積み ○ 空洞ブロック 16-W ○ モジュール呼び寸法及び正味厚さ ○ 図示による ○ 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※ 図示による 各部の配筋 ※ 図示による 化粧ブロック ○ 有（ ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F _o (N/mm ²) ○ 18 ※ 21 ○ 3 ALCパネル (8.4.2) ~ (8.4.5) パネルの種類 (表8.4.2) (表8.4.3) (表8.4.4) 区分 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 構法 耐火性能 ○ 外壁ハ種 ※ 1180 ○ 1960 ※ 100 ○ A種 ※ 有り (時間) ○ B種 ○ 無し ○ 間仕切ハ種 ※ 640 ○ ※ 100 ○ C種 ○ E種 ※ 有り (時間) ○ D種 ○ 無し ○ 屋根ハ種 ※ 980 ○ ※ 100 ※ F種 ※ 有り (時間) ○ 無し ○ 床ハ種 ○ 2350 ○ 3530 ○ 100 ※ F種 ※ 有り (時間) ○ 無し パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ○ 図示による ○ 外壁ハ種の工法 ※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 パネル幅の最小限度 ※ 300 mm ○ mm ハ種の出隅及び入隅のハ種接合部並びにハ種と他部材との取り合い部の目地幅 mm 伸縮目地への耐火目地材の充填 ○ 適用する ○ 適用しない 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 ○ 4 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2) ~ (8.5.5) 種類 ※ 無石綿タイプ (タイプII) 施工箇所 表面形状 厚さ (mm) 工法 耐火性能 ○ 外壁 ※ フラットパネル ○ 35 ○ A種 ※ 有り (時間) ○ デザインパネル (図示) ○ 50 ○ B種 ○ 無し ○ タイルベースパネル ○ 60 ○ 無し ○ 間仕切り ※ フラットパネル ○ 35 ○ B種 ○ 有り (時間) ○ デザインパネル (図示) ○ 50 ○ C種 (時間) ○ タイルベースパネル ○ 60 ※ 無し 外壁ハ種の工法 ※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 パネル幅の最小限度 ※ 300 mm ○ mm ハ種相互の目地幅 ○ 図示による ○ mm 出隅及び入隅のハ種接合部目地幅 ※ 15 mm ○ mm 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 ○ やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出すること。 孔あけ及び欠き込みの大きさ 切断後のハ種の残り部分の幅 ハ種に孔あけを設ける場合 短辺 ハ種に欠き込みを設ける場合 短辺 長辺		2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) ~ (9.3.4)	種別 (表9.4.1) (表9.4.2) 種別 防水層 施工箇所 種類 仕上材料 使用量 ○ S-F1 表9.4.1 ○ カラー ○ S-F2 ○ シルバー ○ S-M1 ○ S-M2 (露出の場合) ○ SI-F1 表9.4.2 ○ ○ SI-F2 ○ ○ SI-M1 ○ SI-M2 ○ S-C1 表9.4.3 S-F1,S-M1,S-F2,S-M2 ※ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様 平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ○ mm ○ 断熱材（機械的固定工法） 厚さ mm 種類 ○ 断熱材（接着工法） 厚さ mm 種類 ○ 防湿用フィルムを設置する（断熱工法）		11 タイル工事	1 伸縮調整目地等 (11.1.3) 外壁 ※ 表11.1.1による ○ 図示による 屋内壁面 ※ 図示による ○ 床面 ※ 表11.1.1による ○ 2 施工後の確認及び試験 (11.1.7) 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 引張接着試験 ※ 油圧式接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない 3 タイル張り (11.2.2) (11.2.6) (11.3.2) (11.3.5) タイルの種類 施工箇所 形状・寸法 (mm) 生地 釉薬 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 工法 その他 ○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ○ 有り ※ 標準 ○ 陶器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 無し ○ 特注 ○ セツ器 ○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ○ 有り ※ 標準 ○ 陶器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 無し ○ 特注 ○ セツ器 ○ 磁器 ○ 無釉 ○ 有り ○ 有り ※ 標準 ○ 陶器 ○ 施釉 ○ 無し ○ 無し ○ 特注 ○ セツ器 タイルの試験張り ※ 行わない ○ 行う タイルの見本焼き ※ 行わない ○ 行う 既調査モルタル 4 下地及びタイルごしらえ (11.2.6) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ○ MCR工法 ○ 目荒し工法 ○ 図示による ○ 5 張付け用材料 (11.3.3) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ 外壁タイルの目地詰め ○ 行う ○ 行わない			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
木工事	① 揮発性有機化合物対策 (12.2.1) (12.2.2) (12.2.3)	材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量 表示がある場合 ※F☆☆☆☆ ○ 表示がない場合 ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用(塗装していないもの) ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(塗装したもの) ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用(化粧加工したもの) ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○	木工事	5 集成材 (12.2.1)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ○ 造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 見付材面数 寸法 見付材面の品質 ※1等 ○2等 ○ 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 ※1等 ○2等 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ○ 造作用集成材 使用箇所 樹種 寸法 見付材面の品質 含水率 ※15%以下 ○ ○ 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 ※15%以下 ○ 「JAS0701(単板積層材)」による造作用単板積層材 ○ 造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 ○表面化粧加工なし ○適用する ○1等 ○2等 ○3等 ○適用しない ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 ○ 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 ○表面化粧加工なし ※14%以下 ○適用する ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工 JAS079(直文集成板) 使用箇所 品名 曲げ強度 種別 接着性能 樹種 寸法 「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 ※押入れ、物入れ ※5.5mm ※1類 広葉樹 ※2等以上 ○ 針葉樹 ※C-D以上 ○ 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 ※畳床下地材、フローリング ※2級以上 ※12mm ※1類 ※C-D以上 ○ 張り下地材 ○ 特種 ○ ○強度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 ○1類 ○防虫処理 ○特種 ○ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 ○1類 ○2類 ○防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 ○1類 ○オーバーレイ ○防虫処理 ○2類 ○プリント ○塗装 ○ パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 ※15mm ○ ※1.3Pタイプ又は1.3Mタイプ ○ JAS0360Iに基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	木工事	7 接合具等 (12.2.2)	MDF 使用箇所 厚さ 表面の状態 曲げ強さ 接着剤による区分 難燃性による区分 造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ○ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭T釘 ○ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※ かがしい、座金、箱金物及び短冊金物は、表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表14.2.2[鉄鋼の垂鉛めっきの種別]のF種程度の垂鉛めっきを施したものを ○ 防腐・防蟻処理 ○ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ○ K2 ○ K3 ○ K4 ○ K2 ○ K3 ○ K4 ○ 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※ 薬剤の製造所の仕様に よる ○ ※ JIS K 15711に適合又は同等品 ○ ○ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ○ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 防虫処理 ※ 行う (範囲: ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1) ○ 行わない	金属工事	14 1 一般事項 (14.1.3)	あと施工アンカーの引張試験 ※ 行う (箇所以上、 ___N/箇所) ○ 行わない (表14.2.1)
	② 含水率 (12.2.1)	下地材 ※ A種(15%以下) ○ B種(20%以下) 造作材 ※ A種(15%以下) ○ B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。		8 防腐、防蟻及び防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	3 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)		表面処理方法 種 別 試 験 施 工 箇 所 ○ 溶融亜鉛めっき ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 行う ○ 電気亜鉛めっき ○ D種 ○ E種 ○ F種 ○ 行う				
	③ 製材 (12.2.1)	「JAS1083(製材)」による製材 ● 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 t=12 ○1級 ※2級 ○ 造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 ○無節※上小節 ○小節 ○並 ○ 広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 ○特等 ※1等 ※10%以下 ○2等 ○ 「JAS1083(製材)」以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 ※A種 ○B種		13 屋根及びびとい工事	④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) ~ (14.4.4)		野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型 (表14.4.1) 屋外 ○19型 ※25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 _____mm 屋外の周辺部の端からの寸法 _____mm 屋外の野縁の間隔 _____mm 屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※ 図示による ○ 天井のふとところの補強 (1.5m以上3m以下) ※ 行う (3mを超える) ※ 行う (図示による) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○ 行う ○ 行わない				
	4 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 ○ 工事完成までに、ウッドマイレージ002京都の本認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイレージ002計算書)(注1)を提出することを原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の本証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般社団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 注2) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 ○ 工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。 ※ 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関: (一社) 京都府木材組合連合会)を提出すること。		3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3)	⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.1)		スタッド、ランナー等の種類 (表14.5.1) ※ 表14.5.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示による ○				
				13 屋根及びびとい工事	② 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3)	6 金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3)	形状 製法 材種 寸法(mm) 表面処理(種別) ○ スパンドレル形 ○ 押出し ※7%ニガ製 板厚 _____ ○ ロール ○ 板幅 _____ ○ パネル形 ※ プレス 伸縮調整継手 ○ 設けない ○ 設ける (施工箇所は図示)				
					3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3)	7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (14.7.3)	種類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備考 ○ 250 形 1.6 ○ ○ 300 形 1.8 ○ 350 形 2.0 ○ ○ コーナ部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。				
					4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	8 天井点検口	建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ○				
					5 とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)	9 床点検口	○ アルミニウム製既製品 (600×600) _____ 箇所 ○ ステンレス製既製品 (600×600) _____ 箇所 ○ 鋼鉄製マンホール蓋 _____ 型 _____ φ _____ 箇所				
					6 保証書	10 屋上点検口	寸法(mm) ○ φ600 ○ 500角 断熱材 ○ 有り ○ 無し				

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																																																																																																																																																																												
15	左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	下地の種類 ○二層下地通気構法 ○単層下地通気構法 換気口部の措置(※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(㏽)) ○直張りラスモルタル下地 ○直張りラスシートモルタル下地	ラスの材料 種類及び記号 () 単位面積当たりの質量 ()	ラスシートの材料 ラス目による区分 (※M ○) 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (OLS4(建築基準法に基づく耐力壁) ○) ステープルの形状及び寸法 () 直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシート施工 ()	材料 ●現場調査材料 ○既調査材料	既製目地材 ○適用する (形状) 床塗り 目地の設置 ※有り (種類 ※押目地 ○) (目地割 ※2m程度 最大目地間隔 3m ○) ○無し	屋外のタイル張り下地及び屋内の吹き抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗及び下地調整塗材塗りの接着力試験 浮きの確認 ※全面打診による確認を行う 接着力試験 ○行う ○行わない	3 石こうボードその他のボード下地	せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ 種類(○GB-R ○GB-L ○)厚さ (mm)	木質系セメント板の種類及び厚さ 種類(○)厚さ (mm)	4 こまい下地 建築基準法に基づく耐力壁の指定(○あり ○なし)	5 木ずり下地 木ずり用小幅板の種類(※すぎ(心去り材) ○)	6 仕上塗材仕上げ (15.6.2)	内装塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○	薄付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○外装薄塗材Si</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○可とう形外装薄塗材Si</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○着色骨材砂壁状</td> <td>○吹付け</td> <td>こて塗</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○可とう形外装薄塗材E</td> <td>○砂壁状 ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○外装薄塗材S</td> <td>○砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装薄塗材C</td> <td>○砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">○調湿形</td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装薄塗材L</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○ゆず肌状 ○さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装薄塗材Si</td> <td>○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○内装薄塗材E</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装薄塗材W</td> <td>○京壁状じゅらく ○ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">○調湿形 ○耐アルカリ性 ○かび抵抗性</td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け		○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー	○可とう形外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け		○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー	○外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け		○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○着色骨材砂壁状	○吹付け	こて塗		○可とう形外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け	○外装薄塗材S	○砂壁状	吹付け		○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○内装薄塗材C	○砂壁状	吹付け	○調湿形	○平たん状 ○凹凸状	吹付け	○内装薄塗材L	○平たん状 ○凹凸状	こて塗		○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー	○内装薄塗材Si	○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け		○内装薄塗材E	○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○内装薄塗材W	○京壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け	○調湿形 ○耐アルカリ性 ○かび抵抗性	○平たん状 ○凹凸状	こて塗	厚付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○外装厚塗材C</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○外装厚塗材Si</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装厚塗材C</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">○調湿形</td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装厚塗材L</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装厚塗材G</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○内装厚塗材Si</td> <td>○吹放し ○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○内装厚塗材E</td> <td>○平たん状 ○凹凸状</td> <td>こて塗</td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	○外装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○外装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○内装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け	○調湿形	○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○内装厚塗材L	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○内装厚塗材G	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○平たん状 ○凹凸状	こて塗	○内装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け		○内装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	こて塗	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕 上 げ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">複層仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材CE</td> <td>○凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材RE</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材Si</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>○可とう形複層塗材CE</td> <td>○凸部処理 ○凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○可とう形複層塗材E</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材CE</td> <td>○凸部処理</td> <td>吹付け(○増塗材)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材E</td> <td>○凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材RE</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考	複層仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)				○複層塗材CE	○凸部処理	吹付け		○複層塗材RE	○凹凸状	吹付け	○複層塗材Si	○ゆず肌状	ローラー		○複層塗材E	○ゆず肌状	ローラー	○可とう形複層塗材CE	○凸部処理 ○凹凸状	吹付け		○可とう形複層塗材E	○ゆず肌状	ローラー	○防水形複層塗材CE	○凸部処理	吹付け(○増塗材)		○防水形複層塗材E	○凹凸状	吹付け	○防水形複層塗材RE	○ゆず肌状	ローラー		<p>複層仕上塗材の耐候性 ○耐候形1種 ○耐候形2種 ○耐候形3種</p> <p>複層仕上塗材の上塗材 溶媒 ○水系 ○弱溶剤系 ○溶剤系 樹脂 ○アクリル系 ○ 外観 ○つや有 ○つやなし ○メタリック</p>	16 建具工事	①性能 ※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	②防火戸 (16.1.3) ※図示による ○	3 見本の製作等 (16.1.4) 建具見本の製作 ○行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 ○行う (建具番号)	4 防犯建物部品 (16.1.6) 開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 () ・サッシ 適用箇所 () ・シャッター 適用箇所 ()	⑤アルミニウム製建具 (16.2.2) ~ (16.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>●A種</th> <th>○B種</th> <th>○C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-4 ○</td> <td>※S-5 ○</td> <td>※S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-3 ○</td> <td>○</td> <td>※A-4 ○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-4 ○</td> <td>○</td> <td>※W-5 ○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※図示 ●70 ○100</td> <td>○</td> <td>※図示 ○</td> </tr> </tbody> </table>	性能等級	●A種	○B種	○C種	耐風圧性	※S-4 ○	※S-5 ○	※S-6 ○	気密性	※A-3 ○	○	※A-4 ○	水密性	※W-4 ○	○	※W-5 ○	枠見込み(mm)	※図示 ●70 ○100	○	※図示 ○	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(木下地)(表16.2.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○D種</th> <th>○E種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-2 ○</td> <td>※S-3 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-3 ○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-3 ○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	性能等級	○D種	○E種	耐風圧性	※S-2 ○	※S-3 ○	気密性	※A-3 ○	○	水密性	※W-3 ○	○	枠見込み(mm)			表面処理 (表14.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">屋外</td> <td>○BB-1種</td> <td>○標準 ○特注 ※図示による ○</td> </tr> <tr> <td>●BB-2種</td> <td>●標準 ○特注 ※図示による ○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>○BC-1種</td> <td>○標準 ○特注 ※図示による ○</td> </tr> <tr> <td>○BC-2種</td> <td>○標準 ○特注 ※図示による ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>○標準 ○特注</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	色	施 工 箇 所	屋外	○BB-1種	○標準 ○特注 ※図示による ○	●BB-2種	●標準 ○特注 ※図示による ○	屋内	○BC-1種	○標準 ○特注 ※図示による ○	○BC-2種	○標準 ○特注 ※図示による ○		○	○標準 ○特注	○防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) ○耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級) 結露水の処理方法 ※図示による ○ 水切り、ぜん板等 ※図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ 木下地の場合の外側に面する内付建具の止水処理 ○行う	⑥網戸等 (16.2.3) (16.3.3)	防虫網 材 質 ※合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ●ステンレス製(SUS316) 形 式 ※外部可動式 ○固定式 線径、網目 ※0.25mm以上、16~18メッシュ ○ 防鳥網 ○設置する	7 樹脂製建具 (16.3.2) ~ (16.3.4)	外部に面する樹脂製建具の性能等級(コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.3.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○A種</th> <th>○B種</th> <th>○C種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-4 ○</td> <td>※S-5 ○</td> <td>※S-6 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-4 ○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-4 ○</td> <td>○</td> <td>※W-5 ○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※図示</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	性能等級	○A種	○B種	○C種	耐風圧性	※S-4 ○	※S-5 ○	※S-6 ○	気密性	※A-4 ○	○		水密性	※W-4 ○	○	※W-5 ○	枠見込み(mm)	※図示	○		外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地) (表16.3.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性能等級</th> <th>○D種</th> <th>○E種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>※S-2 ○</td> <td>※S-3 ○</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>※A-4 ○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>※W-3 ○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	性能等級	○D種	○E種	耐風圧性	※S-2 ○	※S-3 ○	気密性	※A-4 ○	○	水密性	※W-3 ○	○	枠見込み(mm)	※図示		○防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○T-1 ○T-2 ○) ○断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○H-4 ○H-5 ○H-6 ○H-7 ○H-8 ○)	外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○ ガラス ※複層ガラス ○単板ガラス ○三重ガラス ○ 表面色 ○標準色 ○特注色 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ 水切り、ぜん板等 ※図示による ○ 木下地の場合の外側に面する内付建具の止水処理 ○行う	10 ロックウール吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け厚さ(mm) 施 工 箇 所 ※仕上げ表による	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○	9 こまい壁塗り (15.11.2) ~ (15.11.8)	土壁用のり ※つのみ ○ふり ○ぎんなんそう ○粉末海藻 ○ 砂壁用のり ※ふり ○つのみ ○ごんちやくのり ○にかわ ○合成樹脂系混和剤 ○ 色土の種類 ○土物仕上げ ○大津仕上げ 色砂の種類 ○天然砂と岩石の砕砂 ○人工的に着色・製造したもので 下塗りの割合 ※表15.11.2 ○ 塗厚 ※表15.11.8 ○ ○耐力壁の指定がある場合 (mm) 工程 ○A種 ○B種 ○土物 仕上げ 種類 ○土もの仕上げ工法 ○水ごね土物1工法 ○水ごね土物2工法 ○のりさし土物工法 ○のりごね土物工法 ○砂壁仕上げ工法 ○切返し仕上げ工法 ちりじゃくり ○大津 仕上げ 種類 ○普通大津仕上げ工法 ○大津みがき仕上げ工法 ちりじゃくり	8 しっくい塗り (15.10.1) ~ (15.10.3)	下地 ○せっこうボード ○せっこうブロック ○モルタル塗り ○木ずり ○こまい ○下塗りをせっこうブロックと上塗りを使用する場合 ○ 材料 ○現場調査材料 ○既調査材料 色しっくい ○適用する ○適用しない 既調査しっくいの割合 ○せっこうボード下地 ※(表15.10.1) ○ ○モルタル塗り下地 ※(表15.10.2) ○ ○せっこうラスボード下地 ※(表15.8.2) ○ 現場調査しっくいの割合及び各層の塗厚 ○木ずり下地 ※(表15.10.3) ○ ○せっこうプラスチック下地、こまい下地 ※(表15.10.4) ○ 既調査しっくいの上塗り仕上げ工法 ○なで切り仕上げ ○パターン	7 マスチック塗材塗り (15.7.2)	種別 ○A種 ○B種 (表15.7.1)	11 木製建具 (16.7.2) (16.7.3)	建具材の含水率の種類 ※A種 ○B種 ○C種 フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※仕様16.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○普通合板</td> <td>表面の樹脂 ○ 板面の品質(※広葉樹1種 ○) 接着の程度(○1種 ○2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度(○1種 ○2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ○プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○接着の程度(○1種 ○2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	合板の種類	規 格 等	備 考	○普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質(※広葉樹1種 ○) 接着の程度(○1種 ○2種)		○天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度(○1種 ○2種)		○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ○プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○接着の程度(○1種 ○2種)		○MDF			表面材の合板の種類及び品質等 ○ 表面板の厚さ ※図示による ○ 引戸の引合せかまちのいんろう付きの適用 ○適用する ○適用しない かまち戸 かまち及び鏡板の樹種 ※図示による ○ 見込み寸法 ※36mm ○ ふすま 材料の種類 ○I型 ○II型 上張りの種類 ※図示による ○ 見込み寸法 ※19.5mm ○ 戸ふすま 上張りの種類 ※図示による ○ 見込み寸法 ※30mm ○ 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ 枠及びくつずりの材料 ※図示による	8 鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密性の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) ○耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級) ○点検口の類のくつずりの材料 ○ ○標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※図示による ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は仕様による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による	9 鋼製軽量建具 (16.5.2) ~ (16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 ※適用する (A-3) ○適用しない ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) ○耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級) 鋼板 ○表面処理垂鉛めっき鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ○ステンレス鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ 鋼板類の厚さ ※表16.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm 召合せ、縦小口包み板等 ※鋼板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム合金の押出形材	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~ (16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密性の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級) ○断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級) ○耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級) ステンレス鋼板 ※JIS G 4305 種類 ○SUS304 ○SUS430J1L ○SUS443J1 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ○ JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は仕様による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※HL ○角面 曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ
		種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		○外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		○可とう形外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○着色骨材砂壁状	○吹付け	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○可とう形外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状		吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○外装薄塗材S	○砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装薄塗材C	○砂壁状	吹付け	○調湿形																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	○平たん状 ○凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装薄塗材L	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○ゆず肌状 ○さざ波状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装薄塗材Si	○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○内装薄塗材E	○平たん状 ○凹凸状		こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○内装薄塗材W	○京壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け	○調湿形 ○耐アルカリ性 ○かび抵抗性																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○外装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○外装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け	○調湿形																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装厚塗材L	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装厚塗材G	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○平たん状 ○凹凸状	こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○内装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○内装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状		こて塗																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類(呼び名)	仕 上 げ	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
複層仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○複層塗材CE	○凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○複層塗材RE	○凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○複層塗材Si	○ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○複層塗材E	○ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○可とう形複層塗材CE	○凸部処理 ○凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○可とう形複層塗材E	○ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○防水形複層塗材CE	○凸部処理	吹付け(○増塗材)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○防水形複層塗材E	○凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○防水形複層塗材RE	○ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
性能等級	●A種	○B種	○C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
耐風圧性	※S-4 ○	※S-5 ○	※S-6 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
気密性	※A-3 ○	○	※A-4 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
水密性	※W-4 ○	○	※W-5 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
枠見込み(mm)	※図示 ●70 ○100	○	※図示 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
性能等級	○D種	○E種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐風圧性	※S-2 ○	※S-3 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
気密性	※A-3 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
水密性	※W-3 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
枠見込み(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 別	色	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋外	○BB-1種	○標準 ○特注 ※図示による ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	●BB-2種	●標準 ○特注 ※図示による ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
屋内	○BC-1種	○標準 ○特注 ※図示による ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○BC-2種	○標準 ○特注 ※図示による ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	○	○標準 ○特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
性能等級	○A種	○B種	○C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
耐風圧性	※S-4 ○	※S-5 ○	※S-6 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
気密性	※A-4 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
水密性	※W-4 ○	○	※W-5 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
枠見込み(mm)	※図示	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
性能等級	○D種	○E種																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
耐風圧性	※S-2 ○	※S-3 ○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
気密性	※A-4 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
水密性	※W-3 ○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
枠見込み(mm)	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
合板の種類	規 格 等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○普通合板	表面の樹脂 ○ 板面の品質(※広葉樹1種 ○) 接着の程度(○1種 ○2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度(○1種 ○2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ○プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○接着の程度(○1種 ○2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○MDF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	
19 内 装 工 事	4 帯電防止床シート、 床タイル (19.2.2)	○帯電防止床シート 種 類 性 能 厚 さ (mm) ○ <input type="checkbox"/> 体積抵抗値 1×10 ⁷ ~1×10 ¹⁰ Ω程度 ○帯電防止床タイル 種 類 性 能 寸法 厚 さ (mm) ○ <input type="checkbox"/> 体積抵抗値 1×10 ⁷ ~1×10 ¹⁰ Ω程度	19 内 装 工 事	複合フローリング 種 別 樹 種 厚 さ (mm) 工 法 種 別 備 考 ○ 1×6タイプ ○ 8 ○ 釘留め工法 ○ フローリングボードタイプ ※ なら ○ 15 ○ 根太張り工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ <input type="checkbox"/> 直張り工法 ○ 接着工法	20 ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事	1 家具、ユニット等の 揮発性有機化合物 対策	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等の ホルムアルデヒド等の放散量 ※F☆☆☆☆ ○ <input type="checkbox"/> 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 ※F☆☆☆☆ ○ <input type="checkbox"/> 含まれる可塑剤 ※フタル酸エステル等を含有しない、難揮発性のもの ○ <input type="checkbox"/>	
	5 視覚障害者用 床タイル (19.2.2)	種 類 形 状 備 考 ○ 塩化ビニル系 ※ 300mm角 ○ レジンコンクリート系 ○ 150mm角 ○ 磁器又はセラミックタイル ○		13 線甲板張り (19.5.1)		種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/>	2 フリーアクセス フロア (20.2.2)	※ 建設技術評価制度「耐震型フリーアクセス」の技術評価を取得した製品とする。 施 工 箇 所 寸法 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい (mm) 高さ(mm) 性能 性能 性能 性能 性能 性能 性能 性能 スロープ及びボーダー ※ 製造所の標準仕様 ○ 図示による コンセント等の取付け ※ 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 ※ 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル ○ あり (※ 固定式 ○ 可変式 施工箇所は図示) ※ 表面仕上げ材の品質、規模等は、標丈19章内装工事による。
	6 耐動荷重性床シート (19.2.2)	種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/>		14 畳敷き (19.6.2)		種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 (KT-___) (表19.6.1) 衝撃緩和畳 (畳表 OC1 OC2)	3 可動間仕切 (20.2.3)	種 類 構 造 形 式 構 成 基 材 表 面 仕 上 遮 音 性 寸 法 ・ 形 状 ○ パネル式 ○メラミン樹脂又は ○ スタッド式 アクリル樹脂焼付 ○ スラットバネ式 ○
	7 防滑性床シート、 床タイル (19.2.2)	○ 防滑性床シート 種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/>		⑮ せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り (19.7.2)		種別 ※表19.7.11によるJIS規格品とする (表19.7.1) 種 類 規 格 ・ 厚 さ (mm) 等 ● せっこうボード (GB-R) ※12.5 (不燃) ○ 9.5 (準不燃) ● 化粧せっこうボード (GB-D) ○ 杉葎模様 ○ 12.5 (不燃) ● トラバーチン模様 ● 9.5 (準不燃) (難燃下地は専用のものとする) ○ 不燃積層せっこうボード (GB-NC) ○ トラバーチン模様 ※9.5 (不燃) ○ 模様なし ○ シージングせっこうボード (GB-S) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※9.5 (準不燃) ○ 強化せっこうボード (GB-F) ○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃) ○ ロックウール吸音ボード (RW-B) ※25 ○ ○ グラスウール吸音ボード (GW-B) ※25 ○ ○ 吸音あなきせっこうボード (GB-P) ○ 9.5 (準不燃) ○ ロックウール化粧吸音板 (DR) 内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※9 (不燃) 立休模様 ○ 15 (不燃) ※12 (不燃) 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※9 (不燃) 立休模様 ○ 15 (不燃) ※12 (不燃)	4 移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作法による種類/パネル表面材・仕上/パネル圧接装置の操作方法/遮音性
	8 ビニル幅木 (19.2.2)	種 類 高 さ (mm) 厚 さ (mm) ○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0		16 壁紙張り (19.8.2)		種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0	5 トイレブース (20.2.5)	表面材 ○ メラミン樹脂系化粧板 ○ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木型 ○ 足金物型 ドアエッジの材質 ※ トイレブース製造所の仕様による。 ○ <input type="checkbox"/> パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆
	9 ゴム床タイル張り (19.2.2)	種 類 色 柄 厚 さ (mm) 寸 法 (mm) ○ 単層品 ○ 積層品		17 鋼製書架及び棚 20 収納家具(木製)		種 類 厚 さ (mm) 寸 法 (mm) ○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0	6 てすり (20.2.6)	材料及び表面処理 施工箇所 ○ ステンレス製 SUS304 ※HL程度 ○ <input type="checkbox"/> ○ 鋼製 亜鉛めっき 外部 ○ <input type="checkbox"/> 内部 ○ <input type="checkbox"/> ○ アルミニウム製 ○ <input type="checkbox"/>
	10 カーベツト敷き (19.3.2) (19.3.3)	○ 織じゅうたん 種 別 織り方 バイル形状 帯電性 色 柄 接合方法 施 工 箇 所 ○ A種 ○ 適用 ※ 無地 ○ トドメノド工法 ○ B種 ○ <input type="checkbox"/> ○ つづり縫い ○ C種 ○ <input type="checkbox"/>		18 断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)		種 類 高 さ (mm) 厚 さ (mm) ○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0	7 階段滑り止め (20.2.7)	あと施工アンカー 材質 _____ 寸法 _____ 引抜耐力試験 ※ 行う
	⑪ 合成樹脂塗り床 (19.4.2) (19.4.3)	○ タフトドカーベツト バイル形状 バイル長さ(mm) 工 法 帯電性 施 工 箇 所 ○ グリッド工法 ○ 適用 ○ 全面接着工法		19 旗竿受金物 (19.9.2)		種 類 高 さ (mm) 厚 さ (mm) ○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0	8 黒板及び ホワイトボード (20.2.9)	表面材 ○ ステンレス製 (SUS304) H L 仕上) 径 _____ mm (仕様は金属工事参照) ○ 集成材 径 _____ mm ○ クリアラッカー仕上げ ○ ビニル製ハンドレール ※ 丸型 径 _____ mm ○ 平型 幅 _____ mm
	12 フローリング張り (19.5.2) ~ (19.5.6)	○ タイルカーベツト 種 別 バイル形状 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施 工 箇 所 ※ 一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5 ○ 二種 ○ <input type="checkbox"/> タイルカーベツトの敷き方 平場部分 ※ 市松敷き ○ <input type="checkbox"/> 階段部分 ※ 模様流し ○ <input type="checkbox"/> 下敷き材 ※ JIS L 3204 (反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm 見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ <input type="checkbox"/>		20 旗竿受金物 (19.9.2)		種 類 高 さ (mm) 厚 さ (mm) ○ 軟質 ○ 硬質 ※ 60 ○ 75 ○ 100 ○ ※ 1.5 ○ 2.0	9 鏡 (20.2.10)	材種 ○ ステンレス製 (SUS304) ○ _____ 幅 ○ 約35mm ○ _____ 形状 ○ ビニルタイヤ入り 両端フタ付 ○ あり (○ ビニル ○ SUS304) 取付工法 ※ 接着工法 ○ 埋込み工法

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																										
(2) 土・鉄筋・コンクリート工事 1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (8.28.3) 2 建設発生土の処理 (3.2.5) 3 鉄筋の種類 (5.2.1) 4 溶接金網 (5.2.2) 5 コンクリートの種類 (6.2.1) 6 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.14.1) 7 セメントの種類 (6.3.1) 8 骨材 (6.3.1) 9 混和材料 (6.3.1)	本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(平成31年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。 なお、耐震改修工事に係る「鉄筋・コンクリート」の取り扱いは、後述の章「8 耐震改修工事」によるものとする。 ○ A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ○ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ その他(材料 _____ 工法 _____) ○ 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量(_____ m ³) 発生場所(_____) 下記に定めるほかは、現場説明書による ○ 構外指示の受入場所に処分 受入場所 ○(一財)城陽山砂利採取地整備公社 _____ 土壌調査 ○行う(受入場所指定の検査) ○ _____ ○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 ○ _____ ○ 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理 ※ 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、搬出量が少量(500m ³ 以内)かつ緊急の場合等 (表5.2.1)	(2) 土・鉄筋・コンクリート工事 10 構造体強度補正值 (6.3.2) 11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) 13 寒中コンクリート (6.11.1) 14 暑中コンクリート (6.12.2) ⑮ コンクリート車の過積載防止対策等 ① 既存下地の処理 (3.2.6) 2 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5) 3 防水改修工事	※ 気温による構造体強度補正值(S) (表6.3.2) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">予想平均気温(℃)</th> <th rowspan="2">補正值</th> <th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th> </tr> <tr> <th>南部地域</th> <th>中部地域</th> <th>北部地域</th> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>N/mm²</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> <td>9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/6 ~ 3/10</td> <td>11/1 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm²</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	予想平均気温(℃)	補正值	期 間 (打 設 日)			南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10		N/mm ²	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	11/16 ~ 3/5	11/6 ~ 3/10	11/1 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm ²			3 防水改修工事 3 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) ④ 合成高分子樹脂シート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	※ フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する 常時土又は水に直接接する部分の使用 ○可 ○不可 種類 ○1種 ○2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³ ※ 予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節(寒中コンクリート)による。 ※ 暑中における構造体強度補正值(S) <table border="1"> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超える期間(打設日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7月11日~8月31日</td> <td>※ 6N/mm²</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7月21日~8月31日</td> <td>○ 3N/mm²</td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7月1日~9月10日</td> <td></td> </tr> </table> 受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサ車1台毎の積載量が把握できる運搬監視表を検査時に提出しなければならない。	地 域	日平均気温が25度を超える期間(打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日~8月31日	※ 6N/mm ²	中 部 地 域	7月21日~8月31日	○ 3N/mm ²	南 部 地 域	7月1日~9月10日		5 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3) 6 漏水試験 ⑦ 保証書 ⑧ 施工標識 ⑨ シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8) ⑩ とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種 別 及 び 工 程</th> <th rowspan="2">防水層</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>○ M 1 X 工法</td> <td>※ X-1</td> <td>○ X-2</td> <td rowspan="4">表3.6.1</td> <td rowspan="4">● 図示</td> </tr> <tr> <td>○ L 4 X 工法</td> <td>○ X-1</td> <td>※ X-2</td> </tr> <tr> <td>○ P 1 Y 工法</td> <td>※ Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P 2 Y 工法</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> 表3.6.2 脱気装置(X-1) ○ 設ける 材種() 設置数量(1箇所/ _____ m ²) 保護層 ○ 設ける ○ 設けない ※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外) ※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。(保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。) 工事後後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ _____ 設置数量() 箇所 シーリング材の種類 ※ 改修標仕表3.7.11による シーリング改修工法及び施工箇所 <table border="1"> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>● シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table> 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びびびり割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ _____ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ _____ シーリングの試験 ※ 簡易接着性試験 (部位 _____) ○ 引張接着性試験 (部位 _____) ※ 外とい(外気に接するとい)	種 別 及 び 工 程	防水層	施工箇所	仕上塗料		種類	使用量	○ M 1 X 工法	※ X-1	○ X-2	表3.6.1	● 図示	○ L 4 X 工法	○ X-1	※ X-2	○ P 1 Y 工法	※ Y-2		○ P 2 Y 工法	○		改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	● シーリング充填工法		● シーリング再充填工法		○ 拡幅シーリング再充填工法		○ ブリッジ工法																				
	予想平均気温(℃)		補正值			期 間 (打 設 日)																																																																																											
				南部地域	中部地域	北部地域																																																																																											
	8以上		5以上	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																											
			N/mm ²	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																																																																											
	0以上		0以上	11/16 ~ 3/5	11/6 ~ 3/10	11/1 ~ 3/10																																																																																											
	8未満		5未満	N/mm ²																																																																																													
	地 域		日平均気温が25度を超える期間(打設日)	補 正 値																																																																																													
	北 部 地 域		7月11日~8月31日	※ 6N/mm ²																																																																																													
	中 部 地 域		7月21日~8月31日	○ 3N/mm ²																																																																																													
南 部 地 域	7月1日~9月10日																																																																																																
種 別 及 び 工 程	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																														
			種類	使用量																																																																																													
○ M 1 X 工法	※ X-1	○ X-2	表3.6.1	● 図示																																																																																													
○ L 4 X 工法	○ X-1	※ X-2																																																																																															
○ P 1 Y 工法	※ Y-2																																																																																																
○ P 2 Y 工法	○																																																																																																
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																
● シーリング充填工法																																																																																																	
● シーリング再充填工法																																																																																																	
○ 拡幅シーリング再充填工法																																																																																																	
○ ブリッジ工法																																																																																																	
○ 混合剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種(JIS A 6204) 防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) ○ 混和材 ※ フライアッシュ(JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○ コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) ○ コンクリート用シリカフューム(JIS A 6207) ○ コンクリート用膨張材(JIS A 6202)	○ 保護防水工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ P 1 B 工法</td> <td>○ B-1 ○ B-2</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P 1 B I 工法</td> <td>○ BI-1 ○ BI-2</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>○ T 1 B I 工法</td> <td>○ BI-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P 2 A I 工法</td> <td>○ AI-1 ○ AI-2</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ AI-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ P 2 A 工法</td> <td>○ A-1 ○ A-2</td> <td>表3.3.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ A-3</td> <td></td> </tr> </table> ○ 露出防水工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>○ M 4 C 工法</td> <td>○ C-1 ○ C-2</td> <td rowspan="3">表3.3.7</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ C-3 ○ C-4</td> </tr> <tr> <td>○ M 3 D 工法</td> <td>○ D-1 ○ D-2</td> </tr> <tr> <td>○ P 0 D 工法</td> <td>○ D-3 ○ D-4</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○ 露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>○ P 0 D I 工法</td> <td rowspan="3">表3.3.9</td> <td rowspan="3">○ DI-1 ○ DI-2</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>○ M 3 D I 工法</td> </tr> <tr> <td>○ M 4 D I 工法</td> </tr> </table> ○ 屋内防水工法 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ P 1 E 工法</td> <td>○ E-1 ○ E-2</td> <td>表3.3.10</td> </tr> <tr> <td>○ P 2 E 工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○ 断熱材(屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm ○ 断熱材(屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による ○ _____	種 別	防水層	施 工 箇 所	○ P 1 B 工法	○ B-1 ○ B-2	表3.3.3		○ B-3		○ P 1 B I 工法	○ BI-1 ○ BI-2	表3.3.4	○ T 1 B I 工法	○ BI-3		○ P 2 A I 工法	○ AI-1 ○ AI-2	表3.3.5		○ AI-3		○ P 2 A 工法	○ A-1 ○ A-2	表3.3.6		○ A-3		種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		○ M 4 C 工法	○ C-1 ○ C-2	表3.3.7	種類	使用量		○ C-3 ○ C-4	○ M 3 D 工法	○ D-1 ○ D-2	○ P 0 D 工法	○ D-3 ○ D-4	表3.3.8			種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		○ P 0 D I 工法	表3.3.9	○ DI-1 ○ DI-2	種類	使用量	○ M 3 D I 工法	○ M 4 D I 工法	種 別	防水層	施 工 箇 所	○ P 1 E 工法	○ E-1 ○ E-2	表3.3.10	○ P 2 E 工法			11 アルミニウム製 笠木 (3.9.2) (3.9.3)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">幅</th> <th rowspan="2">板厚(mm)</th> <th rowspan="2">表面処理</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>○ 250 形</td> <td>○ 240</td> <td>1.6</td> <td>○ AB-1種 ○ AB-2種</td> <td rowspan="5">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 250</td> <td></td> <td>○ AC-1種 ○ AC-2種</td> </tr> <tr> <td>○ 300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>○ BA-1種 ○ BA-2種</td> </tr> <tr> <td>○ 350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>○ BB-1種 ○ BB-2種</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○ BC-1種 ○ BC-2種</td> </tr> </table> 表3.9.1 既存笠木等の撤去 ○ 行う (範囲 ○ 図示 ○ _____) ○ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 ○ _____ 板材折曲げ形の笠木取付方法 ※ 図示 ○ _____ 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 ※ 図示による ○ _____	種 類	幅	板厚(mm)	表面処理	備 考	備 考	○ 250 形	○ 240	1.6	○ AB-1種 ○ AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。		○ 250		○ AC-1種 ○ AC-2種	○ 300 形	300	1.8	○ BA-1種 ○ BA-2種	○ 350 形	350	2.0	○ BB-1種 ○ BB-2種	○			○ BC-1種 ○ BC-2種
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																															
○ P 1 B 工法	○ B-1 ○ B-2	表3.3.3																																																																																															
	○ B-3																																																																																																
○ P 1 B I 工法	○ BI-1 ○ BI-2	表3.3.4																																																																																															
○ T 1 B I 工法	○ BI-3																																																																																																
○ P 2 A I 工法	○ AI-1 ○ AI-2	表3.3.5																																																																																															
	○ AI-3																																																																																																
○ P 2 A 工法	○ A-1 ○ A-2	表3.3.6																																																																																															
	○ A-3																																																																																																
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																														
○ M 4 C 工法	○ C-1 ○ C-2	表3.3.7	種類	使用量																																																																																													
	○ C-3 ○ C-4																																																																																																
○ M 3 D 工法	○ D-1 ○ D-2																																																																																																
○ P 0 D 工法	○ D-3 ○ D-4	表3.3.8																																																																																															
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																														
○ P 0 D I 工法	表3.3.9	○ DI-1 ○ DI-2	種類	使用量																																																																																													
○ M 3 D I 工法																																																																																																	
○ M 4 D I 工法																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																															
○ P 1 E 工法	○ E-1 ○ E-2	表3.3.10																																																																																															
○ P 2 E 工法																																																																																																	
種 類	幅	板厚(mm)	表面処理	備 考																																																																																													
					備 考																																																																																												
○ 250 形	○ 240	1.6	○ AB-1種 ○ AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。																																																																																													
	○ 250		○ AC-1種 ○ AC-2種																																																																																														
○ 300 形	300	1.8	○ BA-1種 ○ BA-2種																																																																																														
○ 350 形	350	2.0	○ BB-1種 ○ BB-2種																																																																																														
○			○ BC-1種 ○ BC-2種																																																																																														

Construction specification document for exterior wall repair. It includes sections for: 1. Construction quantity survey (①), 2. Crack repair (②), and 3. Missing part repair (③). Each section contains detailed descriptions of work items, materials, and methods, often accompanied by tables for material specifications and application rates. The document is organized into columns for project items, descriptions, and specific technical details.

Chapter 5: Building Renovation Work. Section 20: Glass Glazing (5.13.2). Section 21: Glass Block (5.13.5). Section 22: Wood Building (16.7.2). Section 23: Polycarbonate Resin Board. Includes material specifications, installation methods, and safety notes.

Chapter 6: Interior Renovation Work. Section 3: Existing Bed Removal (6.2.2). Section 4: Existing Wall Removal (6.3.2). Section 5: Existing Floor Removal (6.5.1) ~ (6.5.9). Includes structural diagrams, material specifications, and safety notes.

Chapter 6: Interior Renovation Work. Section 1: Volatile Organic Compound Countermeasures (6.5.2) ~ (6.5.4). Section 2: Other Parts and Handling (6.1.3). Includes material specifications, safety procedures, and removal methods.

Chapter 6: Interior Renovation Work. Section 6: General Interior Renovation. Includes sections for Composite Materials, Plywood, Solid Wood Paneling, and Paneling. Contains detailed material specifications and installation diagrams.

Chapter 6: Interior Renovation Work. Section 6: General Interior Renovation. Includes sections for Masonry, Metal Decking, Light Metal Wall Paneling, and Vinyl Tiles. Contains detailed material specifications and installation diagrams.

章 項 目	特 記 事 項		
	種 類	性 能	厚 さ (mm)
6	○ 帯電防止床シート ○ 帯電防止タイル		
	種 類	※ 体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下	
9	○ 視覚障害者用床タイル		
	種 類	形 状	備 考
10	○ 塩化ビニル系 ○ レジンコンクリート系 ○ 磁器又はセラミック系タイル		
	種 類	※ 300mm角 ○ 150mm角	
11	○ 耐動荷重性床シート		
	種 類	厚 さ (mm)	備 考
12	○ 防滑性床シート ○ 防滑性床タイル		
	種 類	寸 法	厚 さ (mm)
13	○ ビニル幅木		
	種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)
14	○ ゴム床タイル張り		
	色 柄	種 類	厚 さ (mm) 寸 法 (mm)
15	○ 織じゅうたん		
	種 別	織り方	パイル形状
16	○ タフテッドカーペット		
	パイル形状	パイル長さ (mm)	工 法
17	○ ニードルパンチカーペット		
	厚 さ (mm)	帯電性	施 工 箇 所
18	○ タイルカーペット		
	種別	パイル形状	寸法 (mm) 総厚さ (mm) 施 工 箇 所
19	○ 厚膜型塗床材		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)
20	○ 単層フローリング ○ フローリングボードタイプ		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)

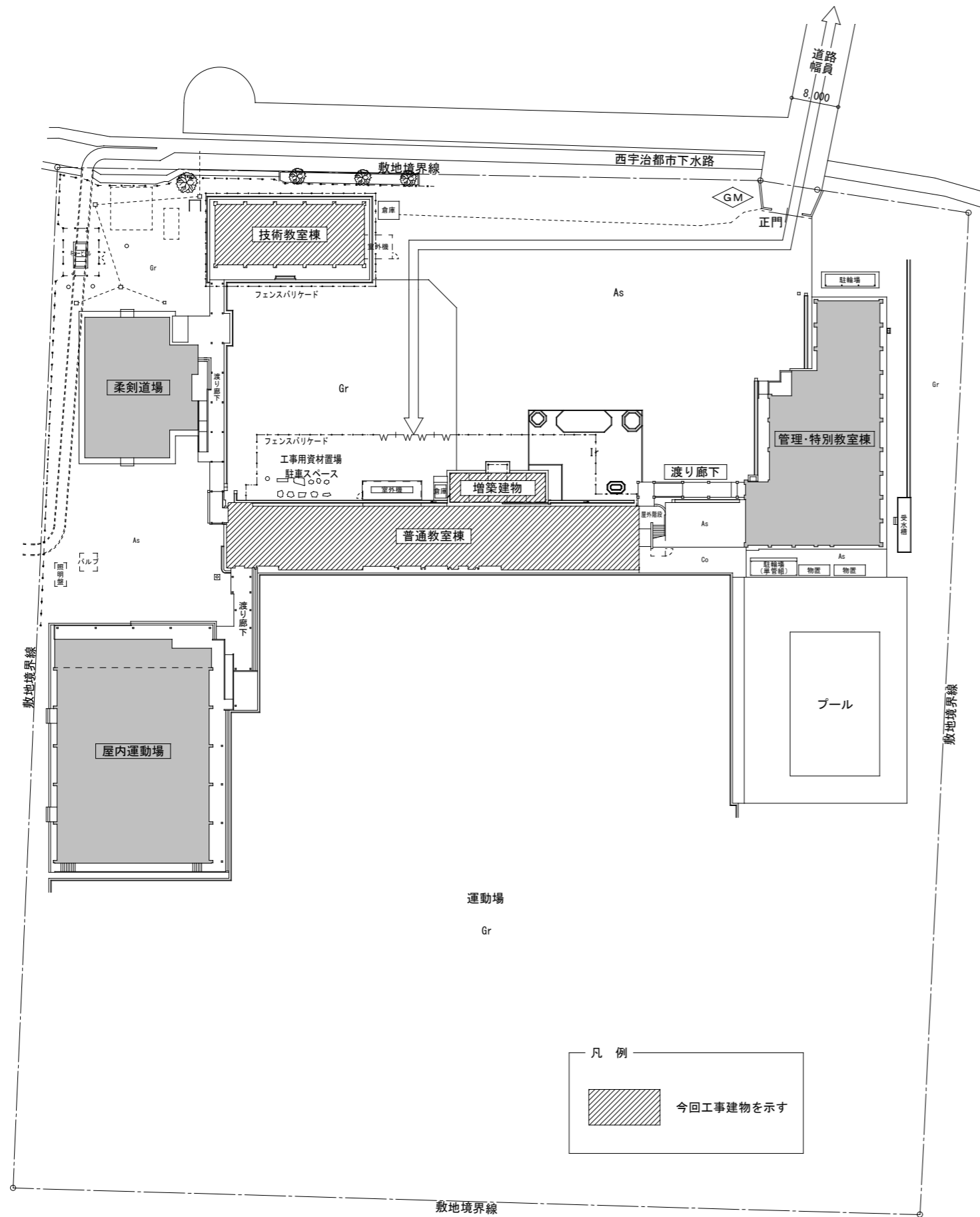
章 項 目	特 記 事 項		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)
6	複合フローリング		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)
12	⑬畳敷き (6.12.2)		
	⑬せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2)		
14	⑯モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)		
	⑰壁紙張り (6.14.2)		
15	⑱天井廻り縁		
	⑲モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)		
16	⑳床張り		
	㉑目地の種類		

章 項 目	特 記 事 項		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)
6	伸縮調整目地等 床面 ※ 縦・横とも4m以内ごと ○ _____		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)
7	①塗装材料 (7.1.3)		
	②下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)		
8	③錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3)		
	④耐震補強工事 (8.1.1)		

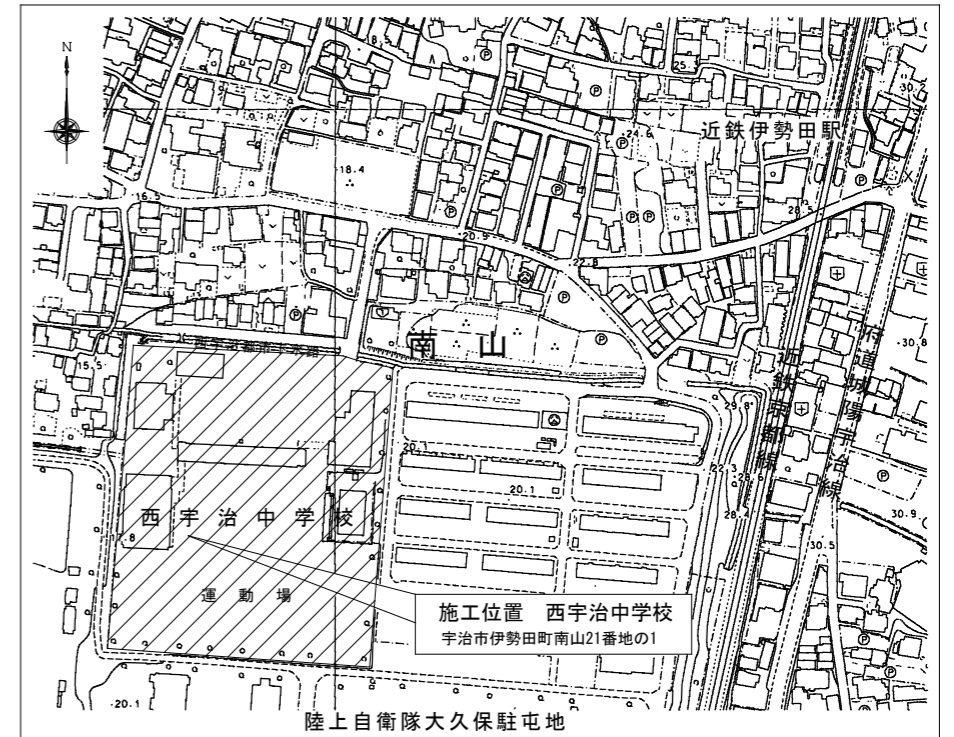
章 項 目	特 記 事 項		
	種 類	樹 種	厚 さ (mm)
7	④塗装工程 (7.4.2) ~ (7.15.2)		
	④鉄筋の種類 (8.2.1)		
8	④鉄筋の継手 (8.3.4)		
	④溶接金網 (8.2.2)		
9	④鉄筋の継手 (8.3.4)		
	④溶接金網 (8.2.2)		

アスベスト対策工事仕様書

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																															
13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>①適用範囲 (9.1.1)</p> <p>アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アスベスト含有塗材 (可とう形外装薄塗材E) 除去工事 <ul style="list-style-type: none"> ○ 除去工法 ○ 封じ込め工法 () ○ 囲い込み工法 () ○ アスベスト含有保温材等除去工事 ● アスベスト含有成形板等除去工事 <p>②法令等の遵守</p> <p>施工にあたっては、「大気汚染防止法 (昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法 (昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則 (平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律137号)」「建築基準法 (昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法) (平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例 (平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。</p> <p>③石綿含有建材の調査 (1.5.1)</p> <p>事前調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 <p>事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。</p> <p>調査範囲 ※ 図示による ○ _____</p> <p>調査事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ※石綿使用部位の確認 ※石綿層の厚さの確認 ※施工範囲と工事管理区分の確認 ※更衣施設等の仮設計画 ※廃棄物等の搬出方法 <p>アスベスト含有分析</p> <p>○ 行う (分析結果を監督職員に提出する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○ (試料数))</td> <td>○ (試料数))</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ (試料数))</td> <td>○ (試料数))</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ (試料数))</td> <td>○ (試料数))</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ (試料数))</td> <td>○ (試料数))</td> </tr> </tbody> </table> <p>※JIS A 1481に基づくこと。</p> <p>○ 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○あり ○なし</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>● 行う</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>● 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>負圧粉じん装置の排出吹き出し口</td> <td>吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業室外</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td>シート撤去後</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>● 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td>1週間以降</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。</p> <p>○ 行わない</p> <p>測定機関 ※ (社) 日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>○ _____</p> <p>報告書提出部数 ※ 3部 ○部</p>	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		○ (試料数))	○ (試料数))		○ (試料数))	○ (試料数))		○ (試料数))	○ (試料数))		○ (試料数))	○ (試料数))	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備 考	処理作業前	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点		処理作業中	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		処理作業中	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点		処理作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点		処理作業後	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中	処理作業後	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降					<p>⑤仕上げ工事 (9.1.1)</p> <p>アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事</p> <p>※図示による ○ _____</p> <p>⑥石綿作業主任者 (9.1.2)</p> <p>石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。</p> <p>7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。</p> <p>8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)</p> <p>施工業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 ○ 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。 <p>除去を行う範囲</p> <p>※ 図示による (仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認)</p> <p>○ 全ての室 ○ _____</p> <p>除去工法</p> <p>※ 改修標仕9.1.3(b)(1)による ○ _____</p> <p>除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○吹付け石綿</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有吹付けロックウール</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有吹付けひる石</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有吹付けバーライト</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物の処理方法</p> <p>※ 密封処理 (二重袋梱包)</p> <p>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。</p> <p>○ セメント固化 ○ 溶融固化</p> <p>除去物等の保管</p> <p>※ 他の建設副産物等と分別して保管する。</p> <p>※ 飛散防止措置を講ずる。</p> <p>※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分</p> <p>廃棄物及び清掃に関する法律 (昭和45年法律137号) の規定を遵守して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地 ((株) 京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。 	種 類	種 類	○吹付け石綿	○	○石綿含有吹付けロックウール	○	○石綿含有吹付けひる石	○	○石綿含有吹付けバーライト	○	<p>9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)</p> <p>除去を行う範囲</p> <p>※ 図示による ○ _____</p> <p>除去の方法</p> <p>※ 原形のまま手ばらし ○ 手ばらし以外 (この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする) ○ _____</p> <p>除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○石綿保温材</td> <td>○石綿含有耐火被覆材</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有けいそう土保温材</td> <td>○石綿含有けい酸カルシウム板第二種</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有バーライト保温材</td> <td>○屋根用折板裏断熱材</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有けい酸カルシウム保温材</td> <td>○煙突用断熱材</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有水練り保温材</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物の処理方法</p> <p>※ 密封処理 (二重袋梱包)</p> <p>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。</p> <p>○ セメント固化 ○ 溶融固化</p> <p>除去物等の保管</p> <p>※ 他の建設副産物等と分別して保管する。</p> <p>※ 飛散防止措置を講ずる。</p> <p>※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分</p> <p>廃棄物及び清掃に関する法律 (昭和45年法律137号) の規定を遵守して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地 ((株) 京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。 	種 類	種 類	○石綿保温材	○石綿含有耐火被覆材	○石綿含有けいそう土保温材	○石綿含有けい酸カルシウム板第二種	○石綿含有バーライト保温材	○屋根用折板裏断熱材	○石綿含有けい酸カルシウム保温材	○煙突用断熱材	○石綿含有水練り保温材	○	<p>13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事</p> <p>⑩アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲</p> <p>○ 図示による</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 配膳室設置工事に伴う普通教室棟外部建具撤去工事に関係する外壁部分 <p>除去の方法</p> <p>※ 湿潤化したのちに手ばらし ○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法) <p>除去を行うアスベスト含有成形板の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○石綿含有スレート</td> <td></td> <td>○石綿含有ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有けい酸カルシウム板</td> <td>6.0</td> <td>○石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○石綿含有押出成形セメント板</td> <td></td> <td>○化粧石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○石綿含有岩綿吸音天井板</td> <td>9.0</td> <td>●石綿含有仕上塗料 (外壁塗料下地調整剤) (可とう形外装薄塗材E)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>○石綿含有石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物等の使用場所</p> <p>除去物等の保管</p> <p>※ 他の建設副産物等と分別して保管する。</p> <p>※ 飛散防止措置を講ずる。</p> <p>※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分</p> <p>廃棄物及び清掃に関する法律 (昭和45年法律137号) の規定を遵守して行う。</p> <p>アスベスト含有石膏ボード (管理型最終処分場における埋立処分) を除くアスベスト含有成形板</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 ※ 指定処分地 ((財) 宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙島山6-2 TEL 0774-21-2807) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。 	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	○石綿含有スレート		○石綿含有ビニル床タイル	2.0	○石綿含有けい酸カルシウム板	6.0	○石綿セメントけい酸カルシウム板		○石綿含有押出成形セメント板		○化粧石綿セメントけい酸カルシウム板		○石綿含有岩綿吸音天井板	9.0	●石綿含有仕上塗料 (外壁塗料下地調整剤) (可とう形外装薄塗材E)	-	○石綿含有石膏ボード	9.5		
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																																																																																				
	○ (試料数))	○ (試料数))																																																																																																				
	○ (試料数))	○ (試料数))																																																																																																				
	○ (試料数))	○ (試料数))																																																																																																				
	○ (試料数))	○ (試料数))																																																																																																				
測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備 考																																																																																																			
処理作業前	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																																																																				
	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点																																																																																																				
	処理作業中	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																																																																			
処理作業中	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点																																																																																																				
	処理作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点																																																																																																				
	処理作業後	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中																																																																																																		
処理作業後	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後																																																																																																			
	調査対象室外部付近	● 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降																																																																																																			
種 類	種 類																																																																																																					
○吹付け石綿	○																																																																																																					
○石綿含有吹付けロックウール	○																																																																																																					
○石綿含有吹付けひる石	○																																																																																																					
○石綿含有吹付けバーライト	○																																																																																																					
種 類	種 類																																																																																																					
○石綿保温材	○石綿含有耐火被覆材																																																																																																					
○石綿含有けいそう土保温材	○石綿含有けい酸カルシウム板第二種																																																																																																					
○石綿含有バーライト保温材	○屋根用折板裏断熱材																																																																																																					
○石綿含有けい酸カルシウム保温材	○煙突用断熱材																																																																																																					
○石綿含有水練り保温材	○																																																																																																					
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																																																																																			
○石綿含有スレート		○石綿含有ビニル床タイル	2.0																																																																																																			
○石綿含有けい酸カルシウム板	6.0	○石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																				
○石綿含有押出成形セメント板		○化粧石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																				
○石綿含有岩綿吸音天井板	9.0	●石綿含有仕上塗料 (外壁塗料下地調整剤) (可とう形外装薄塗材E)	-																																																																																																			
○石綿含有石膏ボード	9.5																																																																																																					

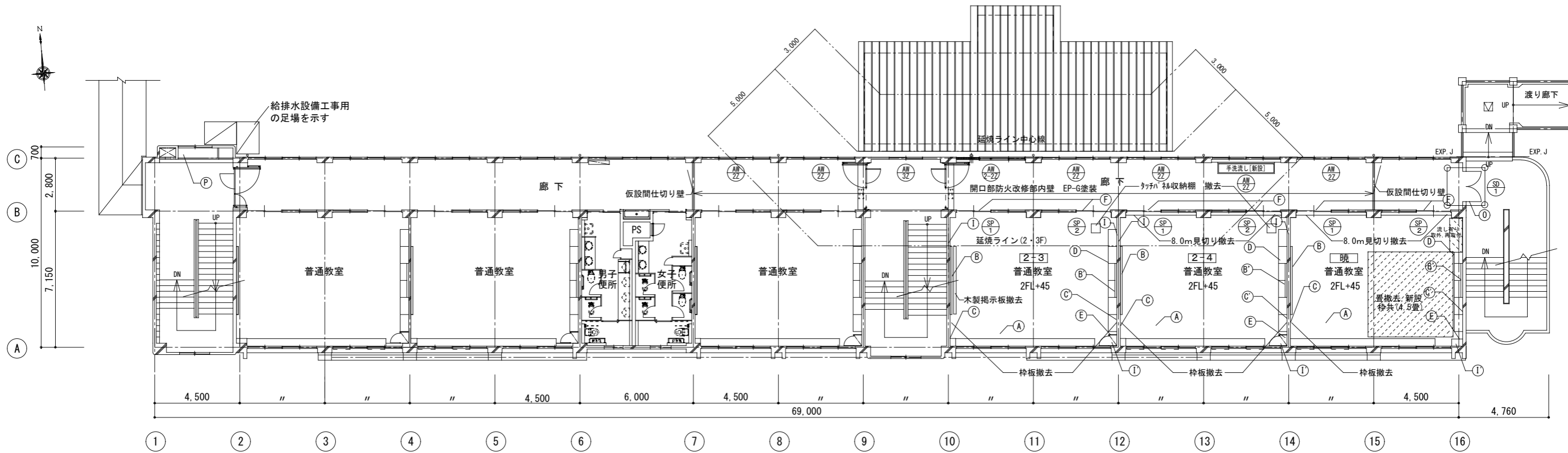


配置図 S=1/600

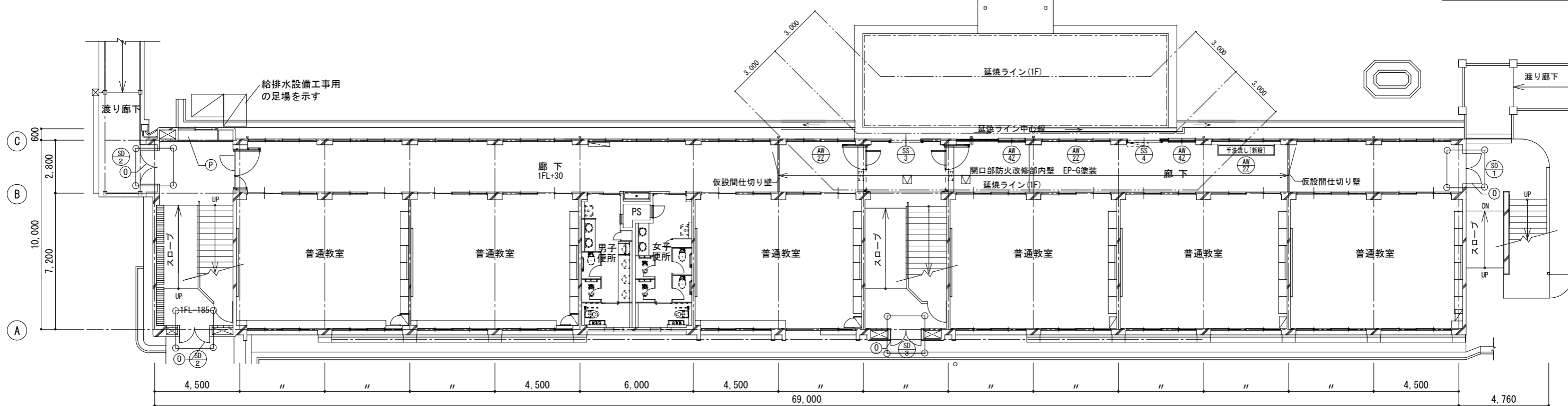


付近見取図 S=1/5000

凡例・特記事項	
◇GM	交通誘導員の配備位置を示す。(作業中適宜移動) 大型重機による進入及び作業を行う場合は、必要に応じて増員する
→	工事用車両進入路を示す
-○-	仮囲い フェンスバリケード+養生シート張 H 1800 (下部幅木板設置)
-W+W-	キャスターゲート W=6000 1か所



2階平面図



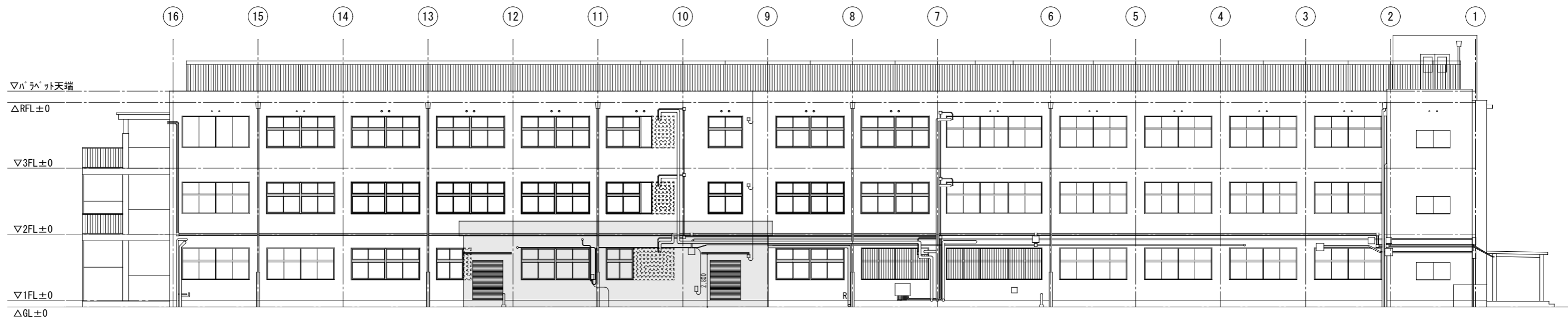
1階平面図

仕上表		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
A	現況	ブナ複合フローリング t=15.0			D	現況	生徒用ロッカー：1780x400x880 (1教室3台)			G	現況	廻縁・巾木・カーテンボックス：木製 SOP			O	現況	外部建具：鋼製 両開き扉 W1600xH2000		
	改修	UC塗装 (3回塗) フローリング床研磨				改修	撤去 (本工程)・新設 (別途工事)：1415x450x1175 (1教室4台)				改修	SOP塗装改修 (カーテンレール撤去・新設)				改修	取替え：鋼製 両開き扉 W1600xH2000 DP シーリング共		
B	現況	黒板：W3600xH1200 (B) W1800xH900			E	現況	掃除用具入れ：455x450x1790			H	現況	柱・梁型・壁面：モルタル EP			P	現況	コンクリート製手洗い掃除流し		
	改修	撤去・新設：W3600xH1200 (B) W1800xH900				改修	撤去 (本工程)・新設 (別途工事)：600x400x1800				改修	EP塗装改修				改修	取替え：ステンレス製手洗い掃除流し		
C	現況	掲示板：W6390xH1700 (C) W6650xH1700			F	現況	スクールパーティション：引違い戸 SP1.2W1800xH1980 6カ所			I	現況	額掛け：木製 W7200xH150 5カ所 (I) 掃除用具台：木製 3カ所			凡例	フェンスバリアードを示す H=1800			
	改修	撤去・新設：W6390xH1700 (C) W6650xH1425 (2-3)木部共				改修	撤去・新設：引違い戸 SP1.2W1800xH1980 6カ所				改修	撤去：額掛け、掃除用具台 (I) 掃除用具台：撤去後の床フローリング張							

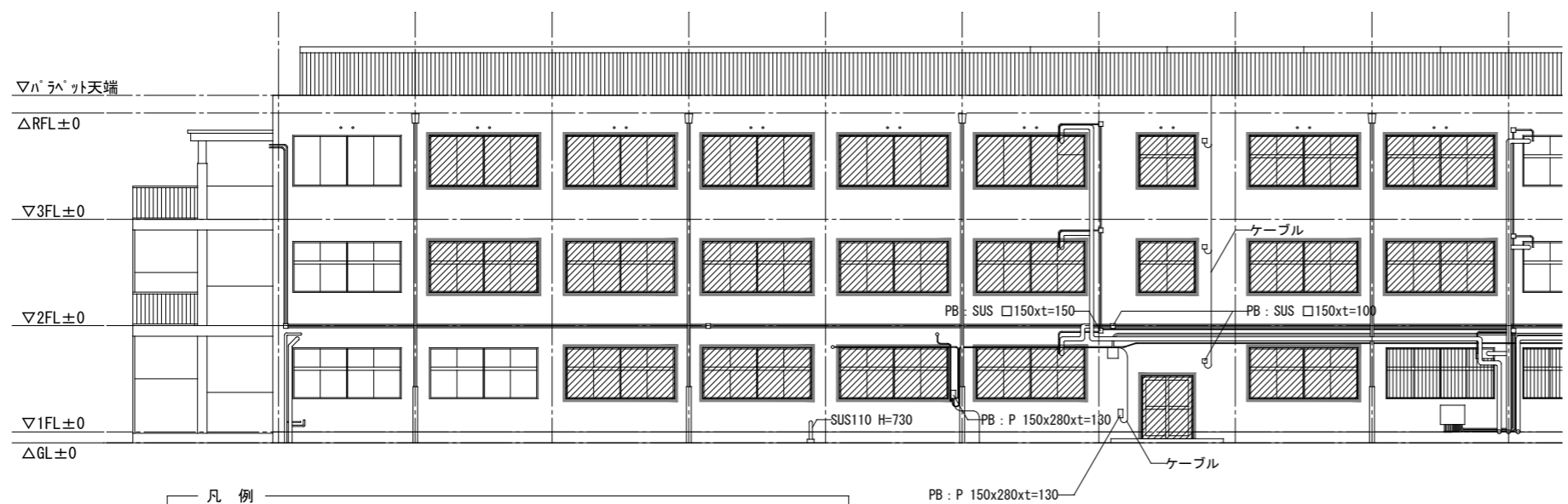
足立建築工房 一級建築士事務所
 京都府宇治市木幡平尾1-65
 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

所長 主任 担当
 工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 図面名 普通教室棟 1・2階平面図



縮尺 1/150
 図番 A-18

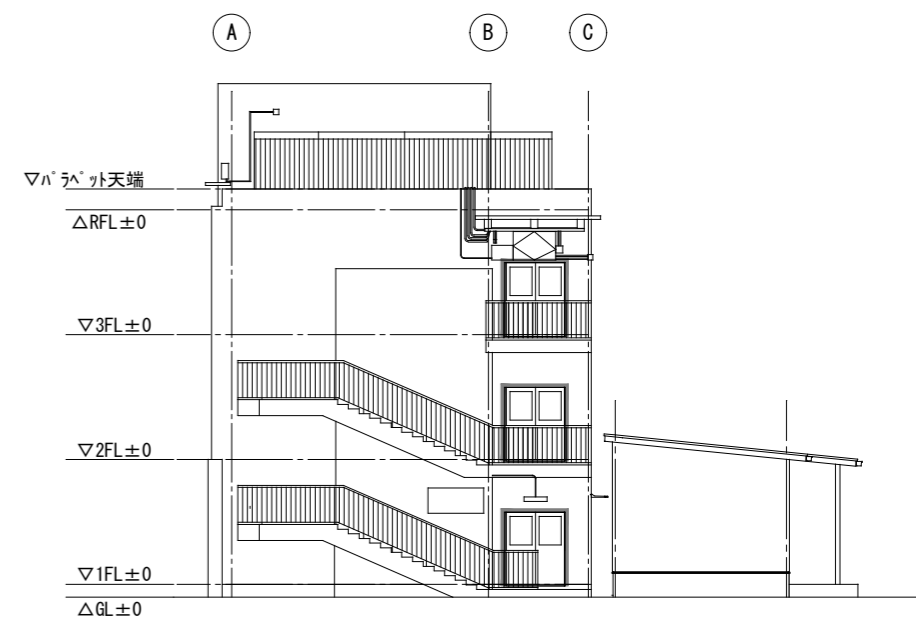


改修 北立面図

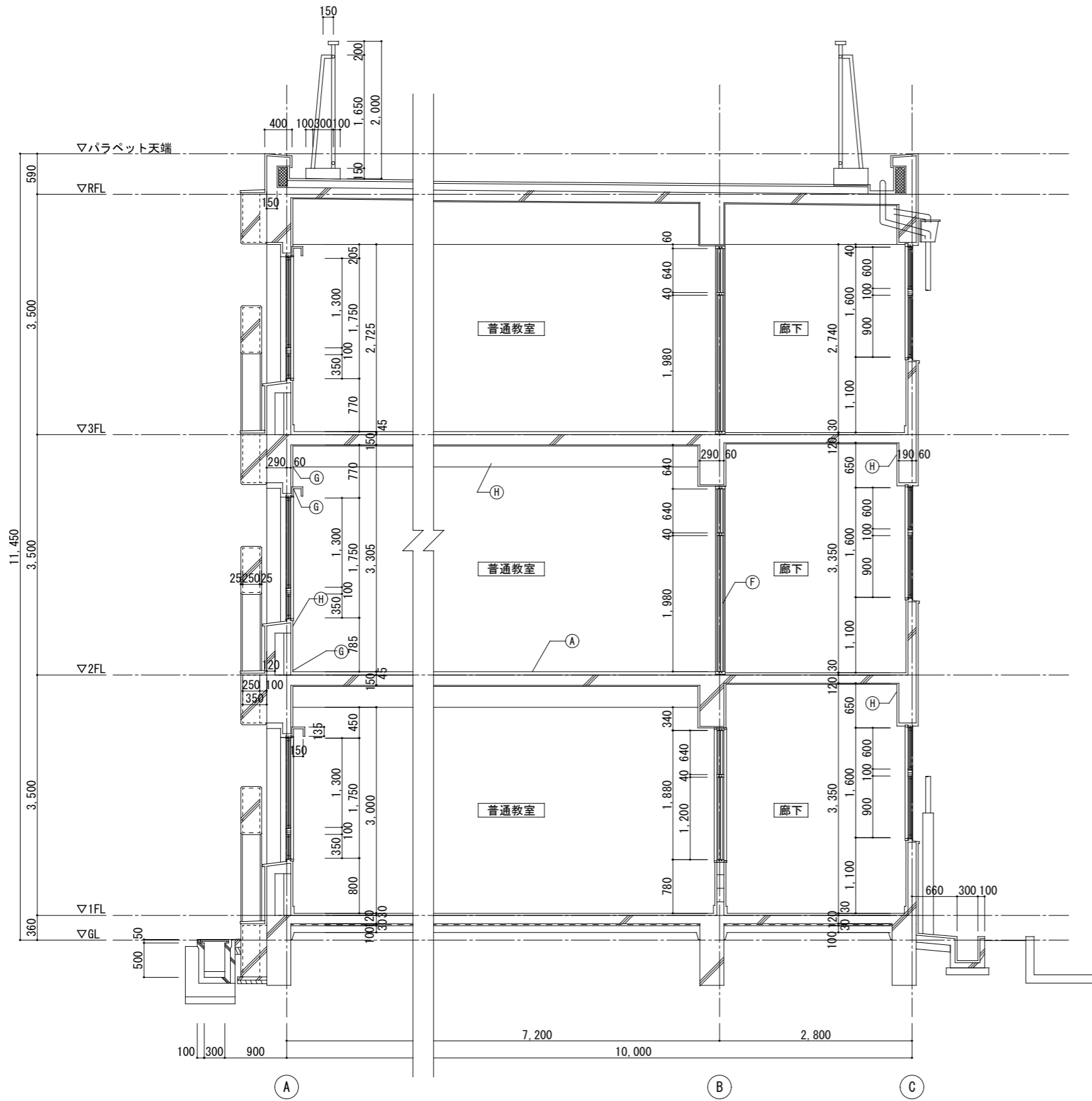


現況 北立面図

- 凡例
-  撤去・改修建具を示す
 -  アスベスト含有材除去範囲 仕上塗材(可とう形外装薄塗材E) 幅100mm程度 撤去 建具 周囲はつり
モルタル塗り 目地幅 仕上塗料 幅200mm程度 新設



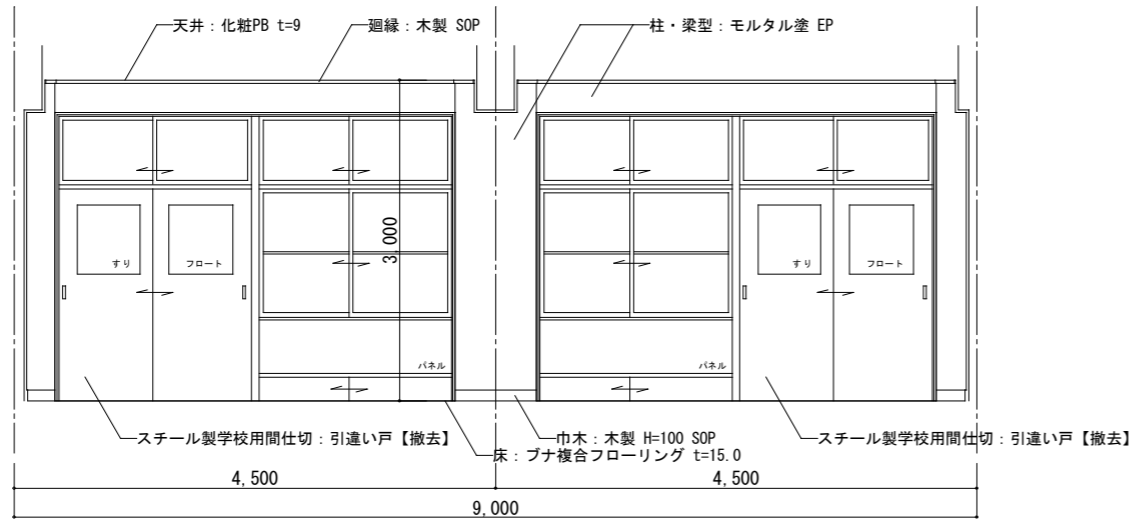
改修 東立面図



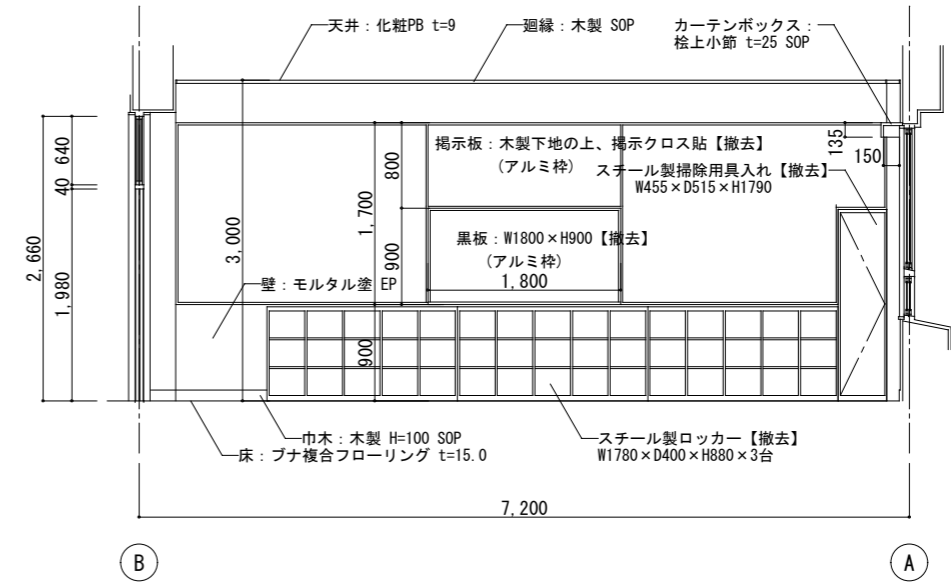
矩計図 S=1:50

仕上表

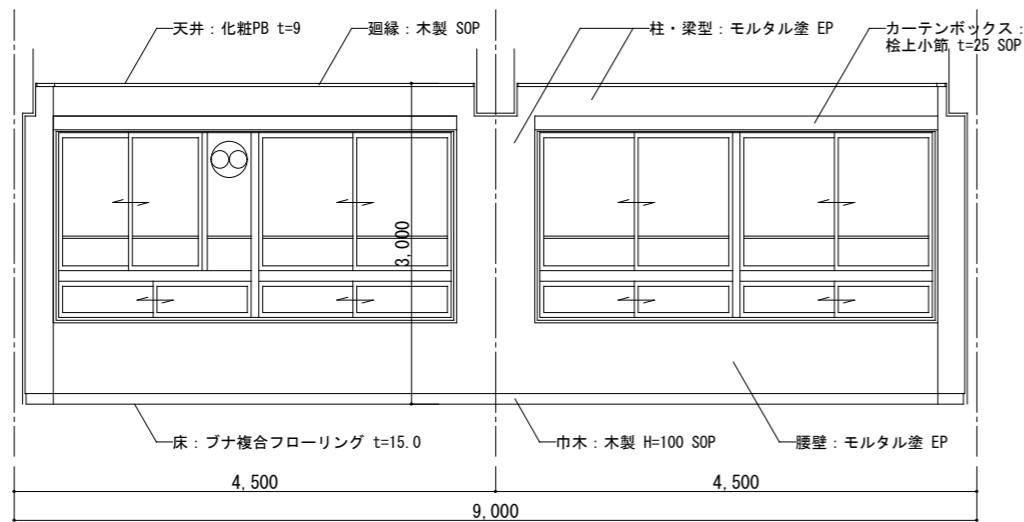
A	現況	ブナ複合フローリング t=15.0
	改修	UC塗装 (3回塗) フローリング床研磨
B	現況	黒板: W3600xH1200 (B) W1800xH900
	改修	撤去・新設: W3600xH1200 (B) W1800xH1200
C	現況	掲示板: W6390xH1700 (C) W6650xH1700
	改修	撤去・新設: W6390xH1700 (C) W6650xH1425
D	現況	生徒用ロッカー: 1780x400x880 (1教室3台)
	改修	撤去 (本工事)・新設 (別途工事): 1415x450x1175 (1教室4台)
E	現況	掃除用具入れ: 455x450x1790
	改修	撤去 (本工事)・新設 (別途工事): 600x400x1800
F	現況	スクールパーティション: 引違い戸 SP1.2W1800xH1980 6カ所
	改修	撤去・新設: 引違い戸 SP1.2W1800xH1980 6カ所
G	現況	廻縁・巾木・カーテンボックス: 木製 SOP
	改修	SOP塗装改修 (カーテンレール撤去・新設)
H	現況	柱・梁型・壁面: モルタル EP
	改修	EP-G塗装改修
I	現況	額掛け: 木製 W7200xH150 5カ所 (I) 掃除用具台: 木製 3カ所
	改修	撤去: 額掛け、掃除用具台 (I) 掃除用具台: 撤去後の床フローリング張



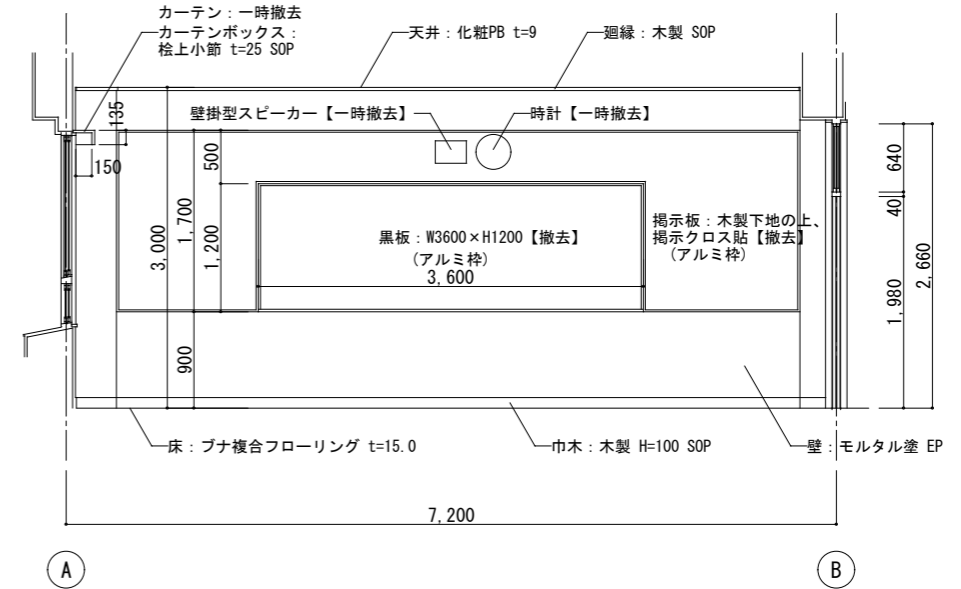
普通教室 A



普通教室 B



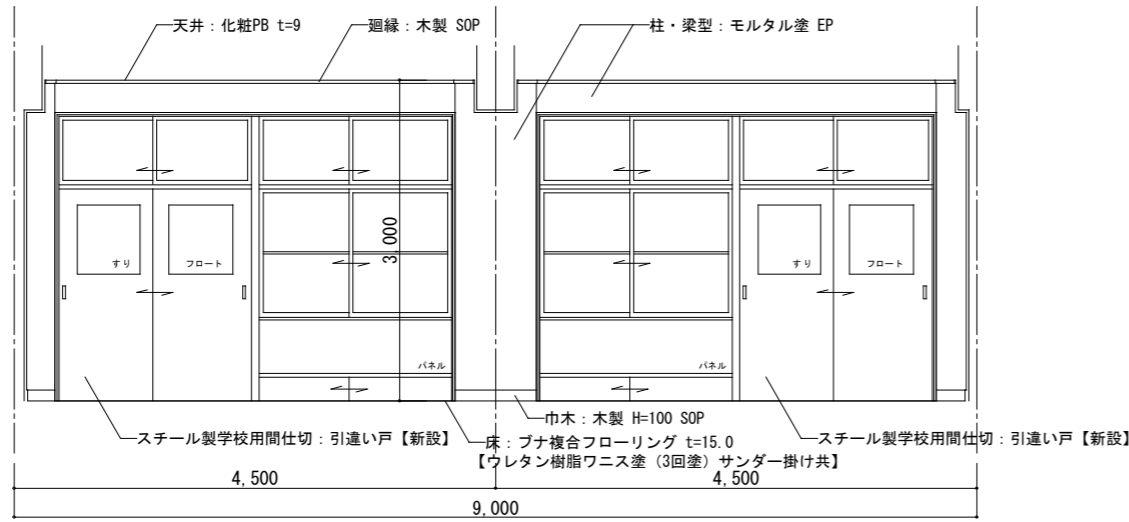
普通教室 C



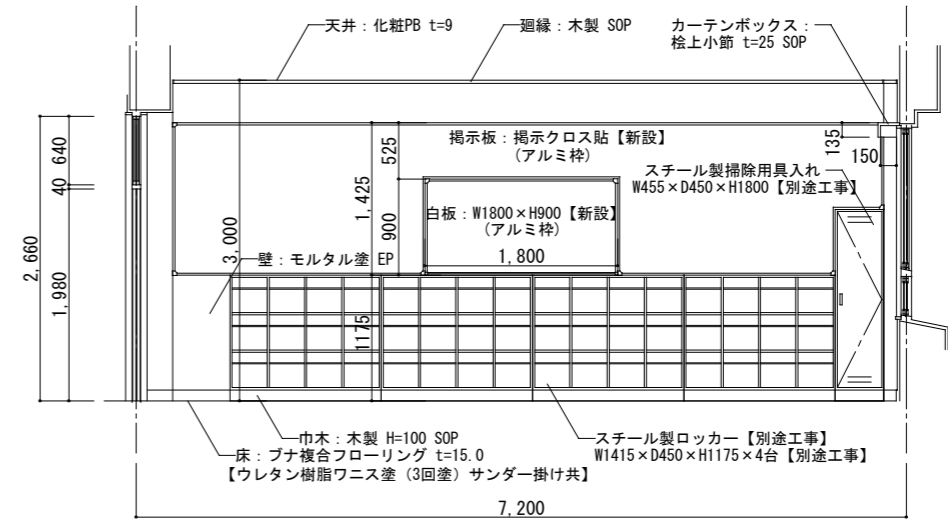
普通教室 D

展開図 S=1 : 50

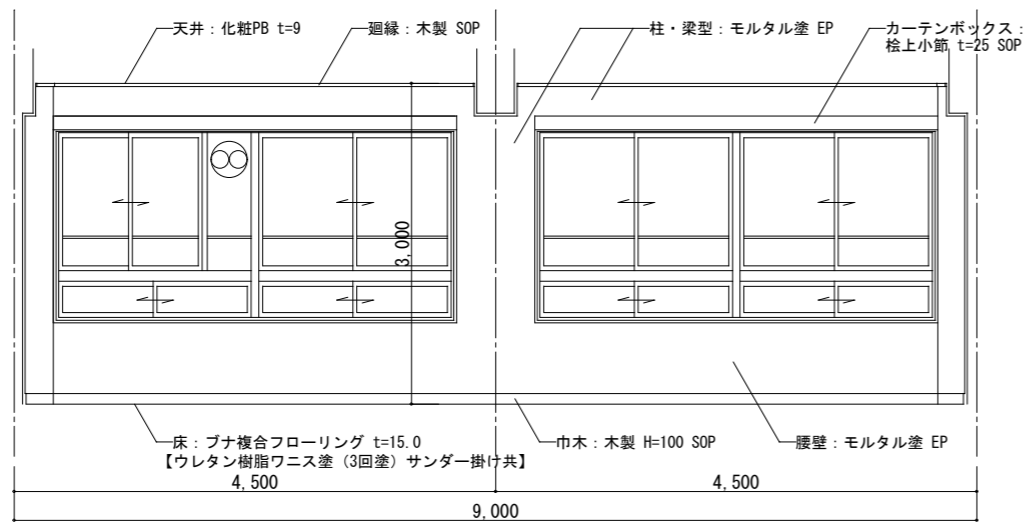
1/100	1/300	1/500	1/250		株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也 設計番号 設計年度 令和 年 月	設計 決 課長 係長 係	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	図名 普通教室棟 普通教室 展開図 (撤去)	縮尺 A2 1/50 A3 —	図番 A-22
-------	-------	-------	-------	--	---	--------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------	------------



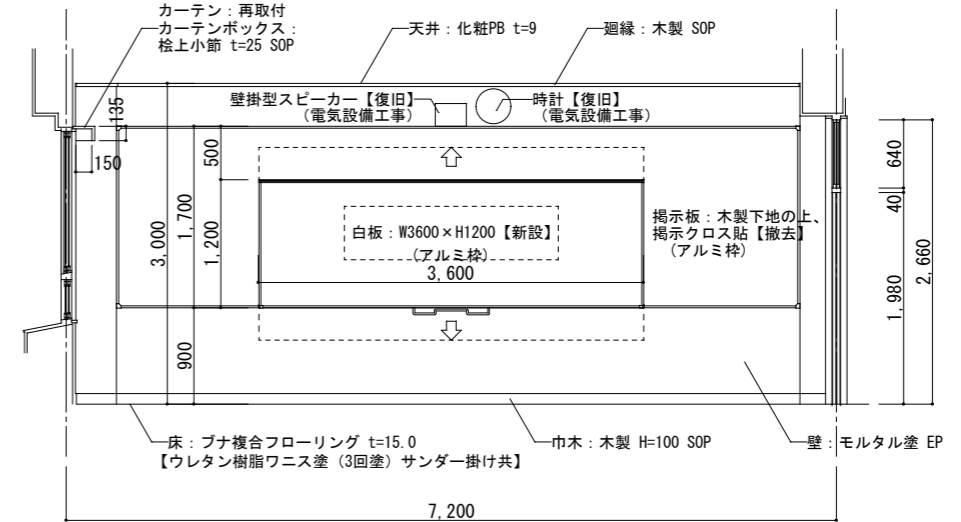
普通教室 A



普通教室 B



普通教室 C

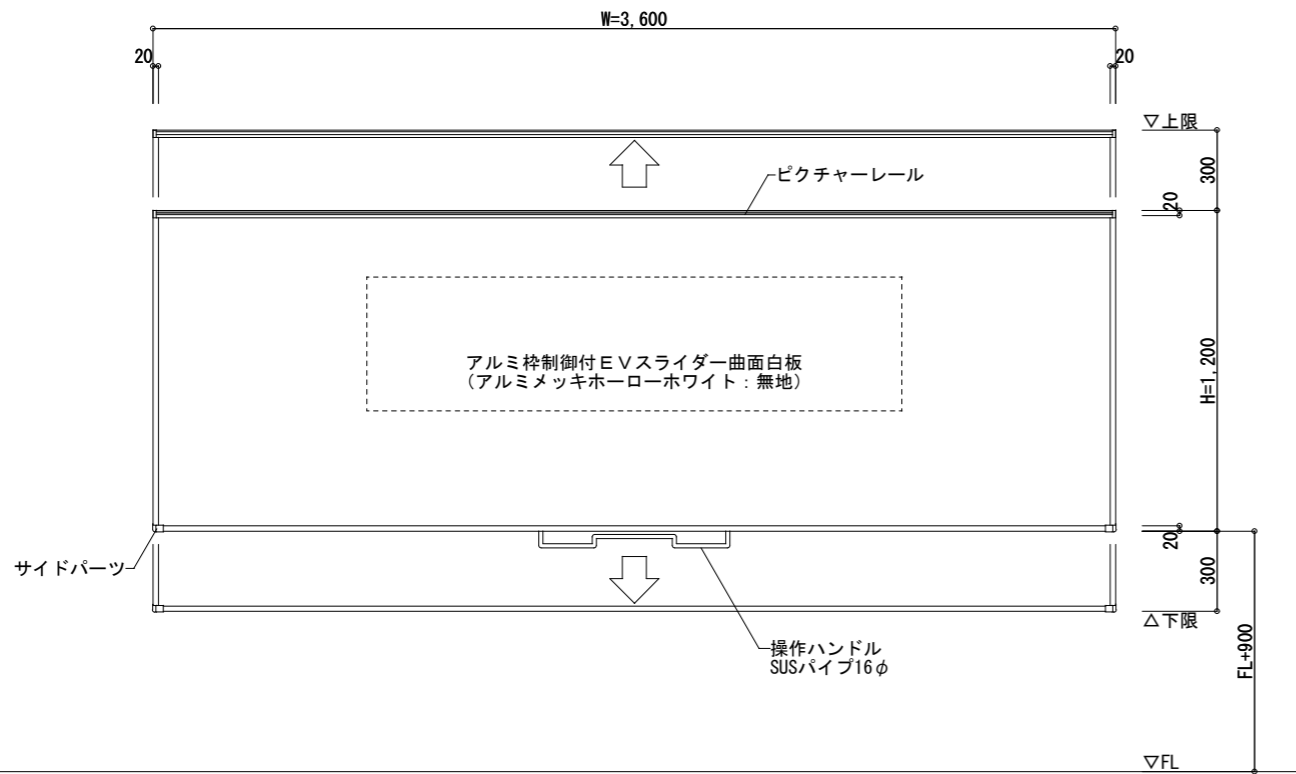


普通教室 D

展開図 S=1 : 50

※特記なき限り既存のままとする。

特 記	1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/2500	株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也 設計番号 設計年度 令和 年 月	設計 決 課長 係長 係	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	図名 普通教室棟 普通教室 展開図 (改修)	縮尺	図番
	A2	1/50	A3	—	A-23									

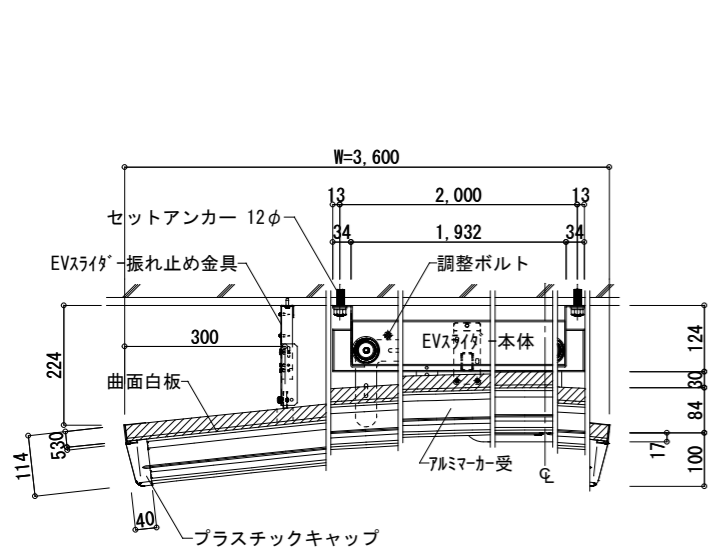


正面図 1/20

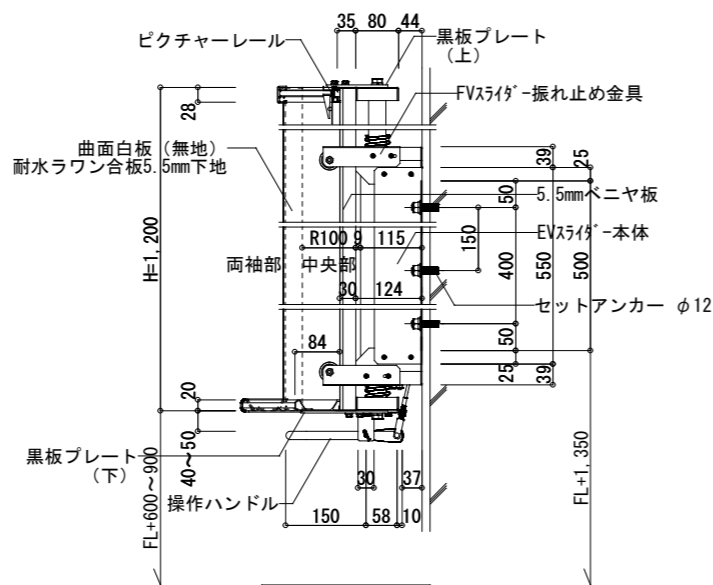
階数	室名	寸法	数量
2F	普通教室(2-4)	3600×1200	1
	普通教室(2-4)	"	1
	普通教室(暁)	"	1
	合計		3



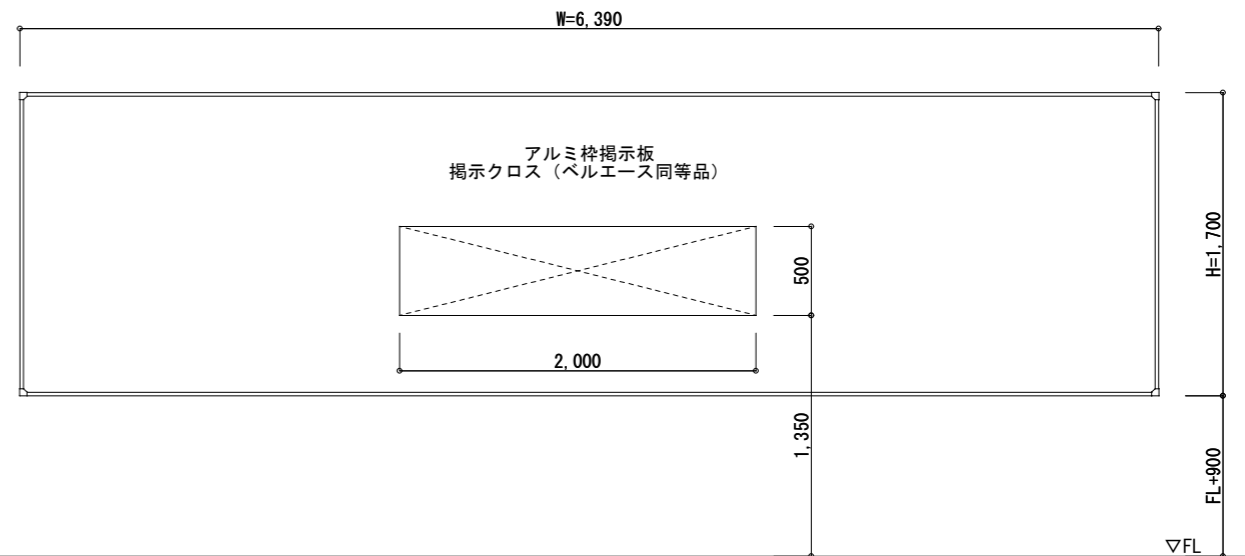
ピクチャーレール (フック付)



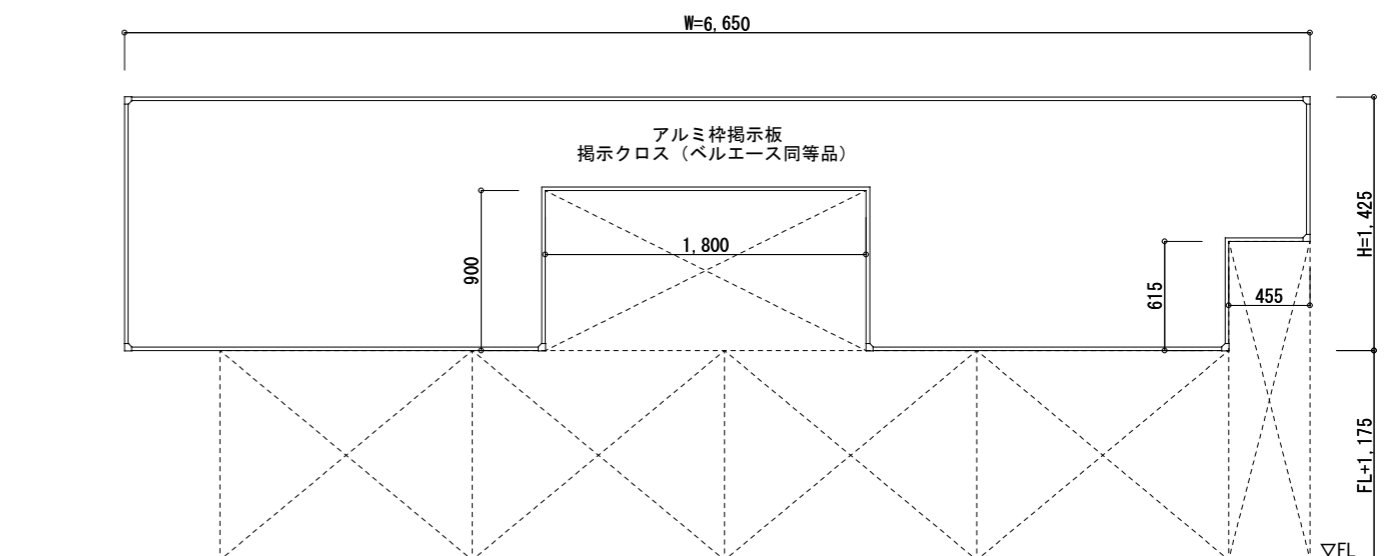
平面断面図 1/10



縦断面図 1/10

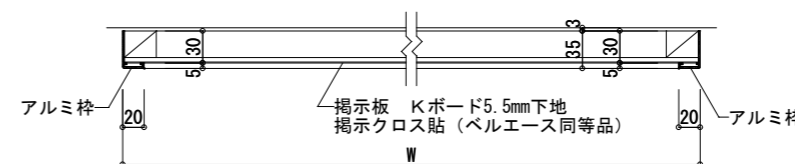


正面図 1/30

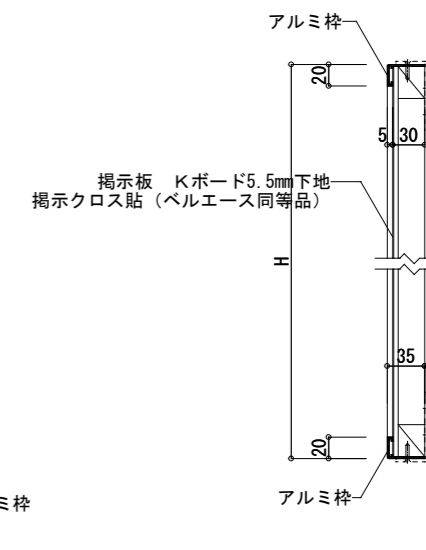


背面図 1/30

階数	室名	寸法	数量	寸法	数量
2F	普通教室(2-3)	6390×1700	1	6650×1425	1
	普通教室(2-4)	"	1	"	1
	普通教室(暁)	"	1	"	1
	合計		3	合計	3



平面断面図 1/5



縦断面図 1/5

1/100 1/50 1/30 1/20 1/10 1/5 1/2 1/1 1/25 1/50 1/100 1/200 1/500 1/1000

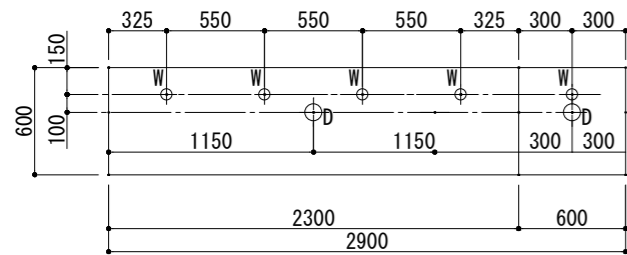
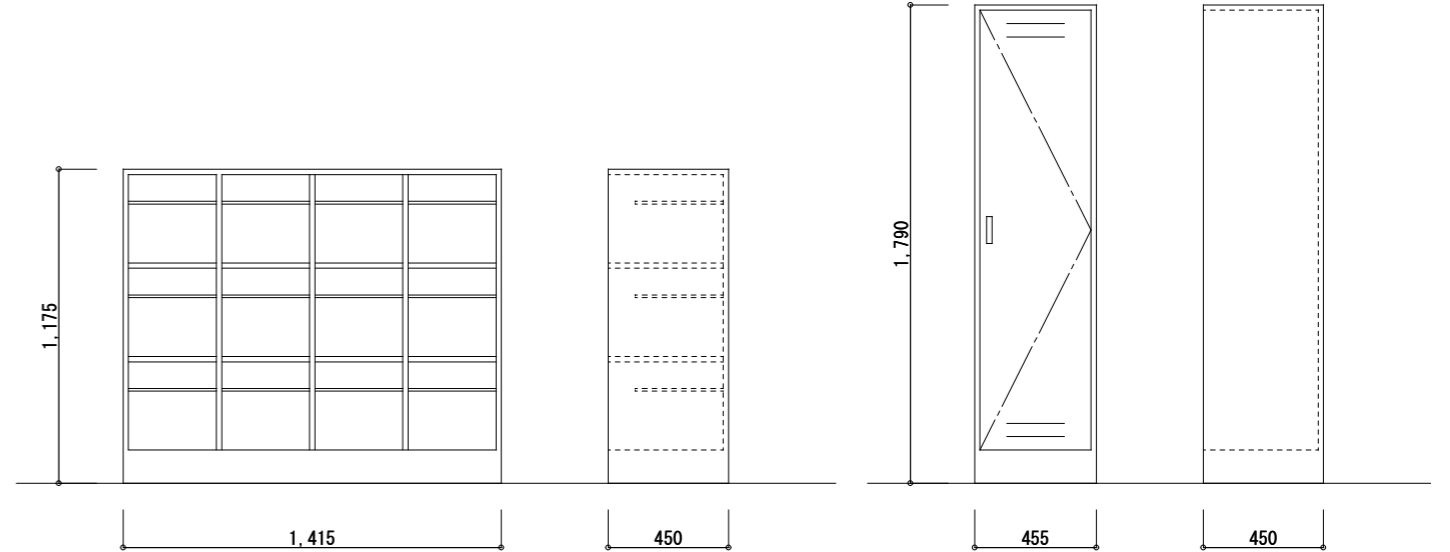
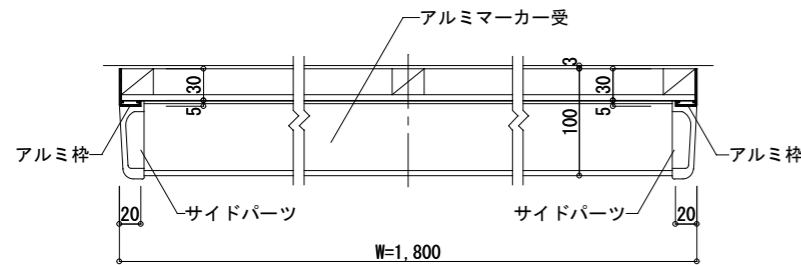
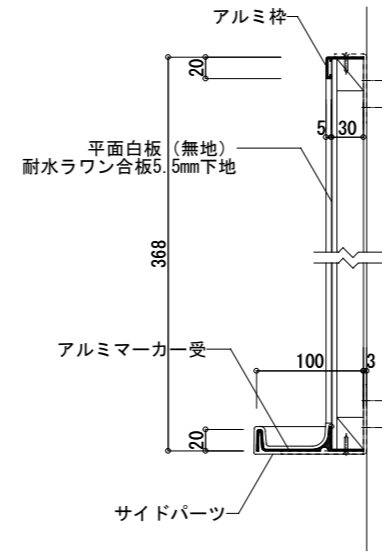
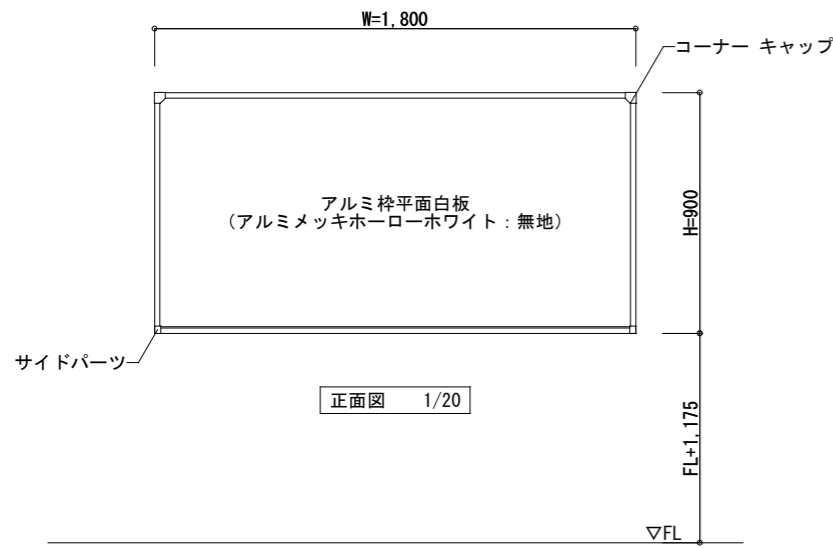
株式会社 山崎設計
 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設計番号 設計年度 令和 年 月

設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	裁				西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	普通教室棟 部分詳細図(1)	A2 1/20 A3 -	A-24

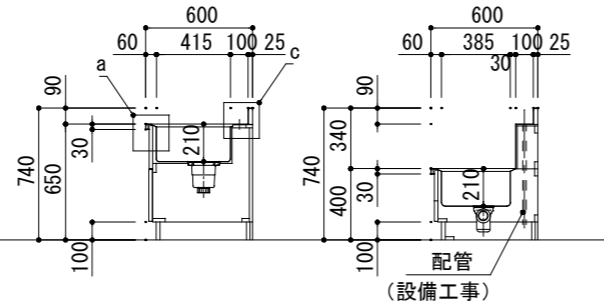
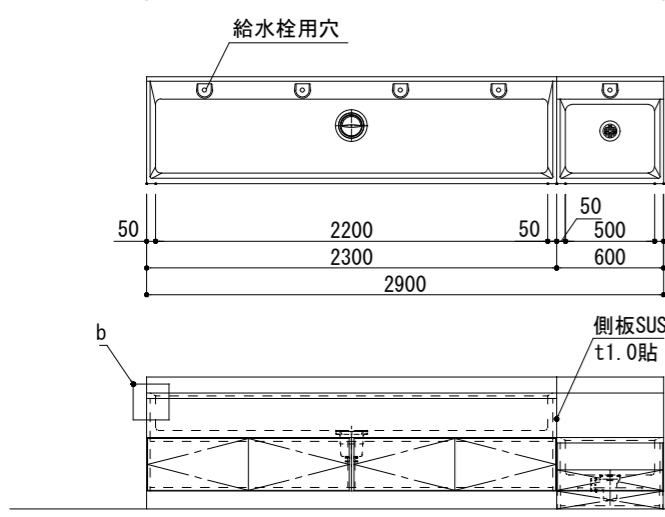
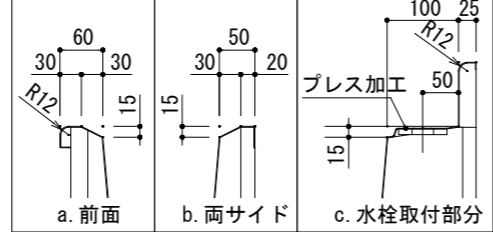
階数	室名	寸法	数量
2F	普通教室(2-3)	1800x900	1
	普通教室(2-4)	"	1
	普通教室(暁)	"	1
	合計		3

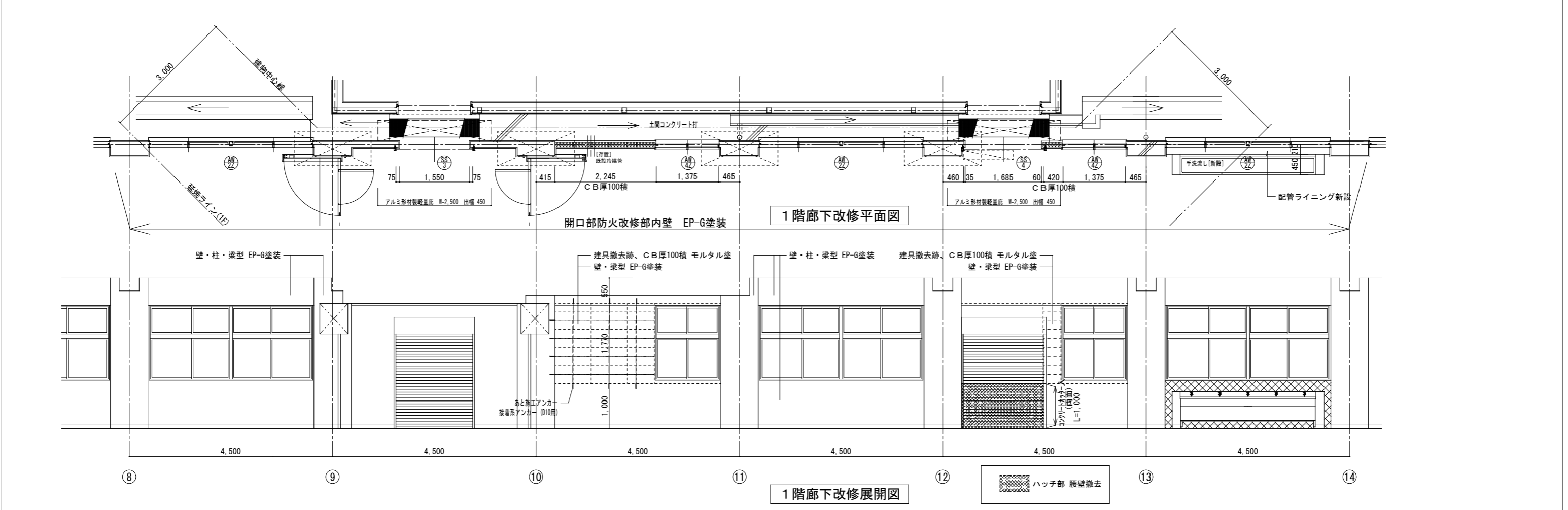
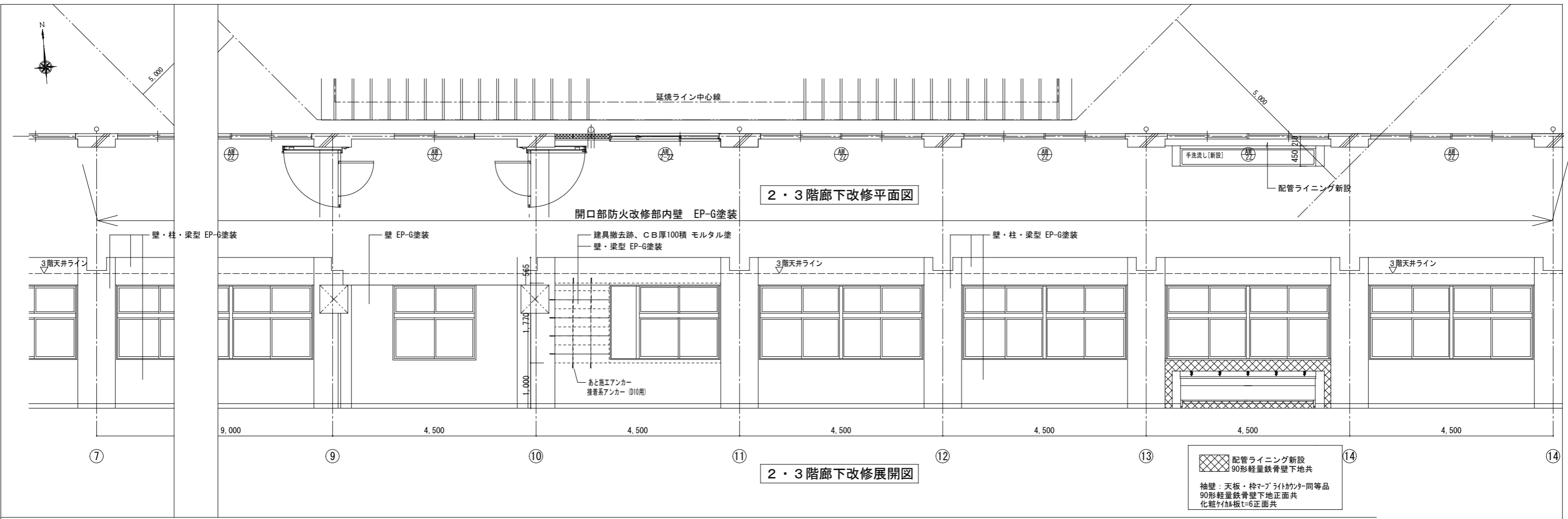
スチール製ロッカー			
階数	室名	寸法	数量
2F	普通教室(2-3)	1415x450x1175	4
	普通教室(2-4)	"	4
	普通教室(暁)	"	4
	合計		12

スチール製掃除用具入れ			
階数	室名	寸法	数量
2F	普通教室(2-3)	455x450x1790	1
	普通教室(2-4)	"	1
	普通教室(暁)	"	1
	合計		3



配管記号一覧		名称	材質・仕様
D	排水	流し	SUS304 t1.0 (正面R加工・全周スロープ加工)
W	給水	電気	大型排水トラップ (ゴミカゴ付) YT-50XSP
			横引きトラップ YT-183
注記	1. 各配管床5cm以内プラグ止。 2. 給水、排水、ガス、電気の床下から器具まで接続工事別途。 3. ガスコックは別途。		
		本体主材	t20 檜間伏台形集成材UC (面取りC2処理)
		背板	シナ合板UC
		点検蓋	t20 シナ合板UC
		木口	シナファンシーロールUC
		スライドT番	
		給水栓	(別途)





足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾 1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040		所長 主任 担当	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 図面名 普通教室棟廊下 平面詳細図・展開図	縮尺 1/60	図番 A-26
--	--	----------------	--	------------	------------

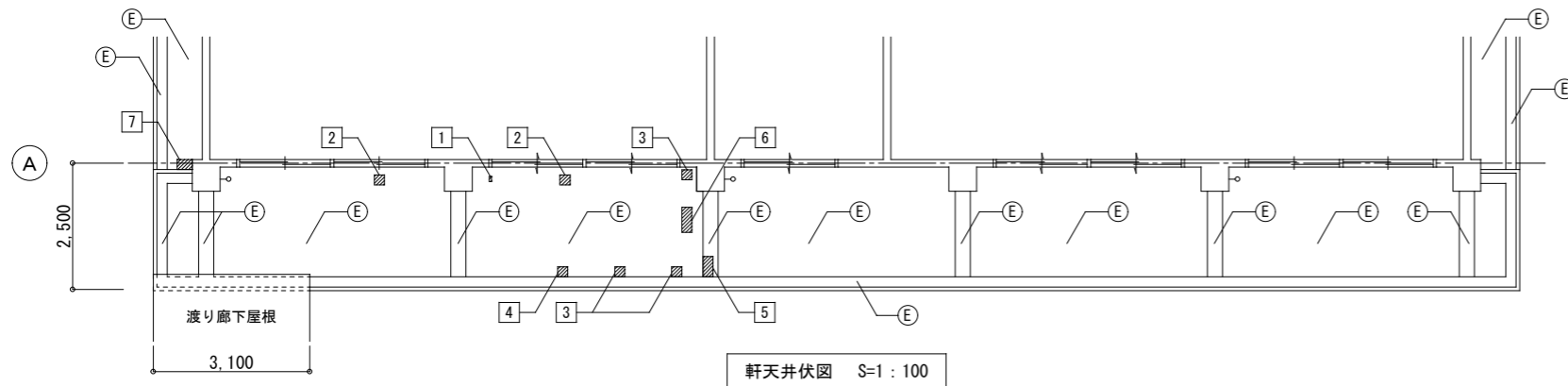
[改修] 教室棟 建具表

記号・数量	AW 2Z	AW2 15ヶ所	AW 2-2Z	AW2-2 2ヶ所	AW 3Z	2ヶ所	AW 4Z	2ヶ所	SS 3 SS 4	2ヶ所
形状										
場所	1～3階 廊下		2～3階 廊下		2～3階 階段室		1階 廊下		1階 階段室・廊下	
形式	引違2段・2連窓 (防火設備)		Fix付引違窓 (防火設備)		引違2段窓 (防火設備)		引違2段窓 (防火設備)		軽量スプリングスチールシャッター (防火設備)	
見込	70		70		70		70			
材質・仕上	アルミサッシュ自然発色		アルミサッシュ自然発色		アルミサッシュ自然発色		アルミサッシュ自然発色		スチール (焼付塗装)	
硝子	網入型板ガラス 6.8mm ※クロスワイヤ		網入型板ガラス 6.8mm ※クロスワイヤ		網入型板ガラス 6.8mm ※クロスワイヤ		網入型板ガラス 6.8mm ※クロスワイヤ		スラット t=0.8	
金物	引手、クレセント シリコンシーリング留め		引手、クレセント シリコンシーリング留め		引手、クレセント シリコンシーリング留め		引手、クレセント シリコンシーリング留め		ガイドレール・座板・ステンレス巻き 付属金物一式	
備考										

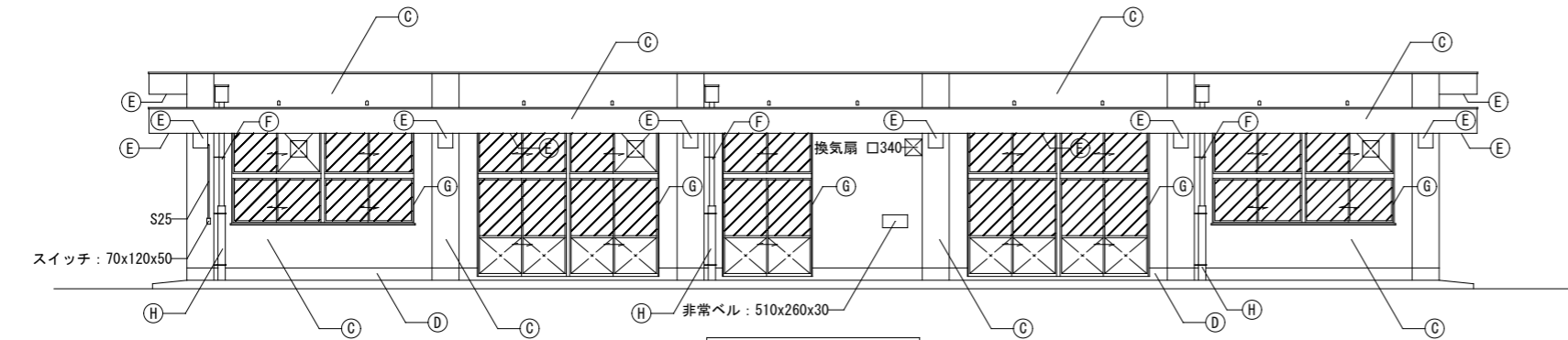
[撤去] 教室棟 建具表

記号・数量	AW 2Z	AW 2-2Z	AW-2Z 12ヶ所 AW2-2Z 2ヶ所	AW 2'Z	AW 2'-2Z	AW2' 4ヶ所 AW2'-2 1ヶ所	AW 3Z	2ヶ所	SD 1	1ヶ所
形状										
場所	1～3階 廊下			3階 廊下		2～3階 階段室		1階 階段室		
形式	引違2連窓			引違2連窓		引違窓		引違スチール戸		
見込	70			70		70		70		
材質・仕上	アルミサッシュ自然発色			アルミサッシュ自然発色		アルミサッシュ自然発色		アルミサッシュ自然発色		
硝子	FL3mm			FL3mm		FL3mm		(上部) 網入型板ガラス 6.8mm		
金物	引手、クレセント			引手、クレセント		引手、クレセント		引手		
備考										

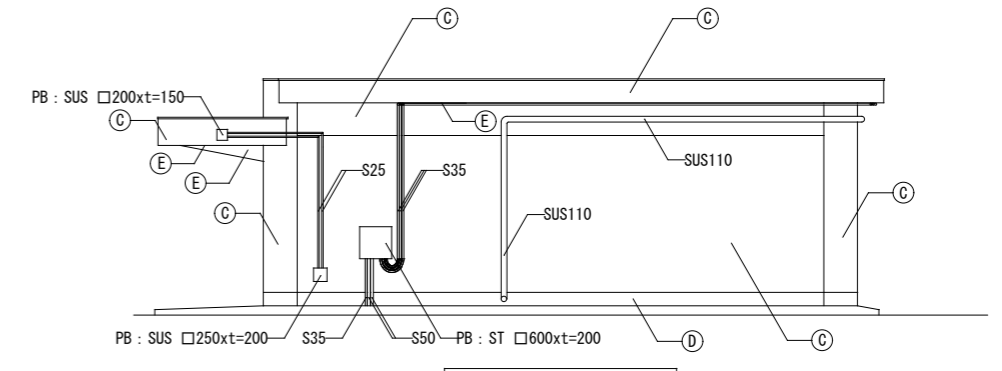
符 号	SD - 1 両開きスチールドア 【撤去】	SD - 2 両開きスチールドア 【撤去】	SD - 3 両開きスチールドア 【撤去】	SP - 1, 2 スチール製学校用間仕切 【一部撤去】		
姿 図						
場 所	1~3階 廊下	1階 西階段室	1階 中央階段室	2階 普通教室		
数 量 見 込	3 100 (扉40)	2 100 (扉40)	1 100 (扉40)	6 80		
材質仕上・硝子	スチール 網入型板ガラス t=6.8	スチール 網入型板ガラス t=6.8、PL	スチール フロート t=5.0、エキスパンドメタル	スチール フロート・スリガラス t=3.0		
塗 装	SOP	SOP	SOP	焼付塗装		
建 築 金 物	シリンダー本締錠、丁番	シリンダー本締錠、丁番	シリンダー本締錠、丁番	クレセント、引戸錠、掘込引手		
備 考	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス		
符 号	SD - 1 両開きスチールドア 【新設】	SD - 2 両開きスチールドア 【新設】	SD - 3 両開きスチールドア 【新設】	SP - 1, 2 スチール製学校用間仕切 【一部新設】		
姿 図						
場 所	1~3階 廊下	1階 西階段室	1階 中央階段室	2階 普通教室		
数 量 見 込	3 90 (扉40)	2 90 (扉40)	1 90 (扉40)	6 80 (戸32)		
材質仕上・硝子	スチール 網入型板ガラス t=6.8	スチール 網入磨板ガラス t=6.8	スチール 強化ガラス t=5.0	スチール 強化ガラス・強化型板ガラス t=4.0		
塗 装	DP	DP	DP	焼付塗装 (戸DP塗装)		
建 築 金 物	シリンダー錠、レバーハンドル、ドアクローザー、フランス落し、戸当り	シリンダー錠、レバーハンドル、ドアクローザー、フランス落し、戸当り	シリンダー錠、レバーハンドル、ドアクローザー、フランス落し、戸当り	クレセント、引戸錠、掘込引手		
備 考	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス	沓摺ステンレス		



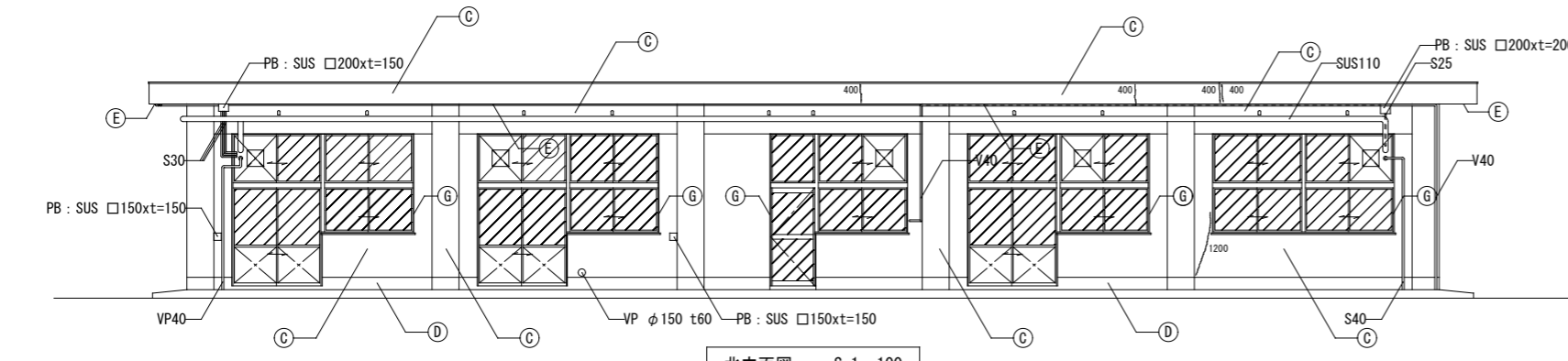
軒天井伏図 S=1:100



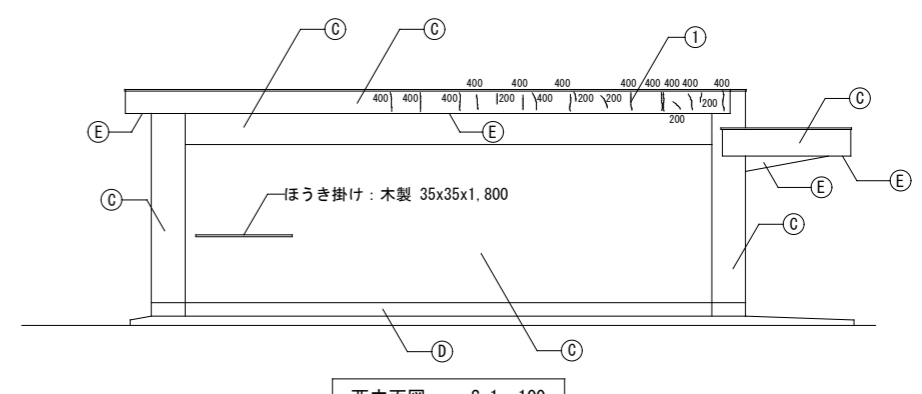
南立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100



西立面図 S=1:100

特記なきクラック箇所は ② とする。

特記なきクラック箇所は ② とする。

- 外壁劣化改修工程**
- (1) 高圧水洗、清掃
 - (2) 各補修範囲の確認 (調査報告書作成)
 - (3) 各部補修
 - (A) クラック補修
 1. Uカット (溝内清掃共)
 2. プライマー塗布
 3. シーリング材充填
 4. エポキシ樹脂モルタル平滑仕上
 - (B) 欠損・露筋部補修
 1. はつり、下地処理 (ケレン、清掃)
 2. プライマー・錆止め塗布
 3. エポキシ樹脂モルタル充填

外壁補修

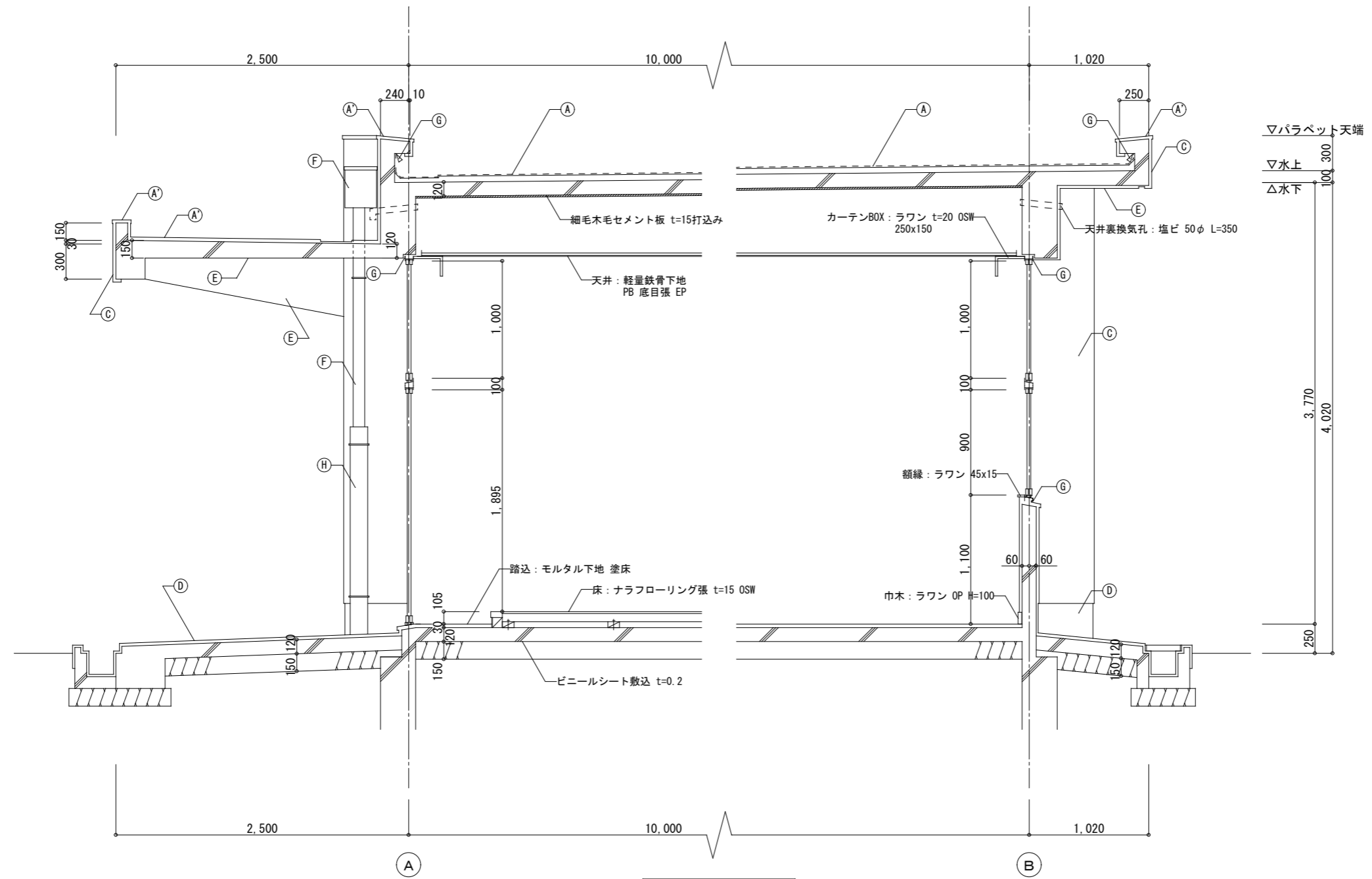
記号	劣化種別	数量	記号	劣化種別	記号	劣化種別	数量
①	クラック W=0.10 L=立面図へ記載	0.40m	①	露筋 100x50 1箇所	⑥	露筋 400x200 1箇所	計 0.46㎡
②	クラック W=0.15 "	8.20m	②	露筋 150x150 2箇所	⑦	露筋 500x200 1箇所	
			③	露筋 200x200 3箇所			
			④	露筋 250x200 1箇所			
			⑤	露筋 300x200 1箇所			

仕上表

記号	現況	改修	記号	現況	改修
①	均シモルタル塗 露出シート防水仕上 立上り共 (A) 防水モルタル仕上)	下地処理後 改修塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 下地処理後、ウレタン塗膜防水)	⑤	モルタル塗刷毛引リシン吹付仕上	高圧洗浄、下地処理後 外装薄塗材 E
②	ルーフトレン: 塩ビ製 φ100	取替え: 塩ビ製 改修用ドレン φ100	⑥	縦樋: VP φ100 鋼製支持金物 @1200 飾樹	取替え: VP φ100 SUS製支持金物 @1200 飾樹
③	モルタル塗刷毛引リシン吹付仕上	高圧洗浄、下地処理後 防水形複層塗材 R E フッ素系	⑦	シーリング: 外部建具廻り、その他取合い部	打替え: 変成シリコン系 (MS-2)
④	巾木: モルタル塗	高圧洗浄	⑧	縦樋足元養生管: 鋼製 φ150 H=1510	塗替え: DP (1級)

凡例

	現況	フロートガラス
	改修	強化ガラス t=4.0 シリコンシーリング留め

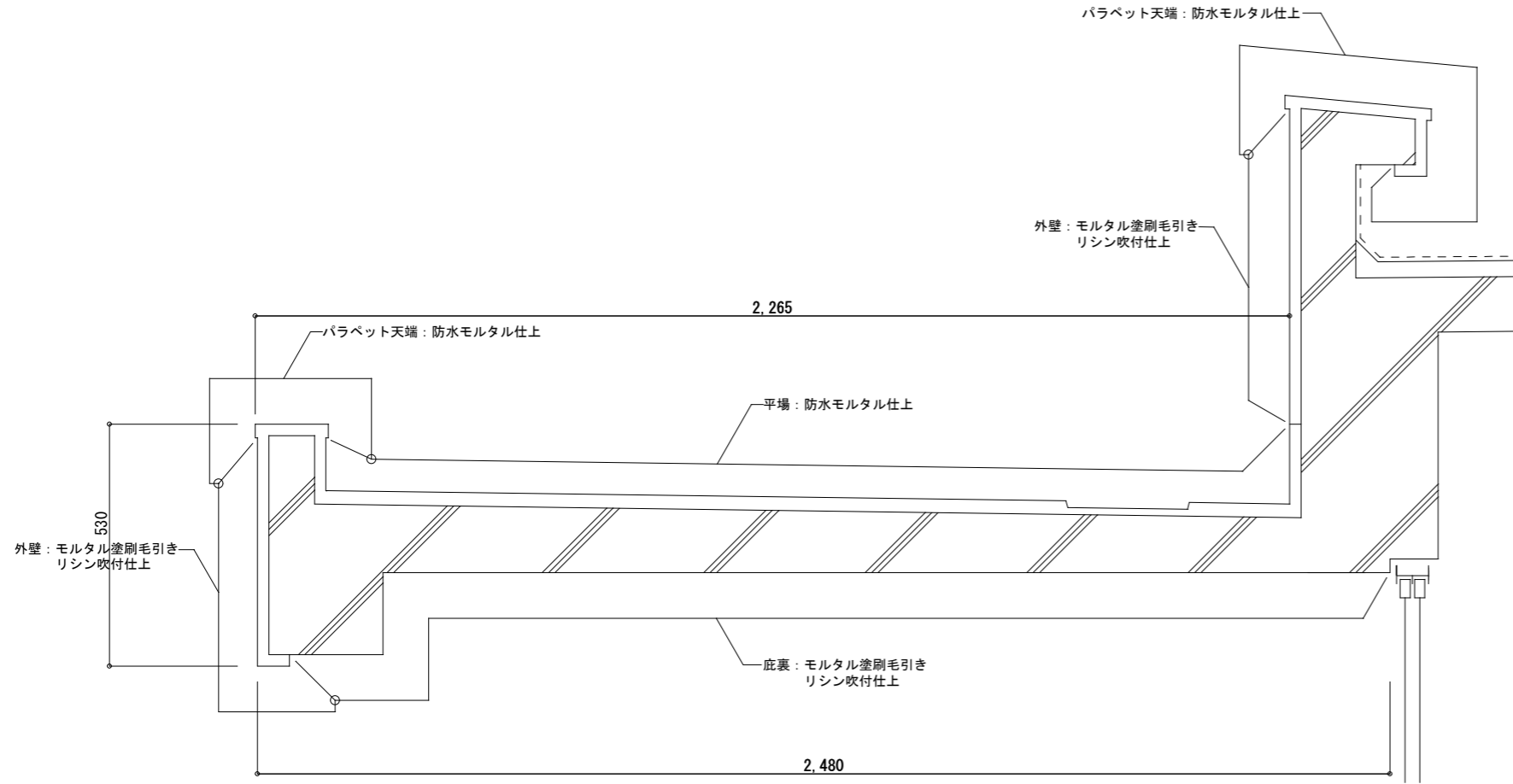


矩計図 S=1:30

仕上表		現況		改修	
A	現況	均シモルタル塗 露出シート防水仕上 立上り共 (A) 防水モルタル仕上)	現況	モルタル塗刷毛引リシン吹付仕上	
	改修	下地処理後 改修塩ビシート防水仕上 立上り共 (A) 下地処理後、ウレタン塗膜防水)	改修	高圧洗浄、下地処理後 外装薄塗材 E	
B	現況	ルーフトレン：塩ビ製 φ100	現況	縦樋：VP φ100 鋼製支持金物 @1200 飾樹	
	改修	取替え：塩ビ製 改修用ドレン φ100	改修	取替え：VP φ100 SUS製支持金物 @1200 飾樹	
C	現況	モルタル塗刷毛引リシン吹付仕上	現況	シーリング：外部建具廻り、その他取合い部	
	改修	高圧洗浄、下地処理後 防水形複層塗材 R E フッ素系	改修	打替え：変成シリコン系 (MS-2)	
D	現況	巾木：モルタル塗	現況	縦樋足元養生管：鋼製 φ150 H=1510	
	改修	高圧洗浄	改修	塗替え：DP (1級)	

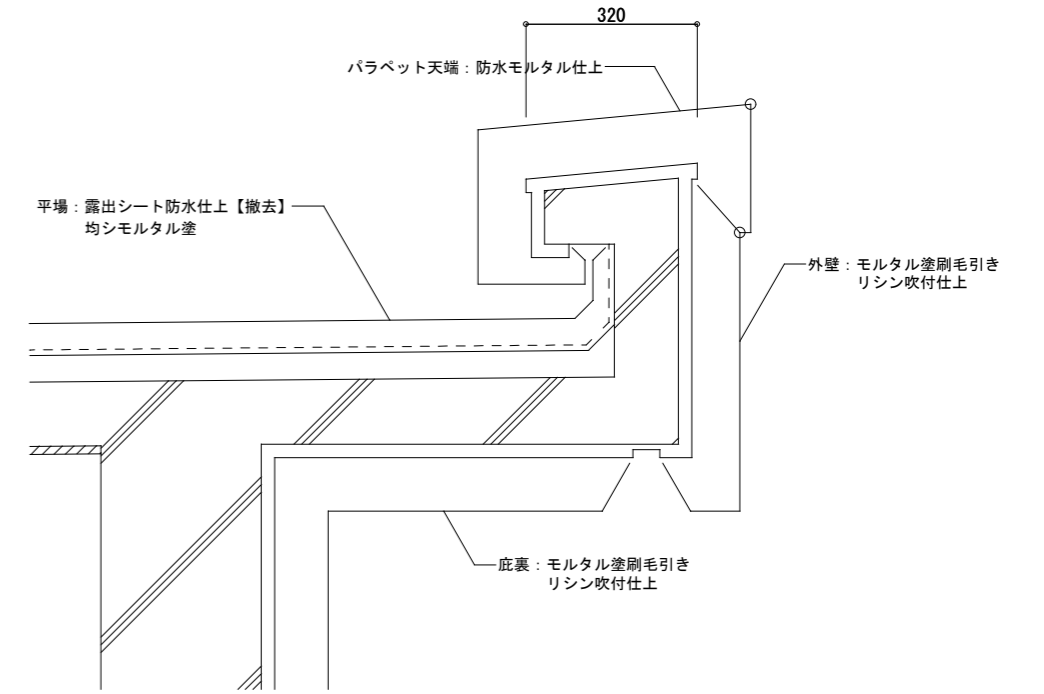
D-1 バラベットの1部分詳細図 (現況・撤去)

S=1 : 10



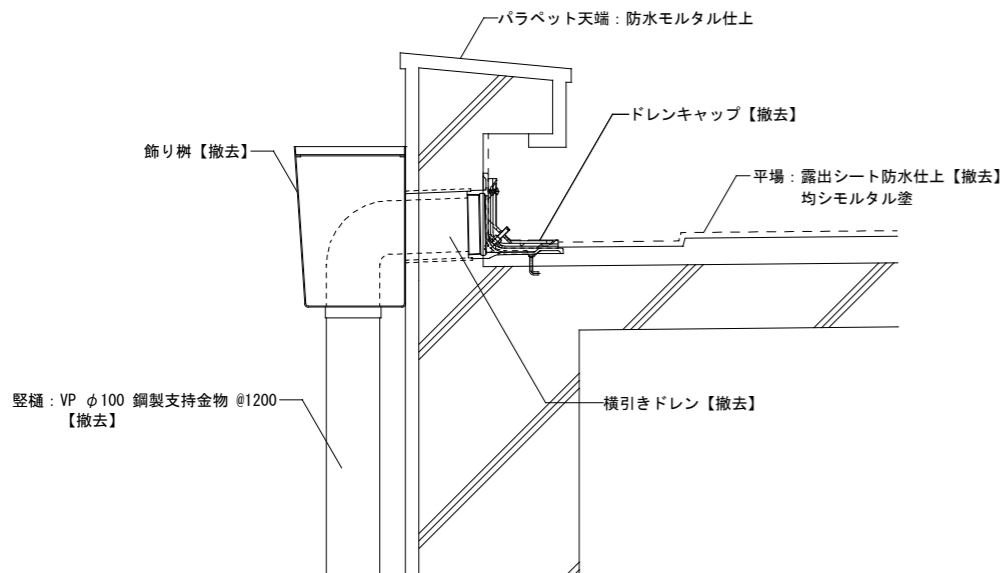
D-2 バラベットの2部分詳細図 (現況・撤去)

S=1 : 10



ドレン廻り部分詳細図 (標準参考図) (現況・撤去)

S=1 : 10



1/100	1/300	1/500	1/250
0	5	10	15
20	25	30	35
40	45	50	55
60	65	70	75
80	85	90	95
100	105	110	115
120	125	130	135
150	155	160	165
175	180	185	190
200	205	210	215
225	230	235	240
250	255	260	265

株式会社 山崎設計
 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設計番号 設計年度 令和 年 月

設計	決	課長	係長	係
	載			
	欄			

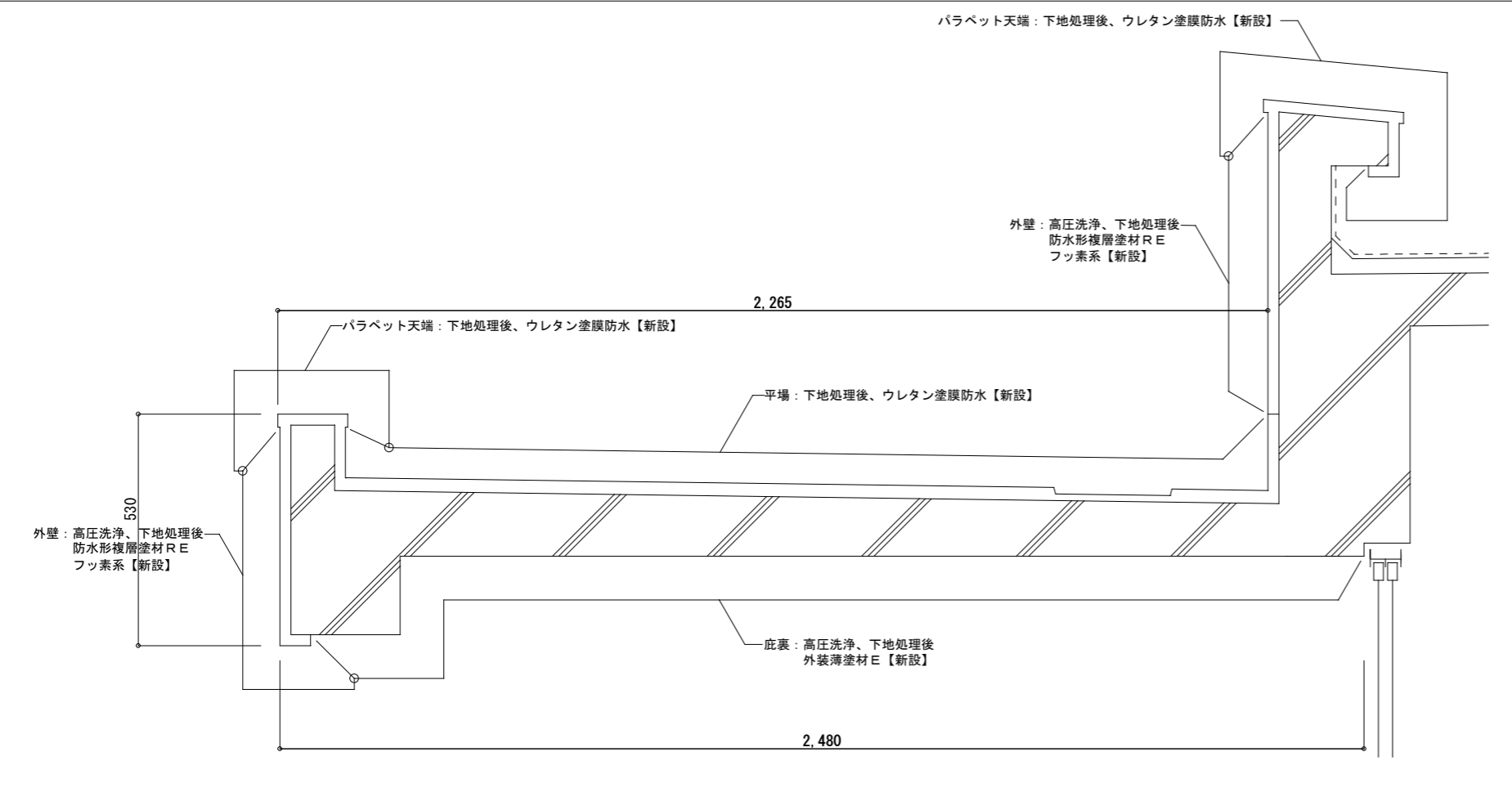
工事名
 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

図名
 技術教室棟
 屋上防水詳細図 (撤去)

縮尺	図番
A2 1/10	A-32
A3 -	

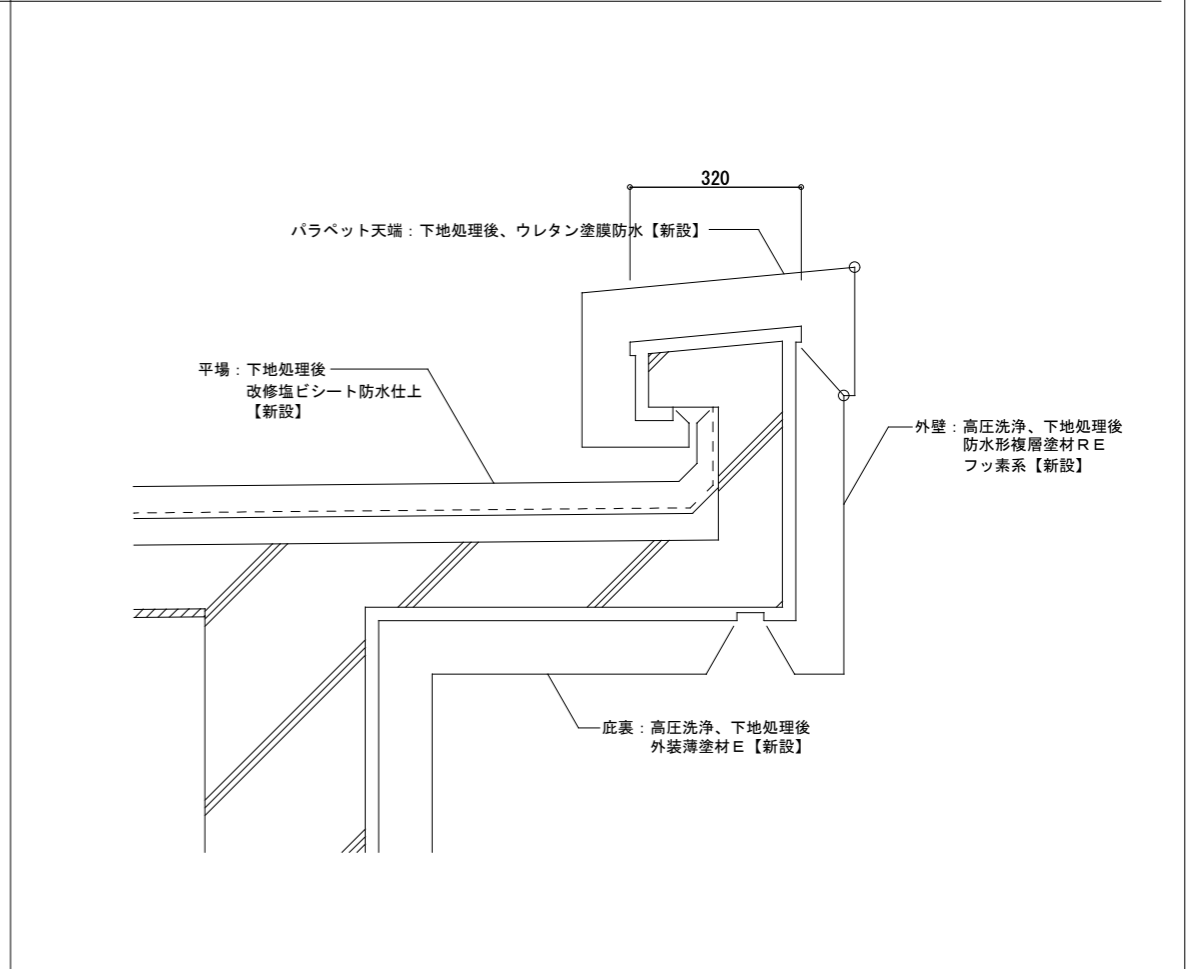
D-1 バラベットの1部分詳細図(改修)

S=1:10



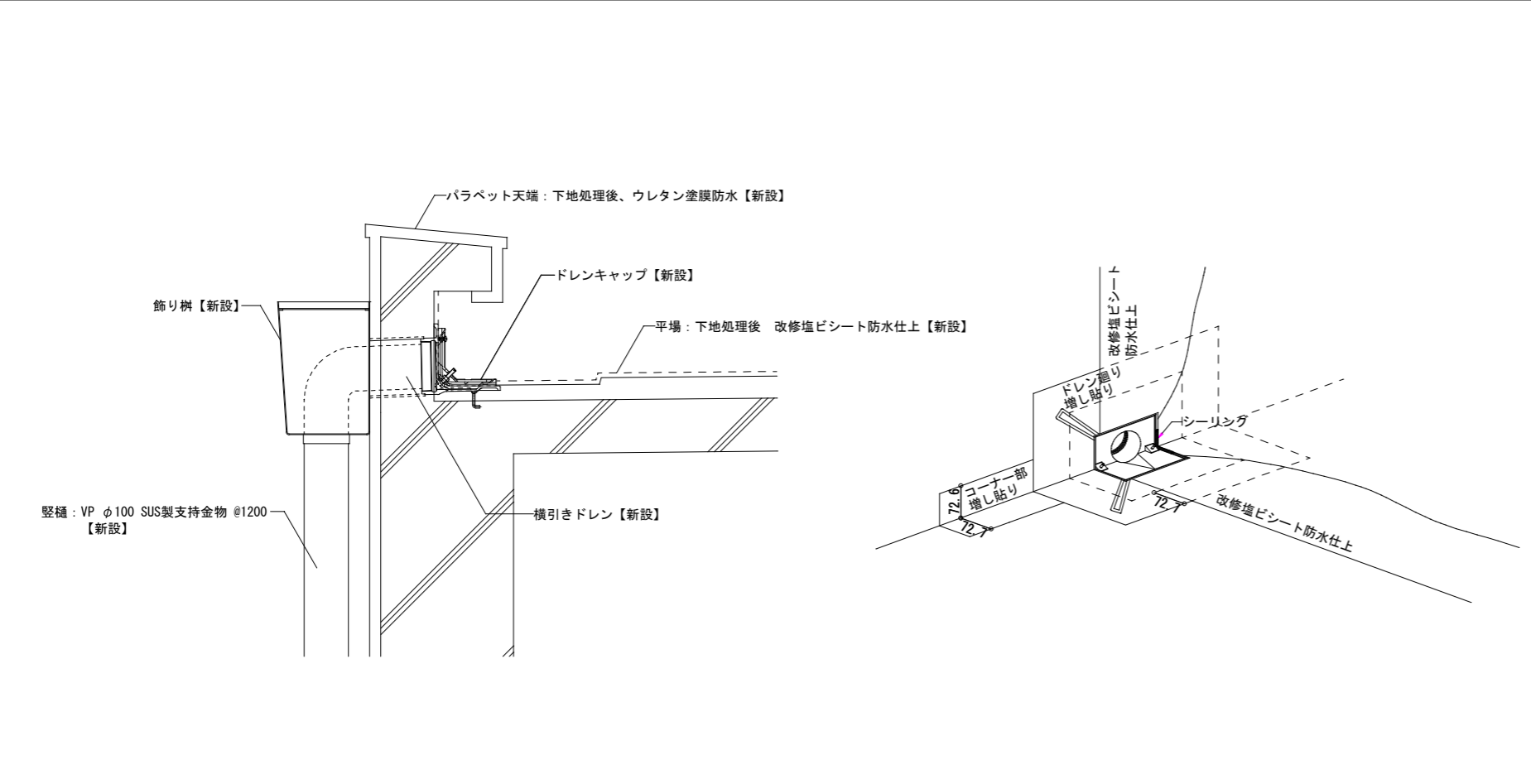
D-2 バラベットの2部分詳細図(改修)

S=1:10



ドレン廻り部分詳細図(標準参考図)(改修)

S=1:10



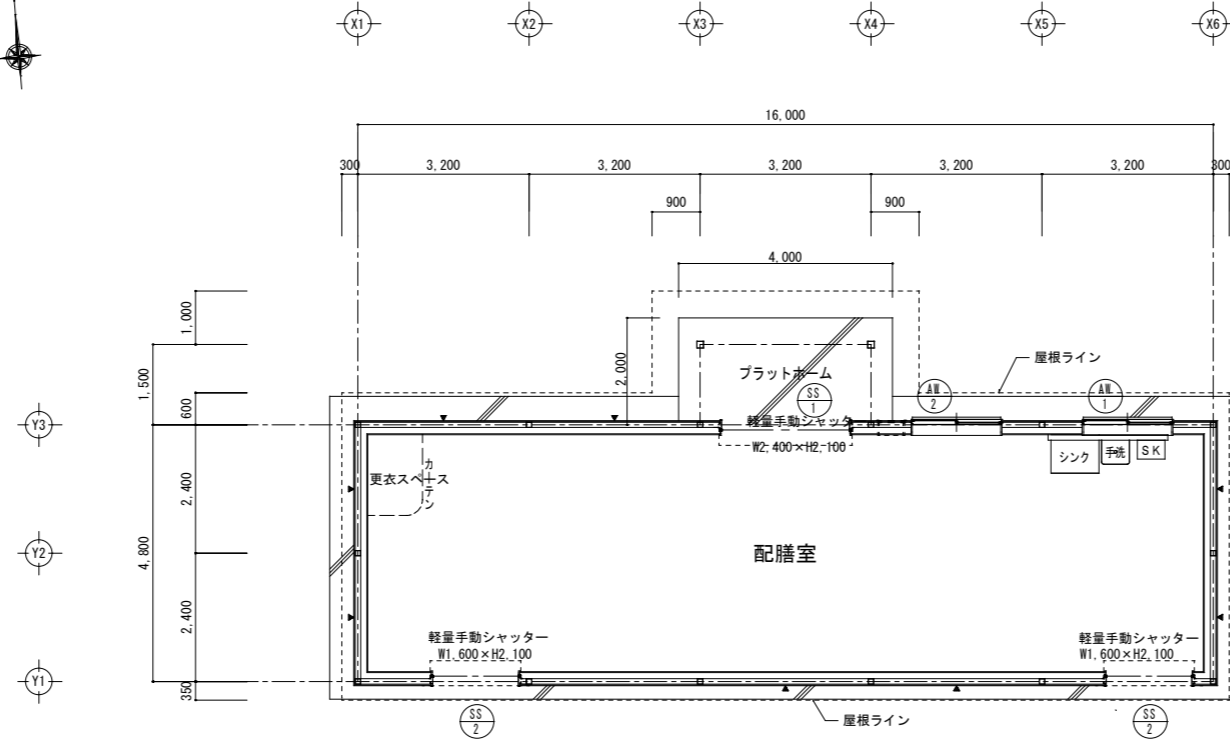
1/100	1/300	1/500					<p>株式会社 山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(01A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p>	設計 決 課長 係長 係	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	図名 技術教室棟 屋上防水詳細図(改修)	縮尺 A2 1/10 A3 -	図番 A-33
特	記	設計番号	設計年度	令和	年	月						

外部仕上げ	
屋根	カラーG L 鋼板 瓦棒葺 下地：硬質木片セメント板 t=18 棟包み、水切：カラーG L 鋼板 t=0.4曲加工
横樋	硬質塩ビ製角樋 W145
縦樋	硬質塩ビ管 (VP75φ) 掴み金物 @1.200
外壁	透湿防水シート・通気金具下地、窯業系サイディング厚16mm
軒天	ケイ酸カルシウム板 (一部有孔板) t=6.0 EP-G塗装
建具	サッシ アルミサッシ (アルミ電解着色) 軽量スプリングスチールシャッター
教室棟 建具(防火改修)	延焼ラインにかかる既存外壁建具について、撤去・更新
出入口部庇	アルミ形材製軽量庇 W=2,500 出幅 450

壁下地補強	下記に示す部分について耐水合板厚12で壁下地補強を行う。(補強寸法については詳細図 参照) ・腰壁 H=1600まで
-------	---

内部仕上表													
室名	床高	天井高	床	材料種別	巾木	壁・柱型	材料種別	天井	材料種別	廻縁	カーテンボックス	内装制限	備考
配膳室	±0	2.800	塗床 エポキシ樹脂系 (防滑工法 t=1.5mm) (株)ABC商会 ケミクリ-E・ア缶工業(株)・エスケ化研(株)	対象外	塗床立上 H=300	化粧けい酸カルシウム板 (JIS A 5430) t=6mm 参考品番：樹AAマテリアル ステンド#400 腰壁 H=1600まで 下地合板張 t=12mm 壁下地：石膏ボード t=12.5mm (不燃/NM-8619) 副資材：アルミジョイナー (コ型)・カーテンレール 参考 樹AAマテリアル 6SU型	対象外	化粧石膏ボード(トラバーチン模様) t=9.5mm (不燃/NM-1864)	対象外	塩ビF			

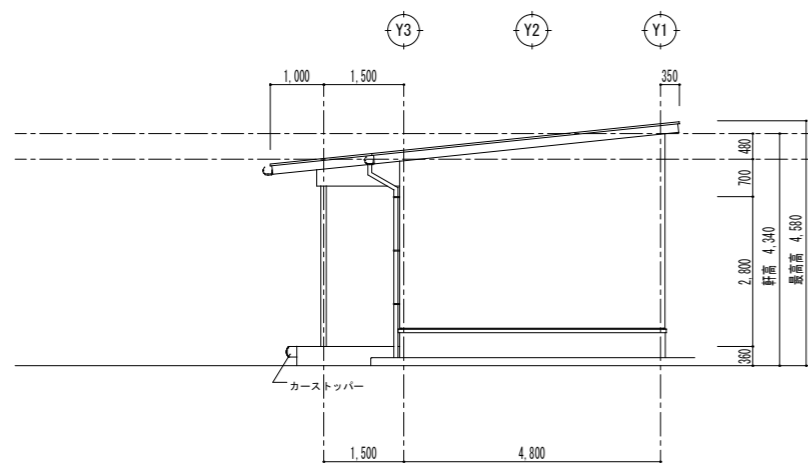
防湿断熱処理	土に接する屋内の床板下には、PF板厚25、防湿層 (ポリエチレンフィルム) 厚0.15を全面に敷き込む。 防湿層の位置は断熱材の直下とする。 下地石膏ボード等の仕上、捨張りの継ぎ目はずらす。 特記なき限りトラバーチン柄で、910×910×厚9.5、不燃認定品とする。	シーリング材種別 シックハウス対策	建具廻り：20×10(MS-2) 使用建築材料は原則としてF☆☆☆☆を使用する。 天井裏等への措置については、天井裏、床裏、収納スペースは、全てF☆☆☆☆以上の材料を使用する。 使用する建築材料等は全て学校環境衛生の基準に準拠する。
--------	--	----------------------	---



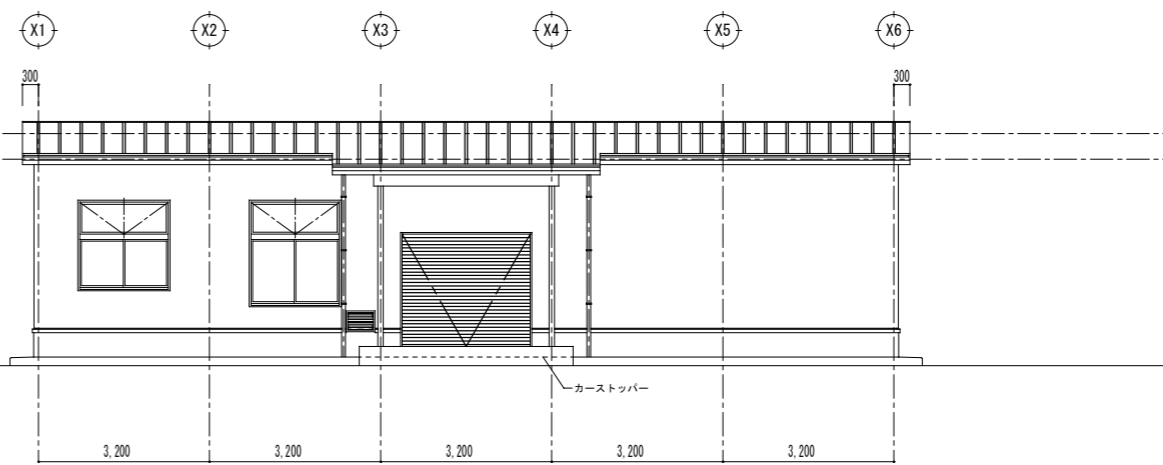
平面図 1/100

建具表 1/100

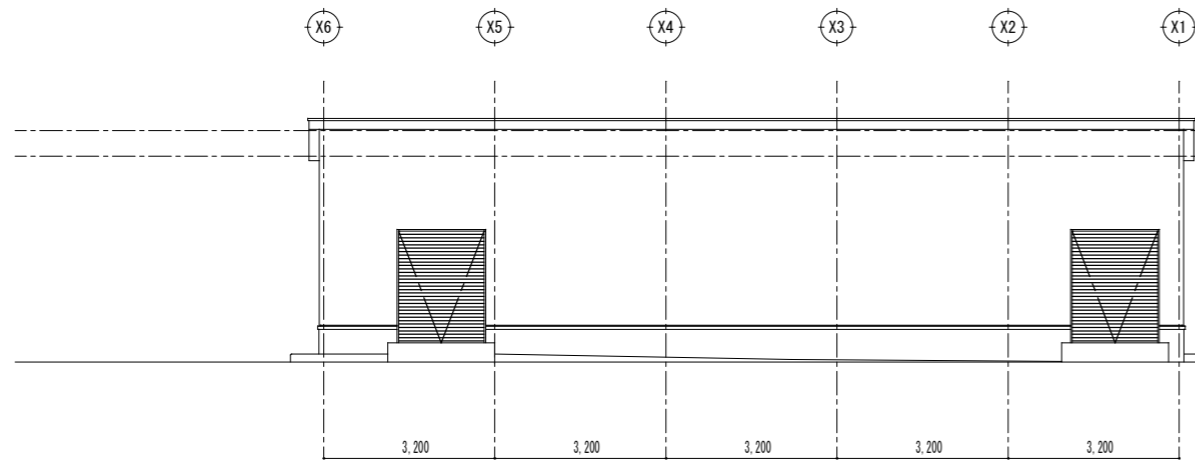
記号・数量	AW 1	AW 2	SS 1	SS 2	2ヶ所
形状					
場所	1階	1階	1階	1階	1階
形式	引違窓 + 排煙窓 (外倒し)	引違窓 + 排煙窓 (外倒し)	軽量手動シャッター (内巻き)	軽量手動シャッター (内巻き) ※防火仕様	
見込	70	70			
材質・仕上	7#	7#	スチール (焼付塗装)	スチール (焼付塗装)	
硝子	強化型板硝子 (ST) t=4.0	強化型板硝子 (ST) t=4.0	スラット t=0.8	スラット t=0.8	
金物	付属金物一式	付属金物一式	ガイドレール・座板・ステンレス巻き その他付属金物一式	ガイドレール・座板・ステンレス巻き その他付属金物一式	
備考	網戸 オペレーター	網戸 オペレーター	※ 水圧開放装置付き	防火認定番号: EC-0027	



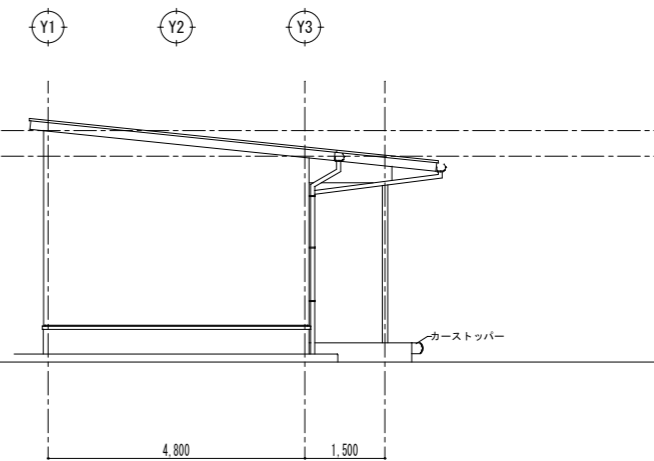
西側立面図



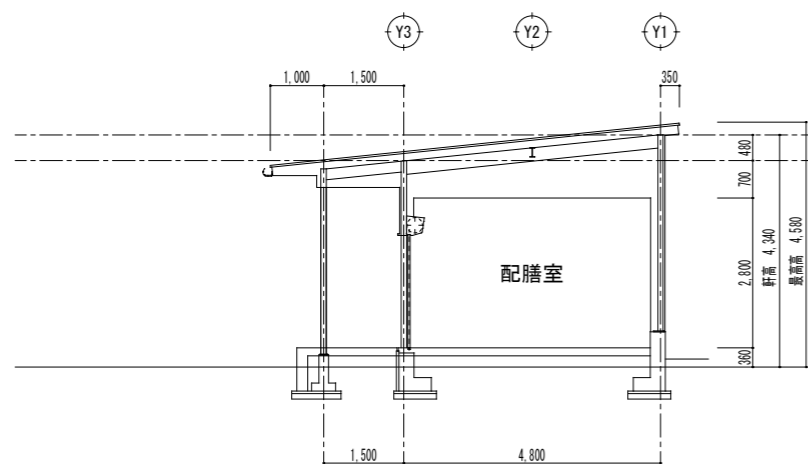
北側立面図



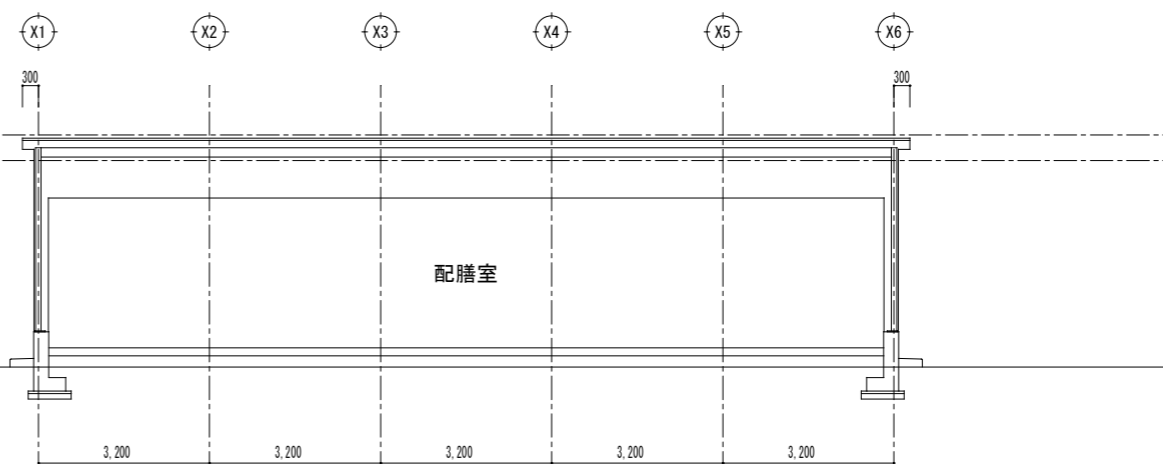
南側立面図




東側立面図

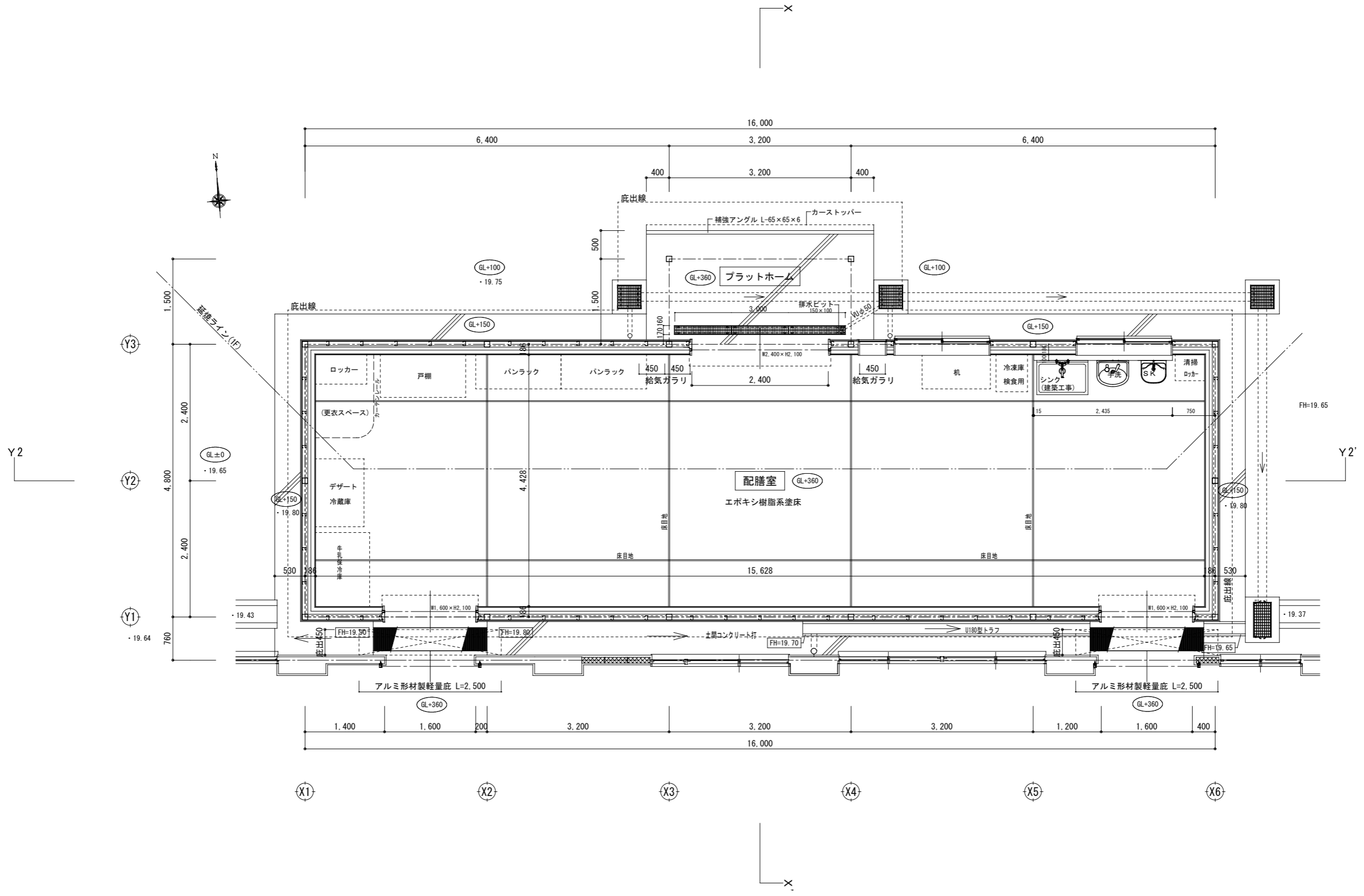



X断面図

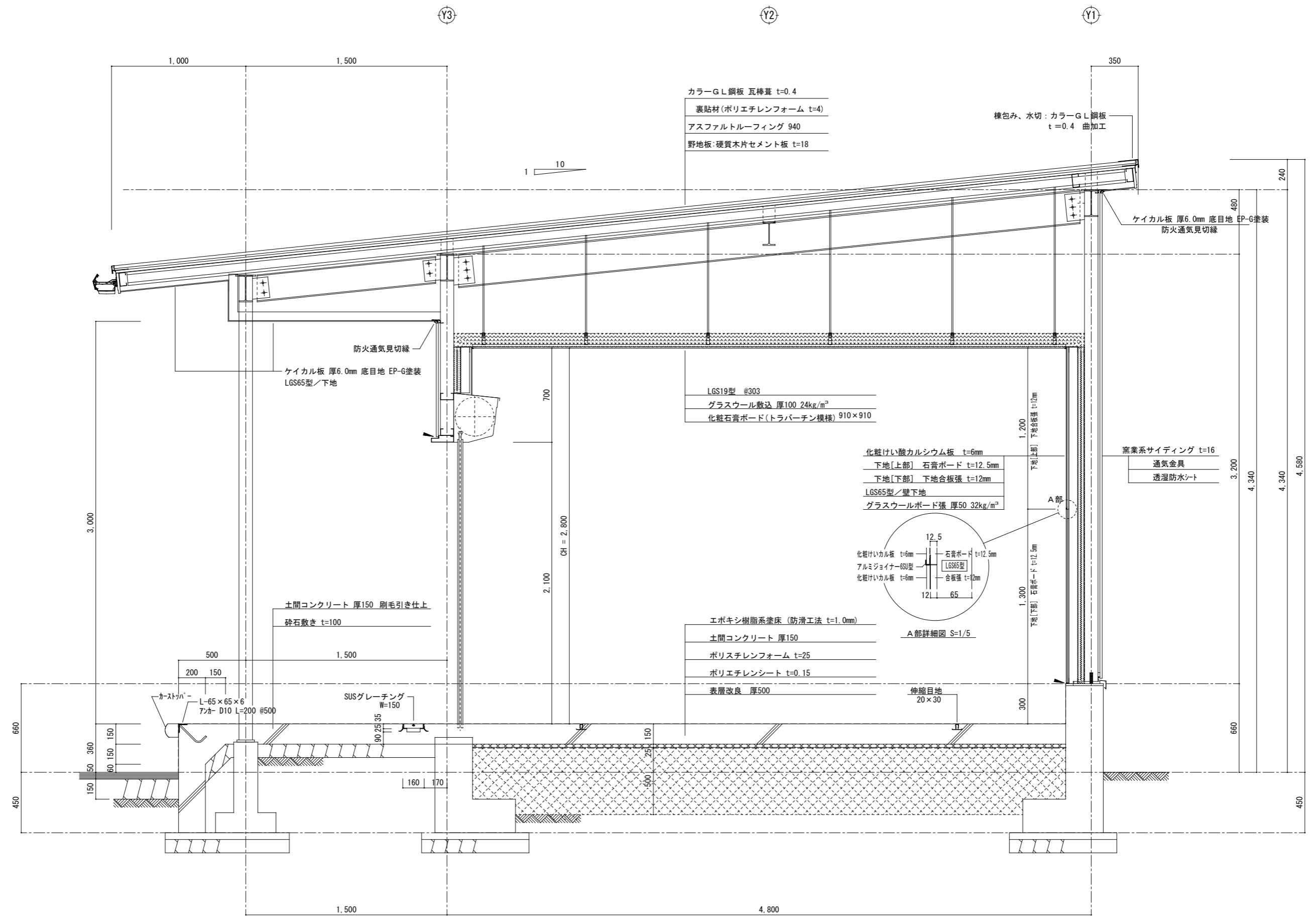


Y2断面図

 足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040				所長	主任	担当	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	縮尺 1/100	図番 A-36
							図面名 配膳室棟立・断面図		



 足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾 1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040	所長 主任 担当	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 図面名 配膳室棟 平面詳細図	縮尺 1/50	図番 A-37

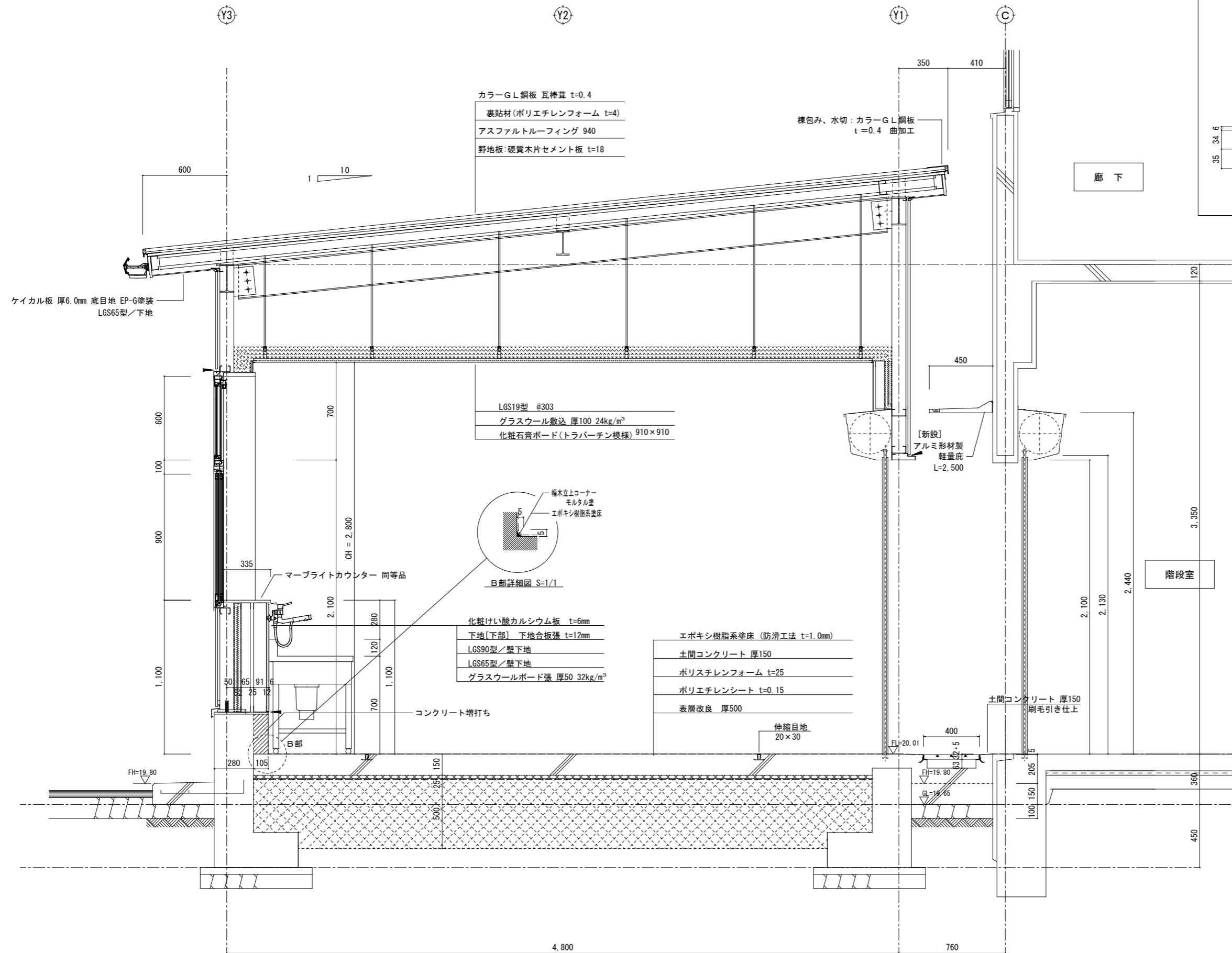
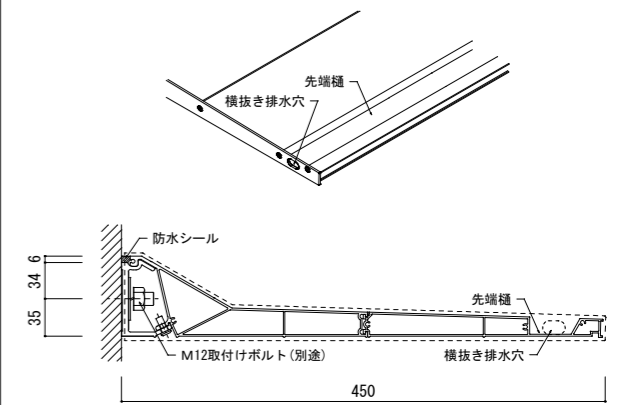


アルミ型材製軽量庇

S=1/5

参考型番 ABC商会 インターバイザー FIN453N

先端樋 ストレートジョイント部

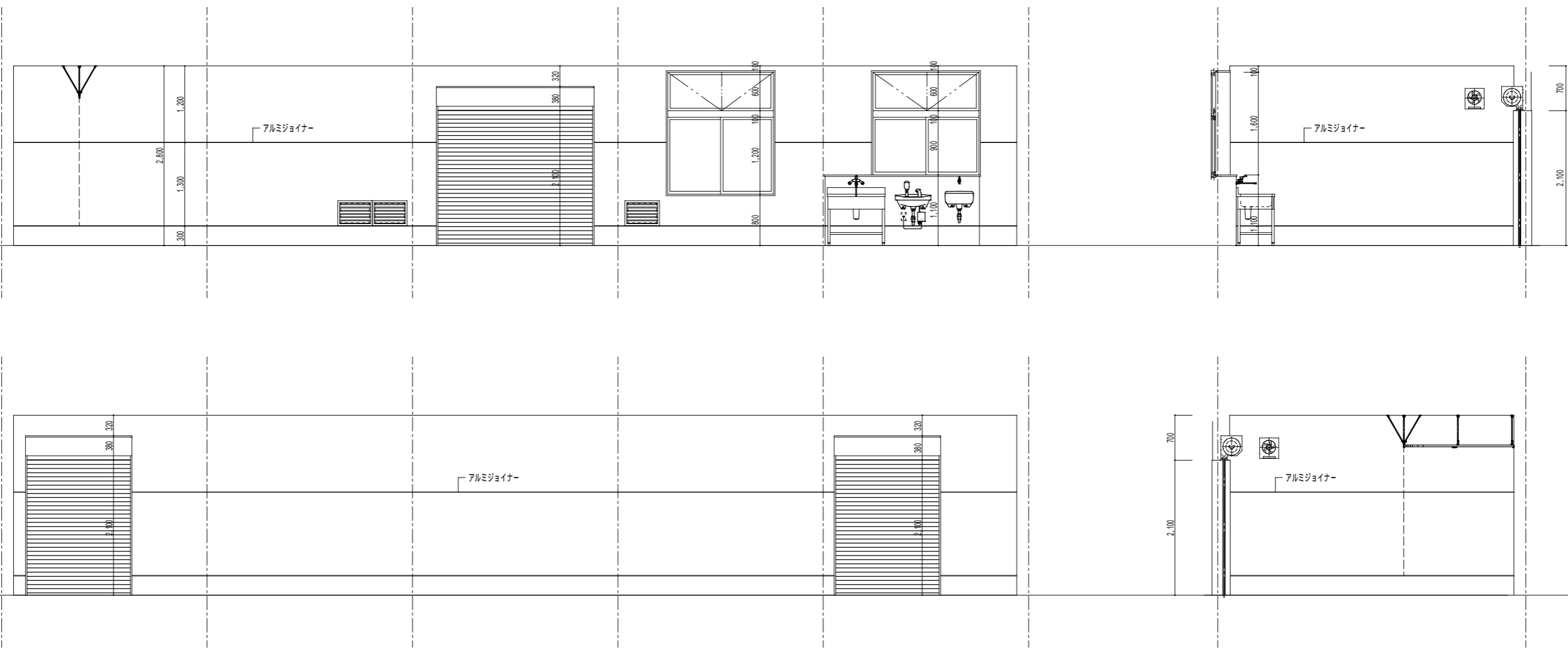
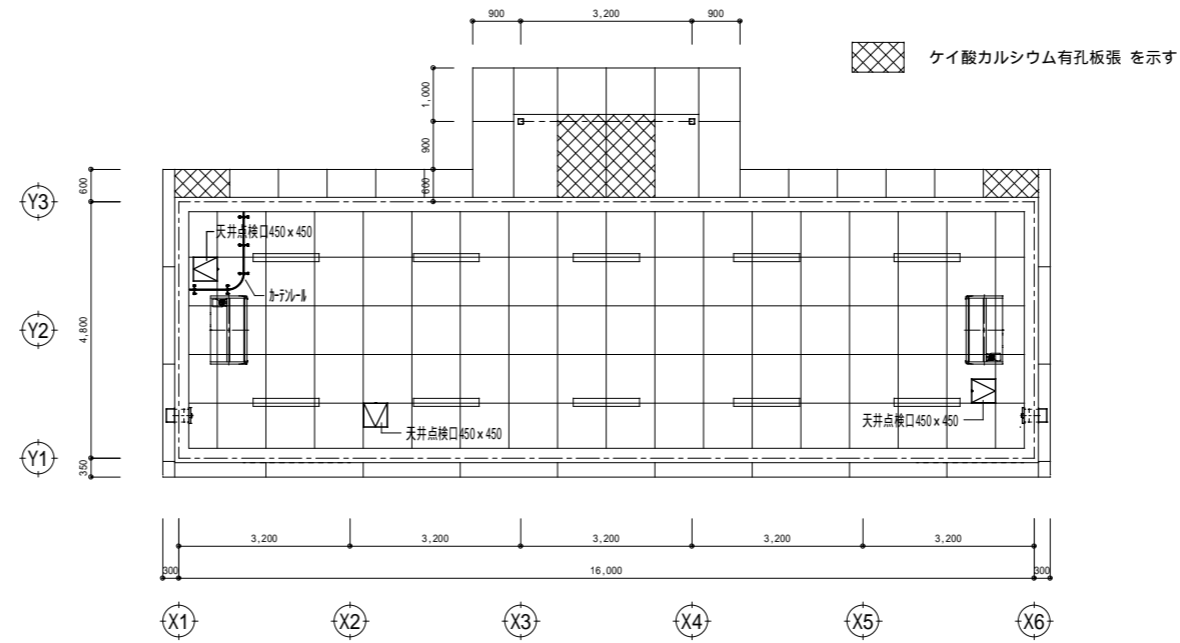



足立建築工房 一級建築士事務所
京都府宇治市木幡平尾 1-65
TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

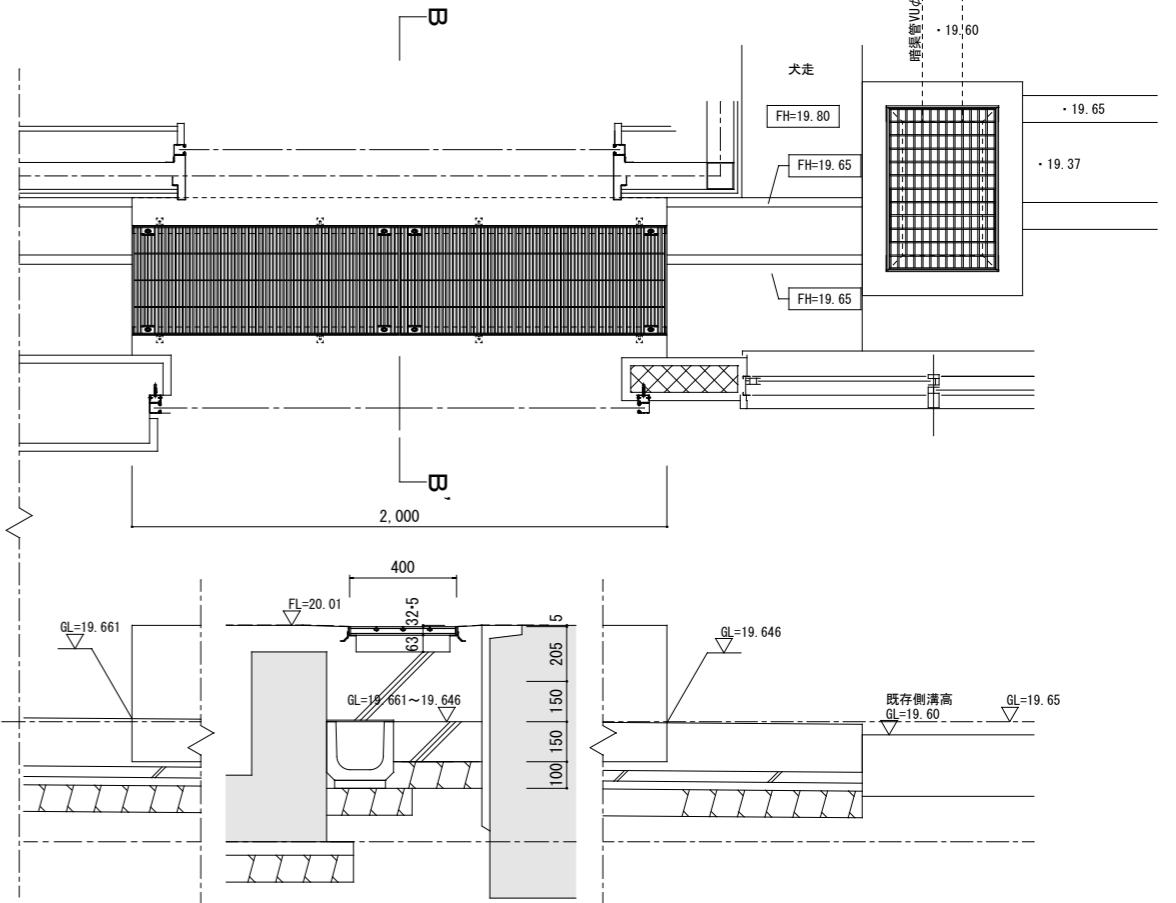
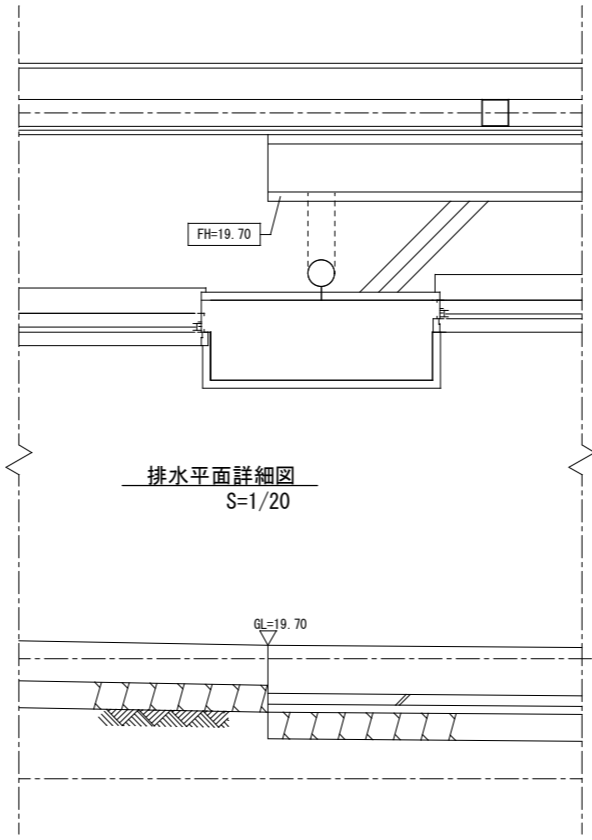
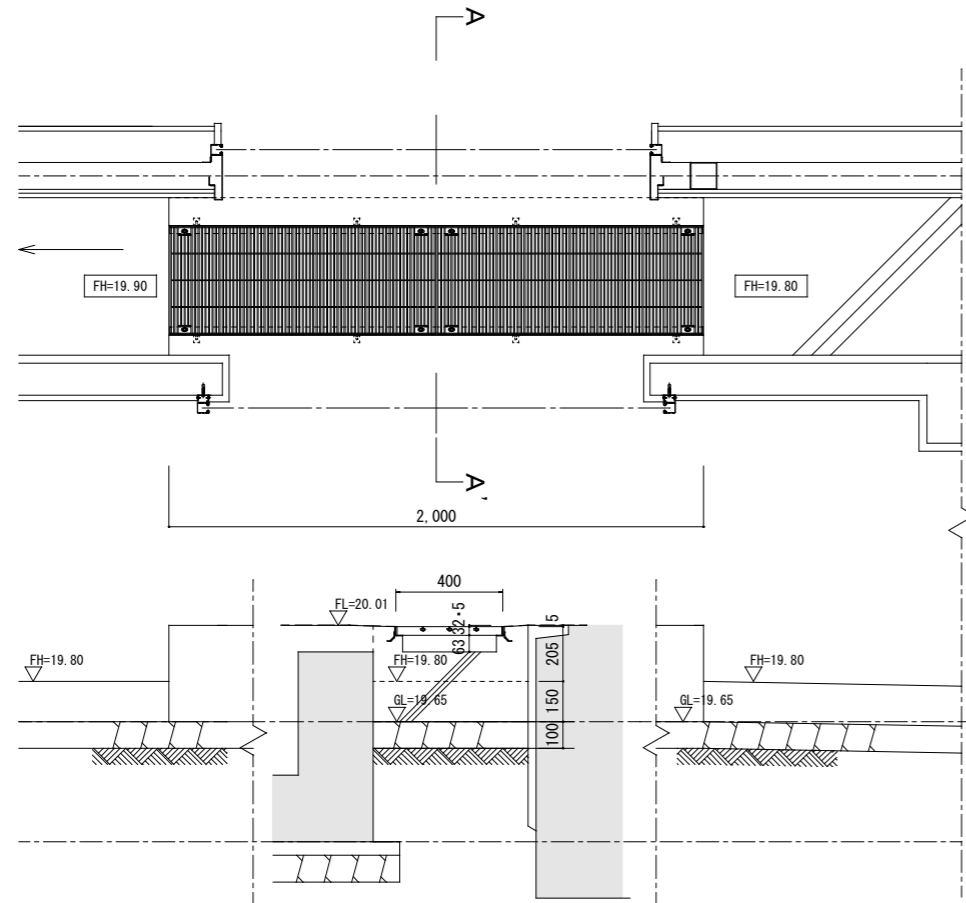
所長 主任 担当

工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
図面名 配膳室棟 矩計図 2

縮尺 1/20, 1/5
図番 A-39



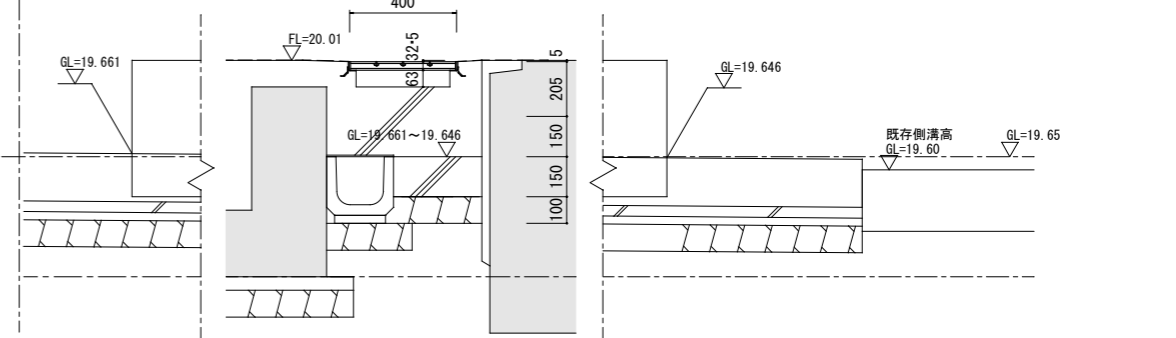
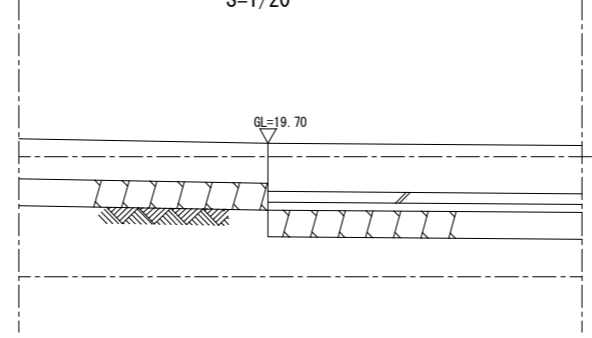
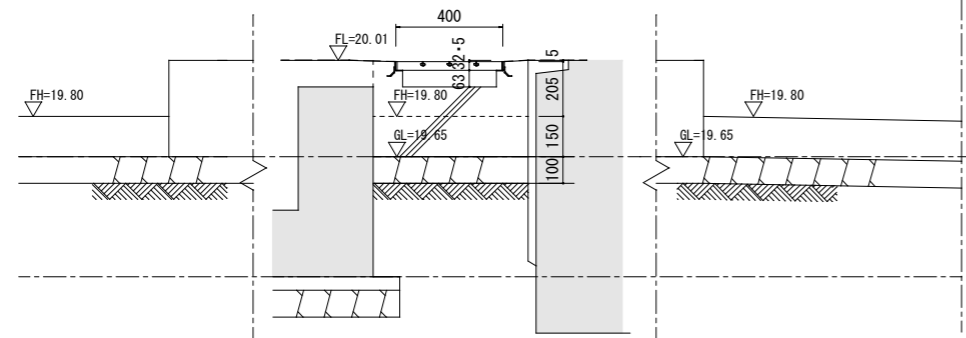
 足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾 1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040	所長	主任	担当	工事名	西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	縮尺	図番
				図面名	配膳室棟 展開図・天井伏図	1/100 1/50	



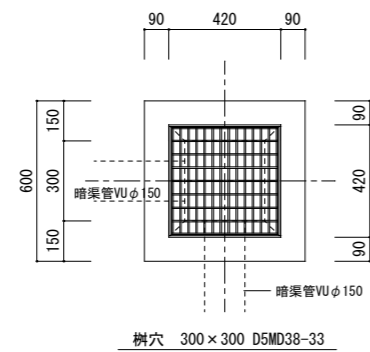
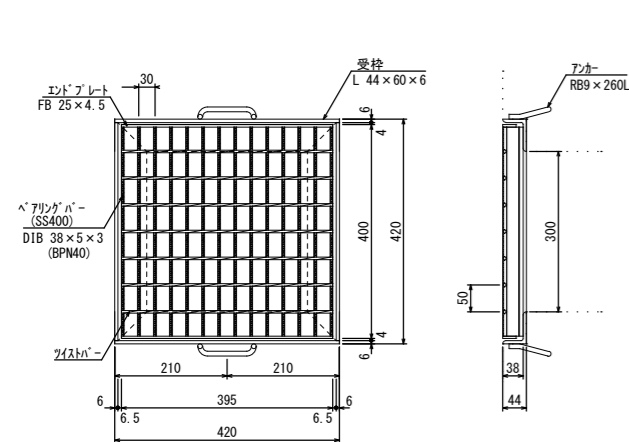
A-A' 断面図

排水平面詳細図
S=1/20

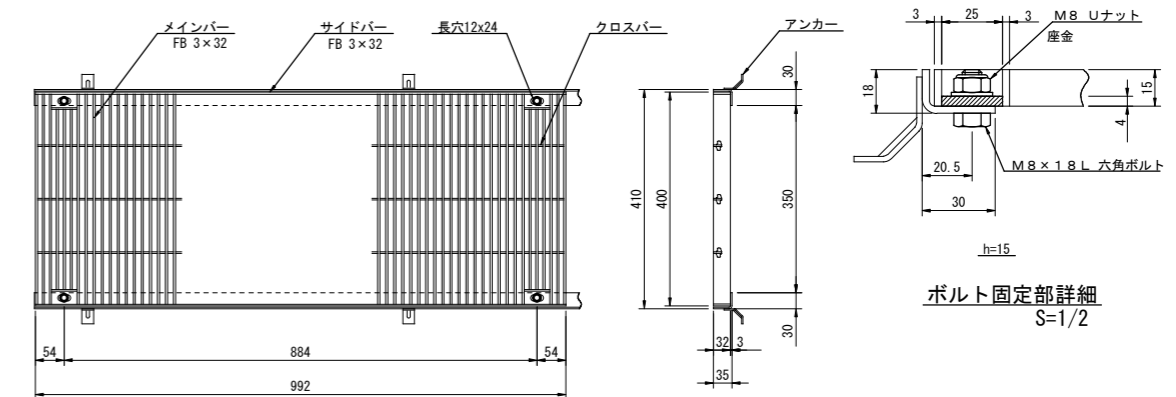
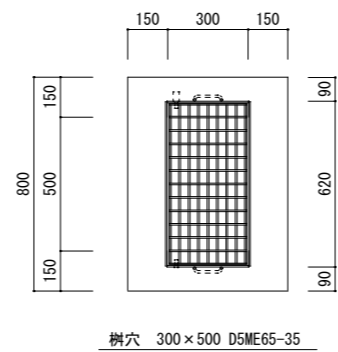
B-B' 断面図



排水断面詳細図
S=1/20

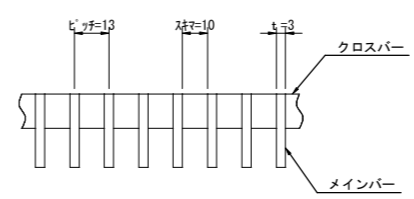
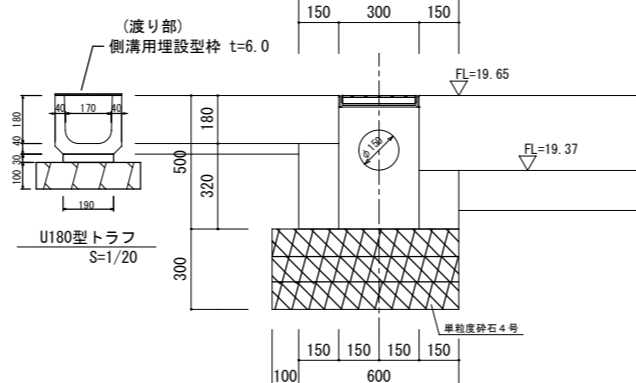
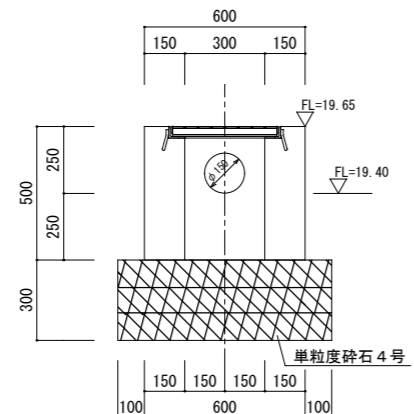


雨水浸透樹詳細図
S=1/20



渡り部 SUSグレーチング詳細図
S=1/10

ボルト固定部詳細
S=1/2



メインバー詳細
S=1/2

- 溝幅 : 350用 (13mmピッチ)
- タイプ : FB3t , ザラザラタイプ
- 材質 : SUS304

グレーチング			受 枠		荷重条件	
型 式	メインバー 高さ(h)	クロスバー 材料	型 式	寸法 H	横断	側溝
S3FRC40-3213	32	FB3×15	BB-32	35	T2	T6

参考メーカー：株式会社ダイクレ

- 型式 樹穴 300×300 D5MD38-33
落下式 Dグリッパ (BPN40)
普通目ピッチ 30 T-6

樹穴 300×500 D5ME65-35
110° 開閉脱着式 Dグリッパ (BPN40)
普通目ピッチ 35.3 T-2.5
- 表面処理 グレーチング：亜鉛メッキ
受 枠 : 黒ペイント

足立建築工房 一級建築士事務所
京都府宇治市木幡平尾1-65
TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

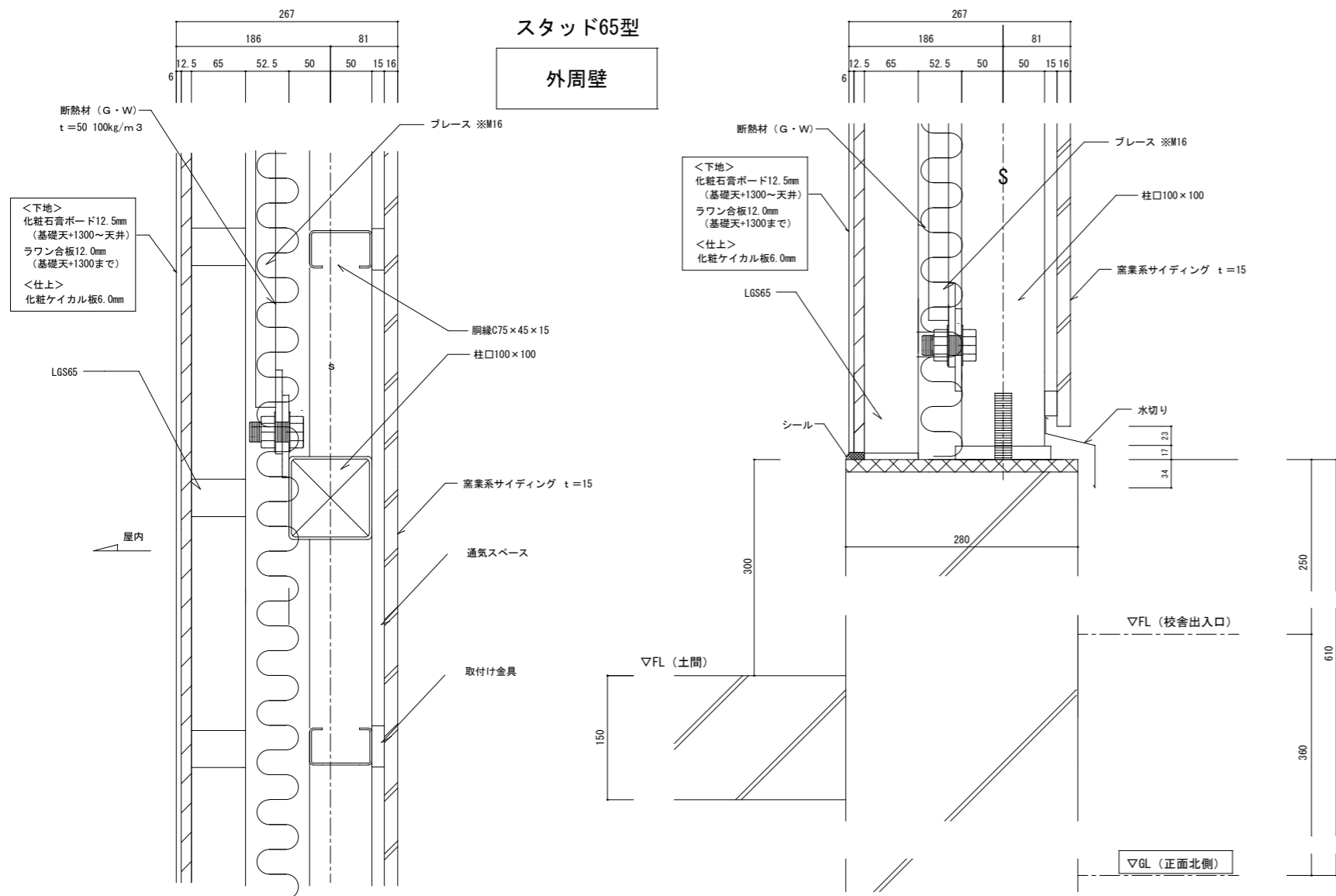
所 長 主 任 担 当

工 事 名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
図 面 名 配膳室棟 棟間雨水詳細図

縮 尺 1/20
1/10・2
図 番 A-41

外壁詳細図

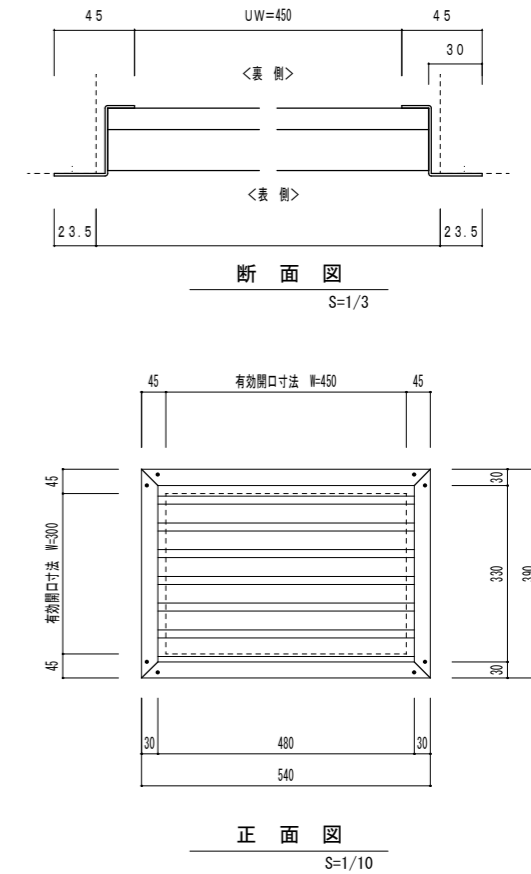
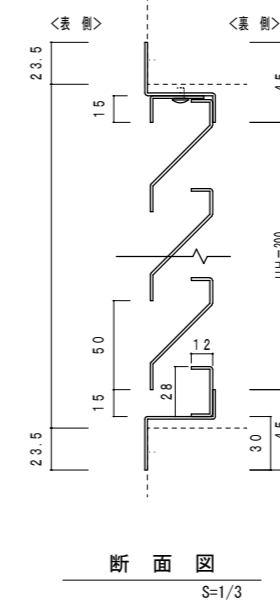
S=1/5



配膳室 ステンレス給気ガラリ

S=1/3・10

ステンレスガラリ (参考品番)
サンワイズ GUS-N33型 (V1.0) (片流れ) 面付仕様
ガラリ開口率 = 33% 防虫網戸付

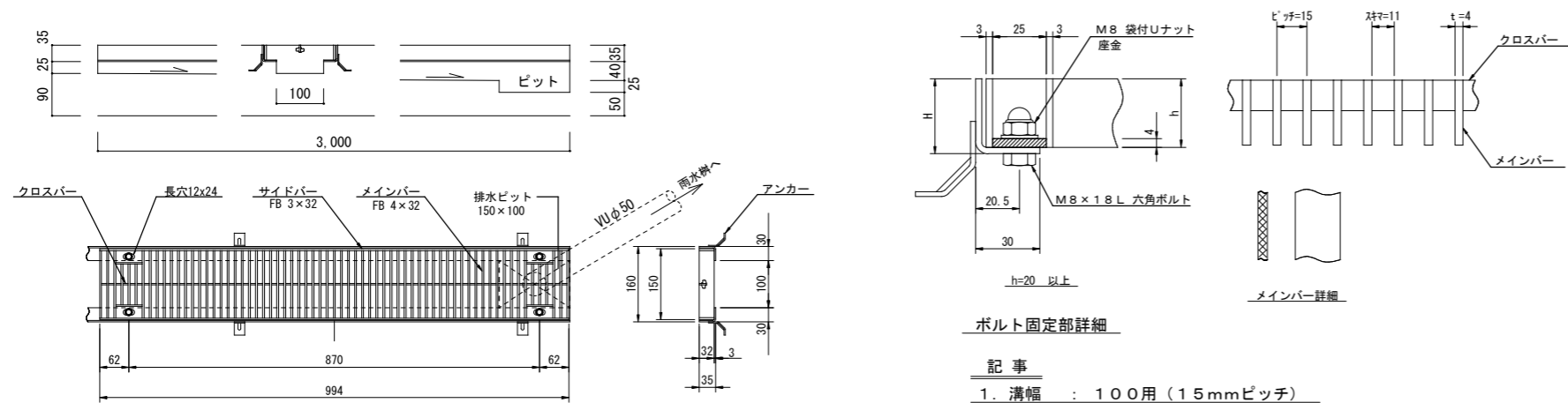


普通教室棟 新設手洗いシンク 配管ライニング詳細図

S=1/20・50

搬入部 SUSグレーチング詳細図

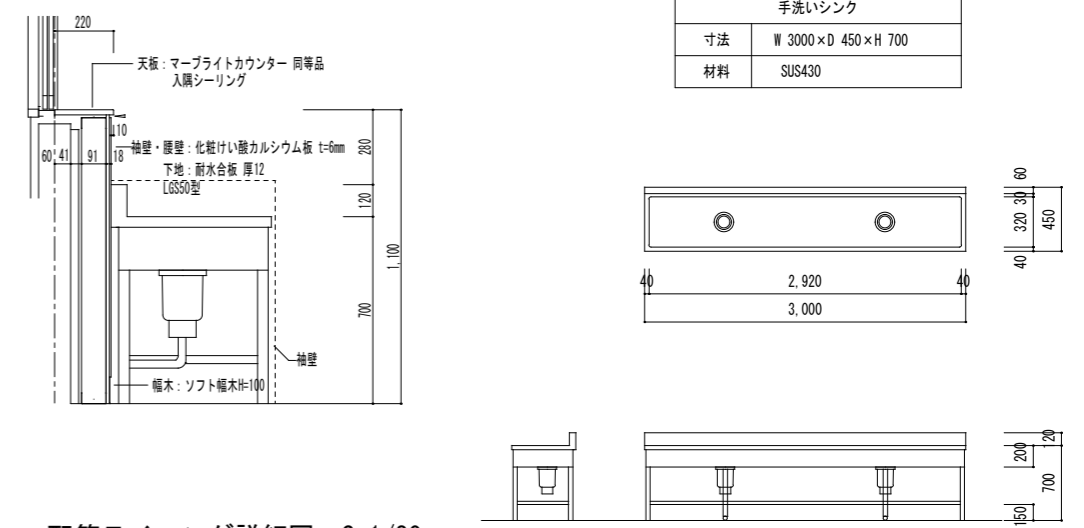
S=1/10



ボルト固定部詳細

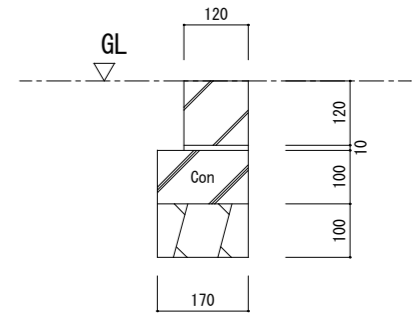
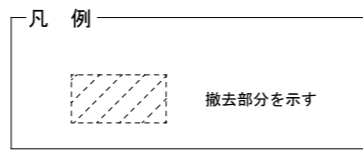
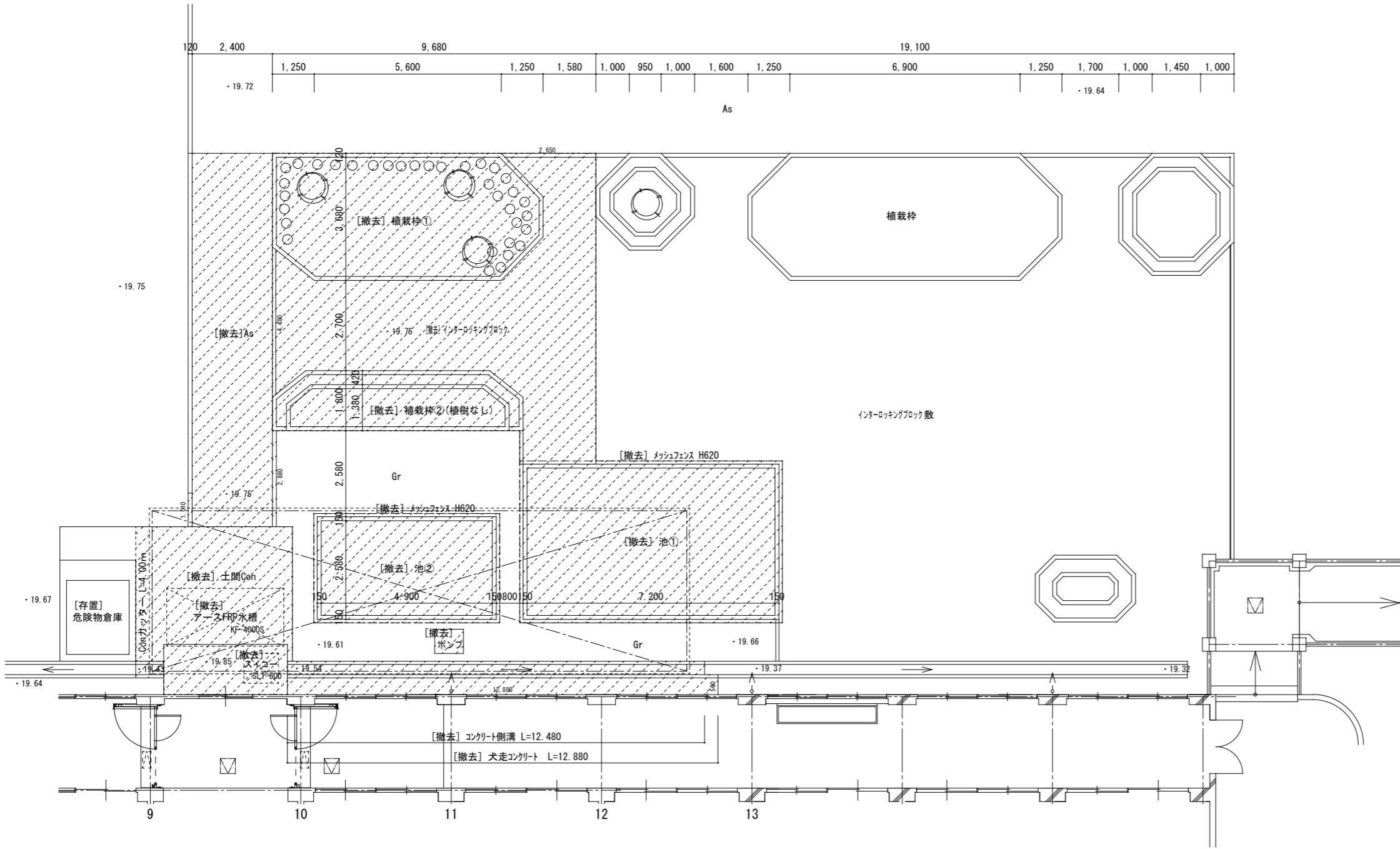
- 記事
- 溝幅 : 100用 (15mmピッチ)
 - タイプ : FB4 t, ザラザラタイプ
 - 材質 : SUS304

グレーチング		受 枠		荷重条件	
型 式	メイン- 高さ (h)	クロスバ- 材 料	型 式	寸法 H	横断 側溝
S4FRC15-3215	32	FB3×15	BB-32	35	T20 T20

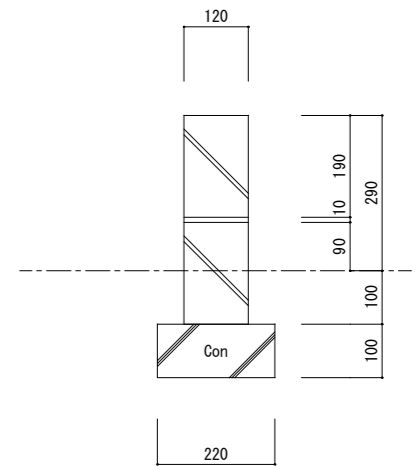


配管ライニング詳細図 S=1/20

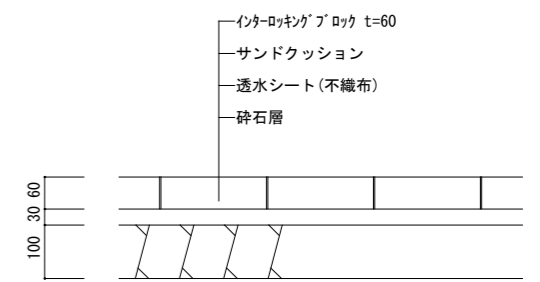
手洗いシンク S=1/50



【撤去・新設】見切ブロック
S=1/10

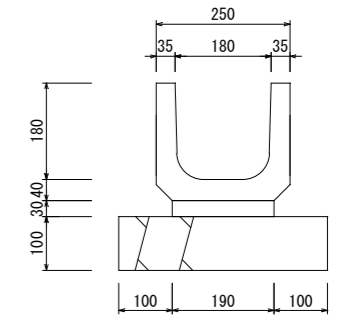
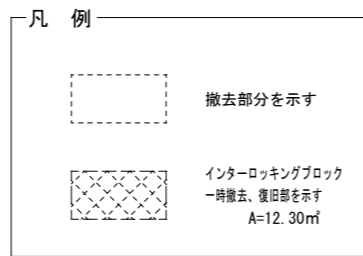
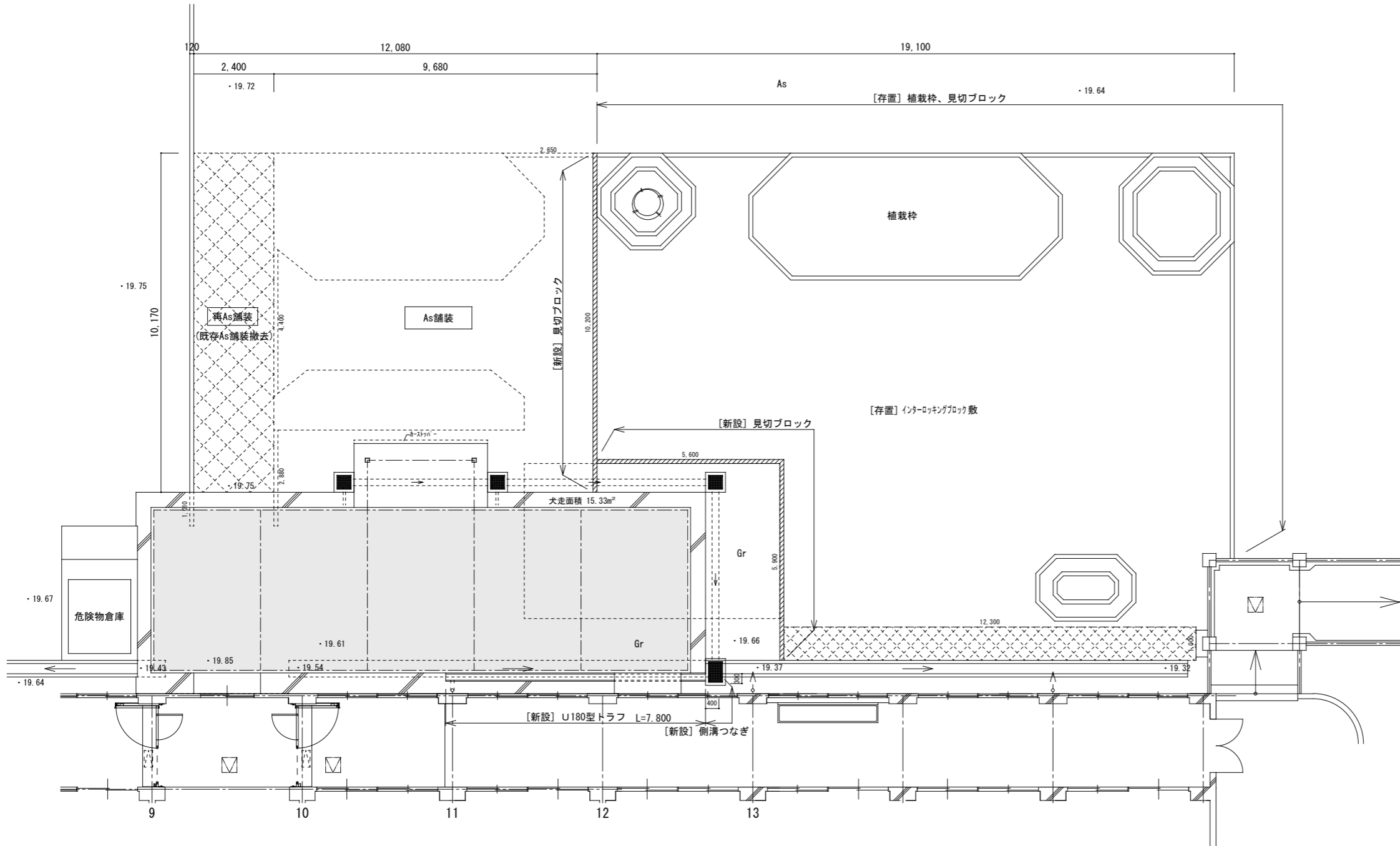


【撤去】植栽枠ブロック
S=1/10

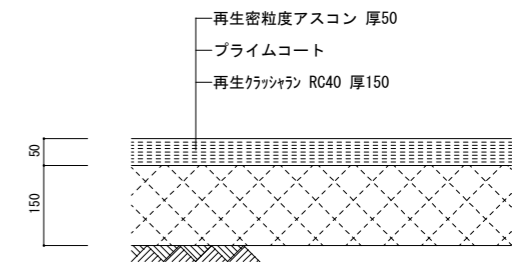


【撤去】インターロッキング舗装
S=1/10

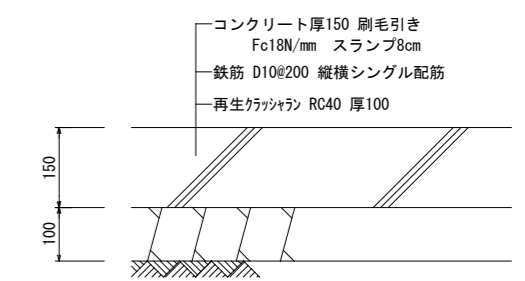
足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾 1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040				所長	主任	担当	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 図面名 外構工作物工事(撤去)	縮尺 1/100 1/10	図番 A-43
--	--	--	--	----	----	----	--	------------------	---------



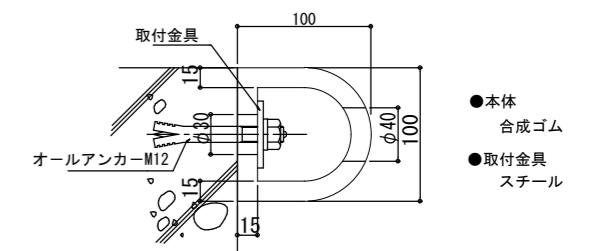
U180型トラフ
S=1/10



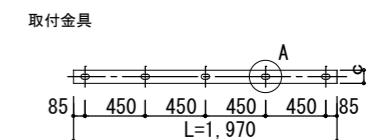
路床
アスファルト舗装
S=1/10



路床
犬走りコンクリート
S=1/10



- 本体 合成ゴム
- 取付金具 スチール



A部詳細

取付金具	L	a	b	c	板厚
NCD-1010用	1970	17	30	50	4.5

単位: mm

衝撃吸収材カストッパ[®]
S=1/20

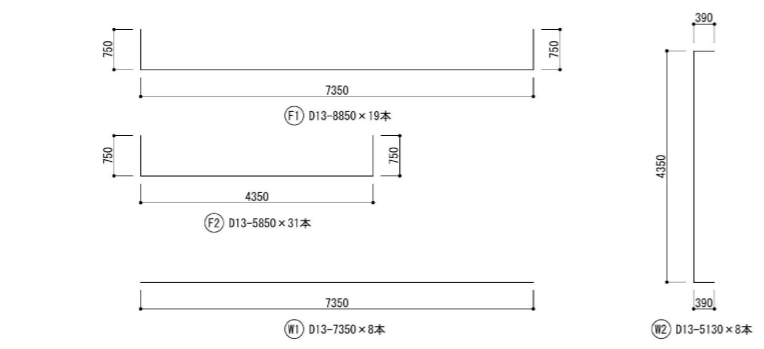
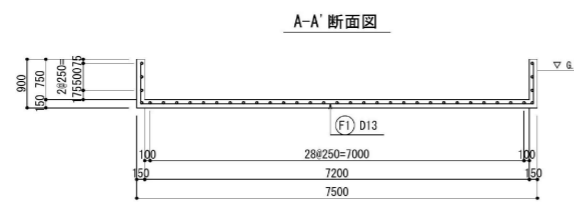
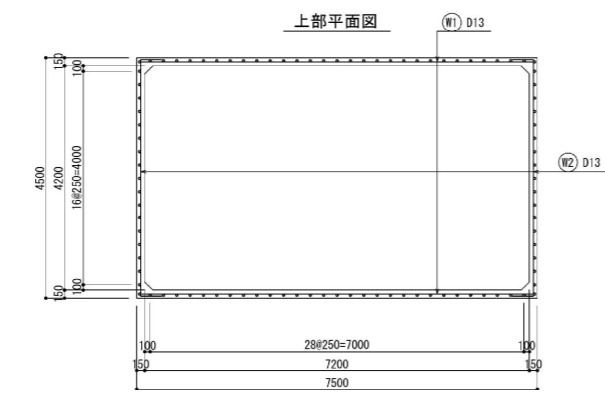
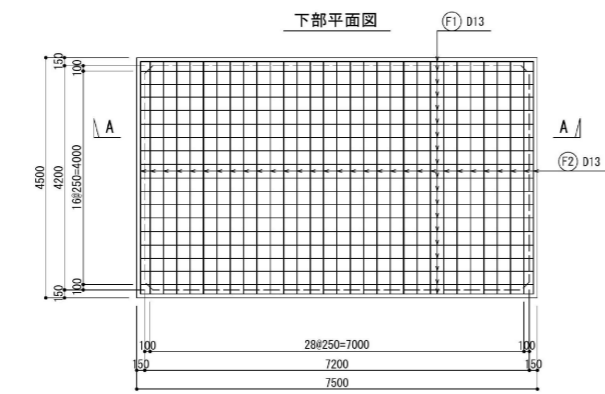
足立建築工房 一級建築士事務所
京都府宇治市木幡平尾 1-65
TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040

所長 主任 担当

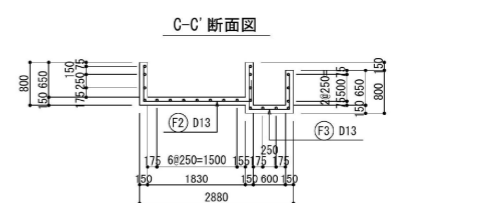
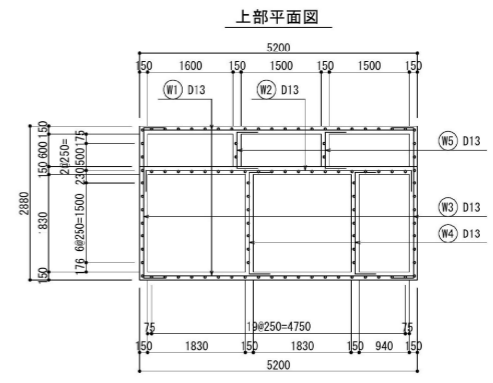
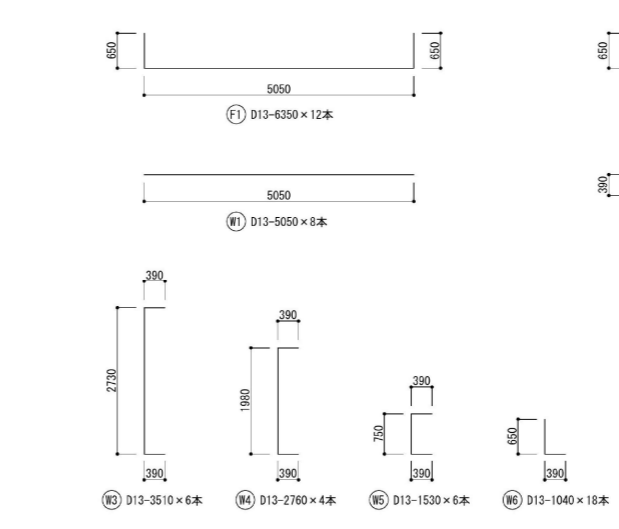
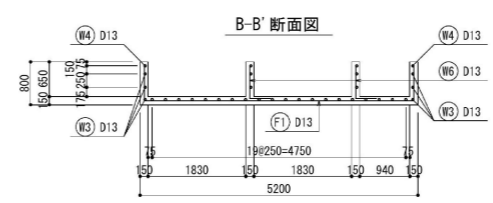
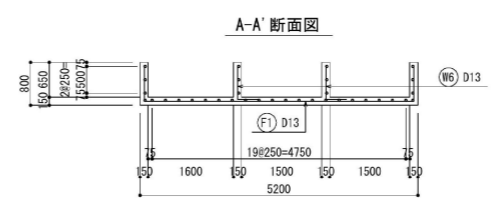
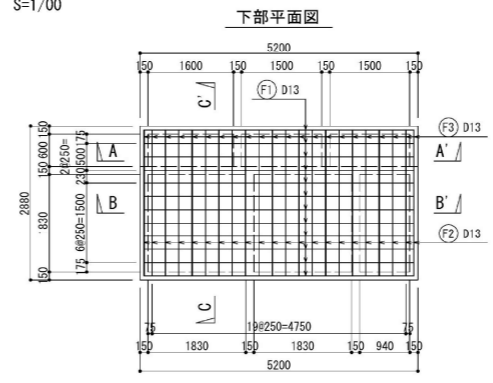
工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
図面名 外構工作物工事(改修)

縮尺 1/100
1/10
図番 A-44

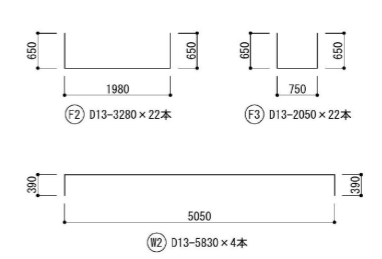
池 配筋図
S=1/100

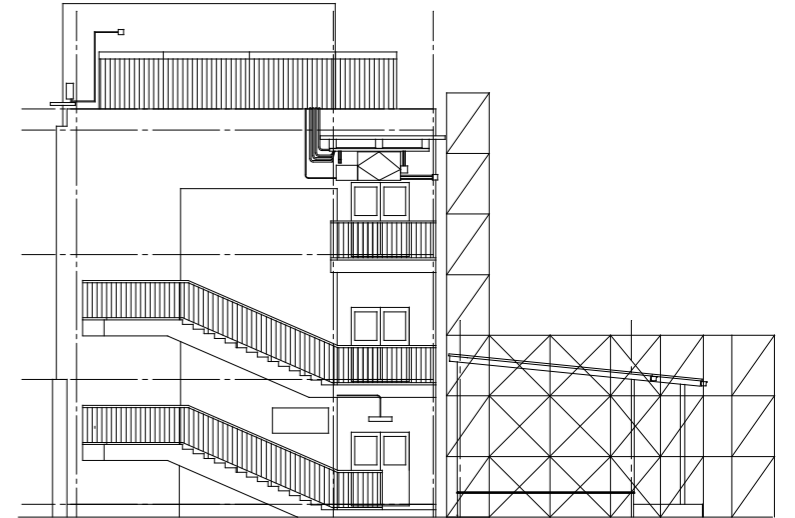
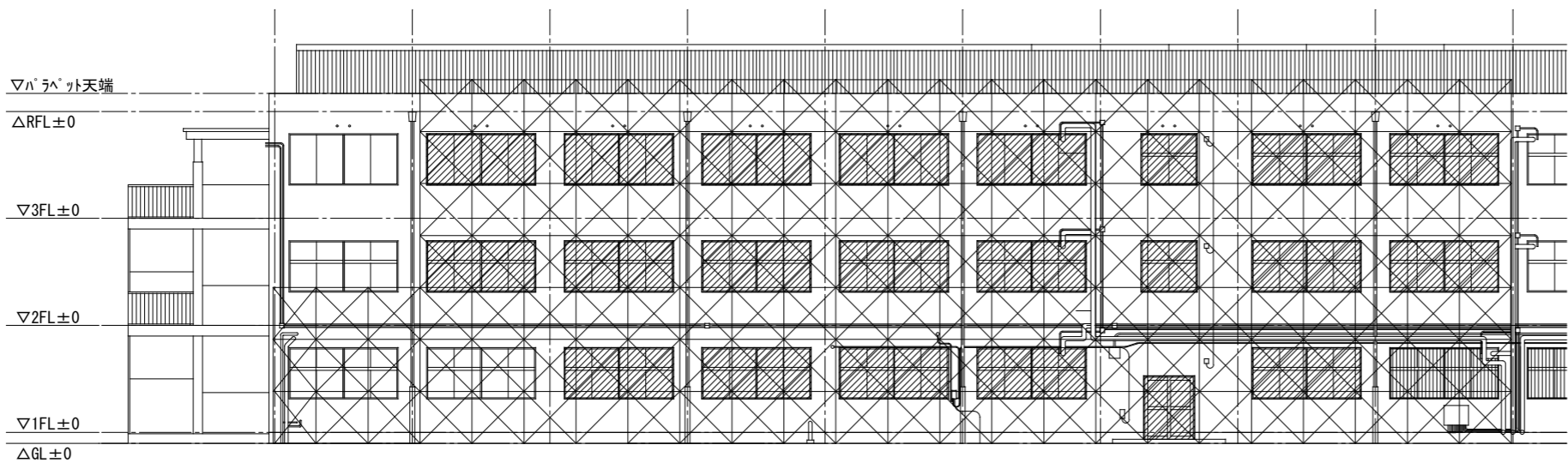
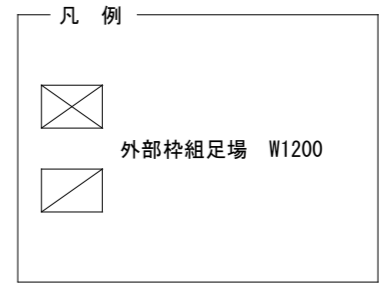
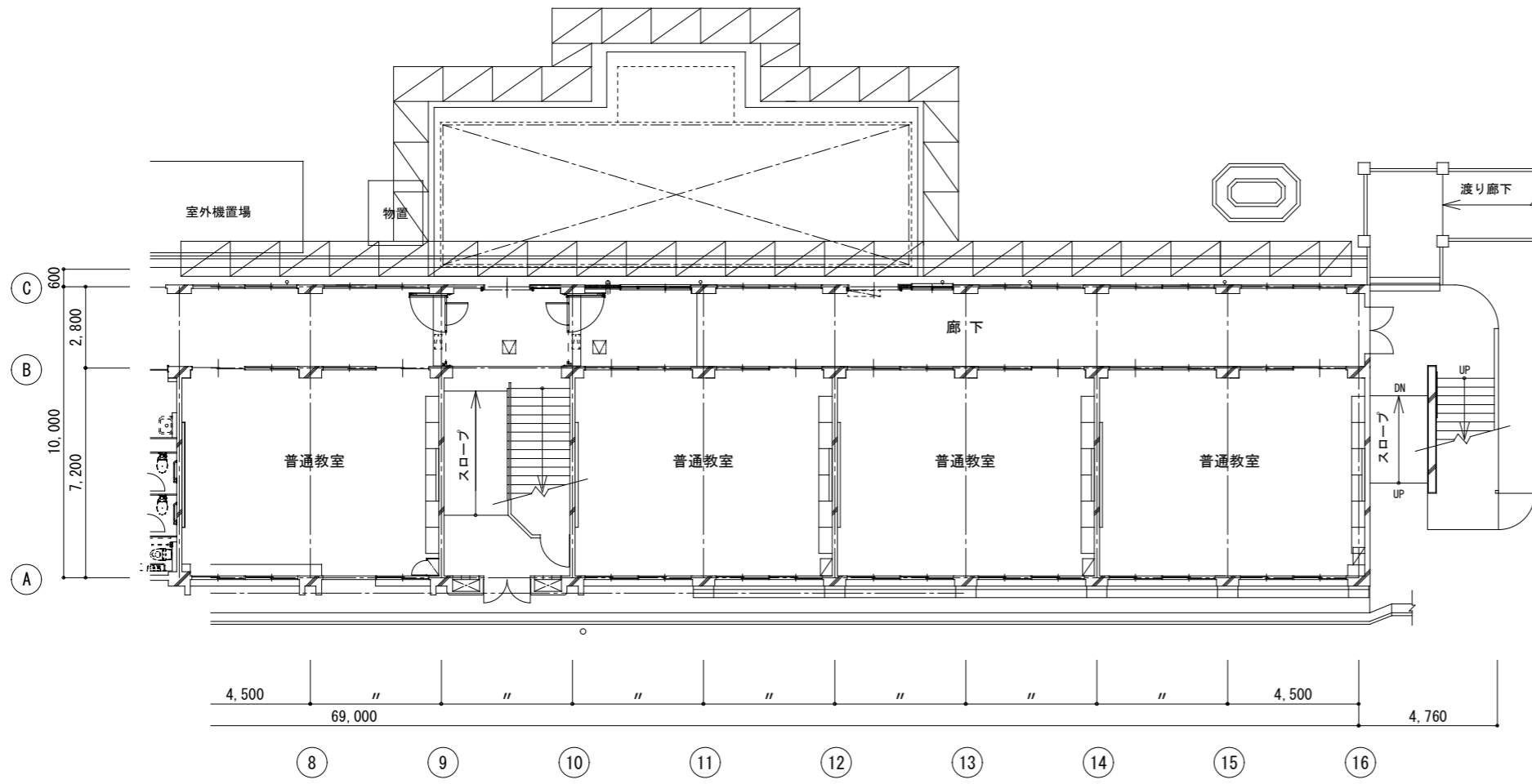


記号	規格径 (mm)	単位重量 (kg/m)	長さ (m)	本数 (本)	重量 (kg)
F1	D13	0.995	8.850	19	167.2
F2	D13	0.995	5.850	31	179.8
W1	D13	0.995	7.350	8	58.4
W2	D13	0.995	5.130	8	40.8
D13				446.2	0kg
鉄筋総重量				446.2	0kg



記号	規格径 (mm)	単位重量 (kg/m)	長さ (m)	本数 (本)	重量 (kg)
F1	D13	0.995	6.350	12	75.6
F2	D13	0.995	3.280	22	70.4
F3	D13	0.995	2.050	22	44.0
W1	D13	0.995	5.050	8	40.0
W2	D13	0.995	5.830	4	23.2
W3	D13	0.995	3.510	6	20.4
W4	D13	0.995	2.760	4	10.8
W5	D13	0.995	1.530	6	9.0
W6	D13	0.995	1.040	18	18.0
D13				311.4	0kg
鉄筋総重量				311.4	0kg





足立建築工房 一級建築士事務所 京都府宇治市木幡平尾 1-65 TEL (0774) 33-6022 FAX (0774) 33-6040				所長	主任	担当	工事名 西宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 図面名 仮設計画図(参考図)	縮尺 1/150	図番 A-46
--	--	--	--	----	----	----	---	----------	---------